

【7】**早稲田大学 第一文学部**

次の文章を読んで設問に答えなさい。

人類の起源については、神話や伝説などによって説明されてきたが、19世紀以降、人類学や考古学の発展に伴い、その進化の過程が次第に明らかになってきた。最古の人類は、猿人と呼ばれ、**A**歩行という点で他の霊長類とは一線を画し、石を打ちかいた簡単な石器を使用していた。続く原人段階では、握斧のような石器に代表される、より洗練された道具の製作と使用が認められ、火を使用していたことも一部で確認されている。その後、旧人があらわれるが、精神文化の発達なども指摘されている。旧人にとってかわったのが、私たち現生人類の直接の祖先に当たる新人であり、世界各地にその居住域を拡大していった。

設問1 **A**に当てはまる語句を記しなさい。 []

設問2 下線部1に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- イ アウストラロピテクスとは「南方の人」を意味している。 ロ アフリカに起源をもち、さまざまな洞窟壁画を残した。
ハ ラミダス猿人はエチオピアで発見された。 ニ 脳容積はゴリラなどよりも大きく、高い知性を備えていた。 []

設問3 下線部2の出現した時期はいつか。

- イ 更新世 ロ 完新世 ハ 中新世 ニ 鮮新世 []

設問4 下線部3に該当しないものはどれか。

- イ ネアンデルタール人 ロ グリマルディ人 ハ クロマニヨン人 ニ 周口店上洞人 []

早慶の過去問からの発展・応用(古代中国 1)

【1】

早稲田大学 文

中国の思想史に関する A～C の文を読んで、各設問に答えなさい。設問 1, 2, 3, 5, 7 は一つだけマークしなさい。設問 4, 6 は記しなさい。

A 春秋・戦国時代、旧い社会秩序が弛緩・崩壊してゆく中で、人々は新しい社会秩序をもとめ、ここに中国史上類をみないさまざまな思想家・学派が登場した。その学問の一大中心が齊のいわゆる「稷下の学」で、その中に諸子百家の多くの人の名がみえる。

設問 1 以下の思想家と学派の関係に関する文の中で、不適切なものはどれか。

ア 墨家は家族道徳を社会秩序の基本におく儒家に対して、兼愛を説いた。

イ 名家の公孫竜は「白馬は馬にあらず」と論じ、名(言葉)と実(実体)の関係を明らかにしようとした。

ウ 縦横家の蘇秦は六国が同盟して秦に対抗する連衡策を説いた。

エ 陰陽家の鄒衍は五行説によって王朝交替の順序を理論づけた。 []

設問 2 齊の領域として、適切なものはどれか。

ア 黄河中流域 イ 黄河下流域 ウ 長江中流域 エ 長江下流域 []

B 儒家は春秋末の孔子により創始され、戦国時代に、孟子や荀子らによって発展したが、秦のとき弾圧に遭った。前漢の武帝のとき、董仲舒は孔子の教えだけを尊ぶことを主張し、儒学が官学となったとされてきたが、近年では反論も提起されている。その後、經典の解釈学が盛んとなり、唐代にその集大成である、『五経正義』が編纂された。

設問 3 下線部 a の二人の人物に関して、不適切なものはどれか。

ア 孟子は性善説を唱え、王道政治を説いた。

イ 孟子の言行は『孟子』に記録され、四書の一つとなった。

ウ 荀子は性悪説を唱え、礼を重視した。

エ 荀子の弟子に法家の商鞅と韓非がいる。 []

設問 4 下線部 b を含む秦の思想統制を目的とする弾圧を何というか。漢字四字で記しなさい。 []

設問 5 下線部 c の編纂者は誰か。

ア 鄭玄 イ 孔穎達 ウ 韓愈 エ 柳宗元 []

C 道家の老子と荘子の思想は、儒家や墨家の人為主義を否定し、「道」と「無為自然」を説く。とくに『老子』は、近年、戦国時代のテキストが発見されて、その思想の成立過程が注目されている。道家の思想は魏晋時代に「老荘思想」として流行し、哲学的な議論の(あ)の中に取り入れられ、仏教受容の媒介ともなった。

設問 6 空欄(あ)の最も適切な語句を、漢字二字で記しなさい。 []

設問 7 下線部 d に関し、魏晋南北朝時代の状況を述べた文で、不適切なものはどれか。

ア 西域僧の鳩摩羅什は、後秦に迎えられ、長安で多数の仏典を漢訳した。

イ 西域僧の仏図澄は、後趙で重用され、布教と共に多くの漢人僧を育成した。

ウ 東晋の法顕は、戒律の仏典を求めて、ヴァルダナ朝支配下のインドに渡った。

エ 雲崗石窟の仏像には、ガンダーラ様式、グプタ様式の影響がみられる。 []

【2】

早稲田大学 人間科

次の 1・2 の文章を読み、設問 X・Y に答えなさい。

1 黄河の中流域を勢力範囲とした①殷王朝の遺跡とされる殷墟からは、巨大な陵墓や多数の青銅器および文字などが発見された。これらの出土文物は殷王の強大な権力と財力を示しているとされる。渭水盆地におこり、前 11 世紀に殷を滅ぼして華北を支配した周は、都をおいた(1)の周辺を直轄支配するとともに、一族・功臣や地方の有力首長を諸侯として各地に封建し、その支配地を領有させた。前 8 世紀前半、②周が東方に遷都したころから、周王の権力はしだいに衰え、支配下の

諸侯に独立的傾向が強くなり、やがて有力諸侯が周室の名をかりて号令を下すようになった。この時代は、(2)の著作とされる年代記にちなんで春秋時代と称される。そののち前5世紀になると多くの諸侯がたがいに抗争する時代となり、有力諸侯が他国の併合をすすめて③戦国の七雄とよばれる領域国家に発展した。このような大きな変動が生じた背景には、農業や商業の発展にともなう経済・文化の変動があるとされる。

2 楚の項羽との抗争に勝利した劉邦が漢を建国したのち、④ほぼ60年にわたる帝国の基礎固めの時代をへて、第7代皇帝に即位した武帝は(3)を大月氏に派遣して匈奴との戦いで攻勢に転じ、⑤河西回廊に加えてベトナムや朝鮮にまで直轄地を拡大した。しかし、長期にわたる戦役は中央集権的官僚制国家の威勢を輝かせたものの、やがて深刻な財政難を招くにいたった。そこで、武帝は均輸法や平準法を導入して物価の安定をはかるとともに、(4)を専売にして国家財政の再建をめざした。しかし、思うように経済事情は好転せず、その晩年には社会不安が増大することとなった。

一方、漢帝国による統一と安定および対外的な発展は漢民族の意識を高めて、歴史への関心を高揚させることとなった。そのなかで司馬遷は、匈奴遠征にむかった將軍李陵が捕虜になったことを弁護して武帝の逆鱗にふれ、宮刑に処せられたが、この屈辱によく耐えて(5)を完成させた。この書はのちに『史記』とよばれ、その紀伝体は中国正史の基準となった。

設問X 文中の空欄(1)～(5)に入れるのに最も適切な語をa～eのなかから一つ選べ。

(1)

a 鎬京 b 咸陽 c 太原 d 安邑 e 平城 []

(2)

a 孟子 b 荀子 c 孔子 d 老子 e 墨子 []

(3)

a 班超 b 蒙恬 c 衛青 d 甘英 e 張騫 []

(4)

a 塩・鉄・茶 b 帛・塩・鉄 c 絹・鉄・綿 d 塩・鉄・酒 e 塩・米・粟 []

(5)

a 『太史公書』 b 『詩経』 c 『資治通鑑』 d 『十八史略』 e 『戦国策』 []

設問Y 文中の下線部①～⑤に関する設問について、最も適切な解答を(ア)～(オ)のなかから一つ選べ。

① 殷墟・青銅器・文字の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) 殷墟は、河南省安陽市で発見された商代後期の遺跡である。
- (イ) 甲骨文字は、卜辞・殷墟文字ともいい、漢字の起源の一つである。
- (ウ) 甲骨文字は、おもに殷王が卜官に占わせた結果を刻した文字である。
- (エ) 殷代および周代の青銅器に記された文字を金文という。
- (オ) 殷墟から発掘された甲骨文字は、清の乾隆帝時代に解読された。 []

② その遷都の地の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) その地は、新末の混乱を收拾して天下を統一した後漢の光武帝が首都とした。
- (イ) 唐の高祖が長安に都を置くと、その地は東都と呼ばれるようになった。
- (ウ) その地は、曹操の子曹丕が禅譲によって即位したのち三国魏の都とされた。
- (エ) 北魏の孝文帝は、その地に遷都し、その南郊に龍門石窟を造営した。
- (オ) その地は、唐を滅ぼして後梁を建国した節度使の朱全忠が首都を置いた。 []

③ 戦国の七雄の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) 齊は東方の大国で、その都の臨淄には諸国の思想家が集まった。
- (イ) 秦の孝公に仕えた商鞅は、変法を実施して富国強兵をめざした。
- (ウ) 晋を三分した家臣の一人が建国した趙は、邯鄲に都を置いた。
- (エ) 楚の政治家屈原の詩は、南方系の韻文をまとめた『楚辞』に見える。
- (オ) 燕は北方の大国で、その討滅をもって秦王政の天下統一が完成した。 []

- ④ その時代の政治および社会の説明として正しいものはどれか。
- (ア) 高祖が崩御すると、その皇后であった武氏とその一族が政権を奪って専横を極め、劉氏の政権は危機に陥った。
- (イ) 法家思想を重視して全国を36郡にわけ、その下に県を置いて郡・県いずれも中央から派遣した官僚が統治した。
- (ウ) 景帝が派遣した遠征軍が匈奴の冒頓単于に大敗すると、領土削減案に反対する諸侯が呉楚七国の乱をおこした。
- (エ) 県の下には郷・亭・里の郷村組織が置かれ、徳望ある年長者から互選された里老人が行政、徴税、教化を行った。
- (オ) 長安周辺の直轄地には郡県制を施行し、地方には皇帝の一族や功臣などを王・侯とする封建制を施行した。 []
- ⑤ その直轄地の説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) シルク＝ロード上に置かれた河西4郡は武威郡、張掖郡、酒泉郡、敦煌郡からなる。
- (イ) 秦末に趙佗が建国した南越は、南海貿易で繁栄したが、武帝に滅ぼされた。
- (ウ) 武帝が設置した南海9郡の一つである交趾郡の領域は、後世フランス領となった。
- (エ) 南海9郡の最南端に置かれた日南郡に大秦王安敦の使者が到着したのは、武帝の末年である。
- (オ) 武帝は、衛満を始祖とする衛氏朝鮮を討滅して楽浪、真番、玄菟、臨屯の4郡をおいた。 []

【3】

早稲田大学 法

中国史に関する以下のA～Dの文章を読み、設問1～9について解答を一つ選べ。

A 中国では『史記』以前の史書に関連する文献として、『春秋』や『国語』等があったが、前漢の司馬遷によって紀伝体による歴史叙述が創始されると、以後、紀伝体による史書の撰述が行われるようになった。『史記』以後の『漢書』・『後漢書』・『三国志』等々はみな私撰であるが、唐に至り勅命によって前王朝の『正史』が編纂されるようになった。

設問1 下線aの『春秋』と最も密接に関連するものを選びなさい。

- ① 通史 ② 断代史 ③ 編年体 ④ 紀事本末体 []

設問2 下線bに関して、清の乾隆末年に二十四の史書を選んでこれを正史としたが、この乾隆帝の文化事業の中に含まれるものはどれか。① 『古今圖書集成』 ② 『四庫全書』 ③ 『四書大全』 ④ 『大義覺迷録』 []

B 『諸子百家』の一つである陰陽家の鄒衍は、“陰陽五行説”を唱えたことで知られる。すなわち天地万物の根本を陰と陽の二元としてとらえ、森羅万象を木・火・土・金・水の五要素による働きによって推移すると考え、その五行循環に基いて、舜は土徳、夏は木徳、殷は金徳、周は火徳をもって王となったとする有名な王朝交替論を唱えた。この学説は秦漢以降に、王朝の正統性をめぐる議論に大きな影響を与えた。

設問3 下線cの諸子百家の関連事項の組み合わせの中で、誤っているものはどれか。

- ① 儒家／孝 ② 兵家／呉起 ③ 名家／白馬は馬に非ず ④ 道家／非攻 []

設問4 ギリシア人で古代ローマの歴史家であるポリビオスは、政体循環史観による歴史書を著したが、ギリシア時代およびローマ時代の歴史家と歴史書に関して、誤った記述はどれか。

- ① ペルシア戦争を主題とするヘロドトスの『歴史』は、物語風の歴史叙述の典型とされている。
- ② ペロポネソス戦争を主題とするトゥキディデスの『歴史』は、史料批判に基く歴史叙述とされている。
- ③ リウィウスは、建国からアウグストゥスに至るまでの『ローマ建国史』を著した。
- ④ 『年代記』を著したタキトゥスは、政治的に帝政の立場に立っている。 []

C 平和的に政権を譲り受ける王朝交替を『禪譲』といい、武力で奪取することを“放伐”という。それは天帝が地上の有徳者に命(地上の支配権)を託して統治させる、という天命思想に基くものである。暴政によって民意を失えば、命は他の有徳者に移り、新たな受命者が放伐によって暴君を倒し、新王朝が樹立される。これらを『易姓革命』という。

設問5 下線dに関して、中国史上、禪譲の最初の実例は、前漢にかわって新を樹立した王莽であるが、王莽の政治に関して誤っている記述はどれか。 ① その政治は『周礼』等の儒家經典の影響が大きかった。

- ② 前7年に豪族の大土地所有を制限する限田法を發布した。③ 籤緯思想(予言思想)を政治的に利用した。
- ④ 政治の混乱は赤眉の乱を引き起こし、これに乗じて豪族も各地で挙兵した。 []

設問6 下線eに関して、戦国諸子の中で易姓革命を典型的に唱えた者は誰か。

- ① 莊子 ② 孟子 ③ 韓非 ④ 蘇秦 []

次の文章を読み、問 1～10 について、選択肢の中から解答をそれぞれ 1 つ選べ。

春秋時代は古代中国の大変動が始まった時代である。当時の中国では、^(a)殷王朝を滅ぼした後、長く華北を支配してきた周王朝の求心力が弱まり、各地の封建諸侯は自立化するようになった。周王朝の弱体化は進み、かわって^(b)中原の諸侯や南方の新興勢力が覇者になろうとして抗争し、末期には大規模な長期戦争も勃発した。

戦国時代は、^(c)晋が内乱により三国に分裂したことを契機に始まったとされる。この時代に、周王朝の権威は完全に失墜し、諸侯は自ら「王」を名乗り、下克上の風潮とともに、武力抗争を繰り返し、^(d)「戦国の七雄」と呼ばれる強国が弱小国を滅ぼして領土を拡大していった。この戦乱の時代は、前 221 年に^(e)秦が周と他の 6 国を滅ぼして天下を統一するまで続いた。

春秋時代末期から戦国時代は、邑制国家から領土国家へ、さらに中央集権的な大帝国へと移行していく時期であった。血縁に基づく封建制は崩壊して、諸侯は新しい国家統一の原理を求め、またさまざまな富国強兵策を求めようになった。それに応えるべく登場したのが^(f)諸子百家と呼ばれる思想家たちであった。下級の士や庶民の中からも知識を身につけた思想家が現れ、諸国をめぐる諸侯に自らの政策や理想を説いた。諸侯も彼らを食客として迎え入れ、ときには宰相や将軍として登用した。諸子百家の多様な思想はその後の中国の政治思想、社会思想の源流であるといえる。中でも後世に最も大きな影響を与えたのは、^(g)孔子によって開かれた^(h)儒学である。漢以降の王朝の支持を受けた儒学は、中国の皇帝政治を支える正統的教學となった。儒学は、中国ばかりでなく、⁽ⁱ⁾朝鮮、日本、東南アジアなどの諸地域にも伝わり影響を与えた。また道家の創始者とされる老子は、後漢末から宗教の形態を取り始めた^(j)道教において、その始祖とみなされるようになった。

問 1 下線部(A)に関連して、殷および周についての記述のうち、最も適切なものはどれか。

- 現在の河南省鄭州で 1928 年に行われた発掘調査で殷墟が発見され、殷王朝の実在が確認された。
- 周は黄河支流の渭水流域におこり、当初は殷に服属し、殷の文化を摂取しながら国力を増大させた。
- 周の武王は前 1027 年の牧野の戦いで殷の傑王の軍を破り、殷王朝を滅亡させた。
- 周では、王が世襲の諸侯に采邑と呼ばれる封土を与え、諸侯は王に貢納と軍役の義務を負った。
- 周は西方の異民族犬戎によって都の朝歌を攻略されたため、前 770 年に東方の洛邑に遷都した。 []

問 2 下線部(B)に関連して、春秋時代の政治状況に関する記述のうち、適切でないものはどれか。

- 有力諸侯は周王を尊び「尊王攘夷」を唱え、諸侯に会盟を呼びかけて、その盟主になることで覇権を握ろうとした。
- 宋の襄公は斉の桓公について覇者になろうとしたが、宋襄の仁で知られる泓水の戦いで楚軍に大敗した。
- 呉の闔閭は兵法家の孫武などの力により勢力を拡大し楚を破ったが、越の夫差の軍に破れた。
- 南方の楚・呉・越の君主は、中原の諸侯とは異なり、早くから王号を使用した。
- 斉の桓公は管仲を宰相に登用して富国強兵を進め、葵丘において会盟を開き覇者となった。 []

問 3 下線部(C)に関連して、分裂した韓・魏・趙の三国が周王によって諸侯に封じられたのは何年のことか。

- 前 458 年
- 前 453 年
- 前 408 年
- 前 403 年
- 前 400 年 []

問 4 下線部(D)に関連して、戦国七雄のひとつに数えられ、威王、宣王の時代に各地の学者を都に集めて優遇し、自由に討論させたことで知られる国はどれか。

- 韓
- 燕
- 魏
- 趙
- 斉 []

問 5 下線部(E)に関連して、全国統一後の秦で行われたことについての記述のうち、最も適切なものはどれか。

- 都を雍から咸陽に移した。
- 穆公の時代から秦領土内で実施していた郡県制を全国で実施した。
- 文字を隸書という書体に統一した。
- 将軍蒙恬を北方に派遣してオルドスの匈奴を撃退した。
- 半両銭という方形の銅銭を統一貨幣と定めた。 []

問6 下線部(F)に関連して、万物を陰陽二気の働きによって説く「陰陽説」と、「木・火・土・金・水」の五元素の関係・消長によって万物の変化を説く「五行説」を融合させたことで知られる思想家はだれか。

- a. 鄒衍 b. 申不害 c. 楊朱 d. 公孫竜 e. 慎到 []

問7 下線部(G)に関連して、孔子に関する記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 孔子は魯の曲阜の出身で、魯では自分の政治的な理想を実現できず、諸国を旅して諸侯に自説を説いて回った。
b. 孔子は七十子と呼ばれる才能ある門人を直接育成したが、その中から曾子、孟子などの後継者が現れた。
c. 孔子の言行は門人たちにより『論語』としてまとめられたが、儒学の経書のうちの四書のひとつとされたのは南宋の時代である。
d. 孔子は父母に対する孝、兄や年長者に対する悌を根本とする仁を強調し、家族道徳の実践により天下の秩序が保てるとした。
e. 孔子は周の封建制、特に周公旦の治世を模範と考え、古来の礼を回復させ、政治と道徳、倫理を結びつけようとした。 []

問8 下線部(H)に関連して、儒学の歴史についての記述のうち、適切でないもののみの組み合わせはどれか。

- ① 訓詁学の代表作のひとつである『五経正義』は、唐の太宗が、経書の解釈の統一のために、孔穎達、顔師古らの学者を集めて編纂させたもので、科挙試験のテキストとして用いられた。
② 宋学の開祖といわれる北宋の周敦頤は、仏教哲学や道家思想も取り入れて宇宙万物生成の原理や道徳論を説いたが、彼の思想は南宋の程顥や程頤、朱熹に受け継がれ、朱子学として集大成された。
③ 前漢の武帝のとき、董仲舒の献策により五経博士が設置され儒学は官学となり、後漢の後半には、経書の字句解釈を目的とする訓詁学が許慎やその弟子の鄭玄によって集大成された。
④ 儒学の経書『春秋』の注釈書『公羊伝』を正統とし、いにしへの聖人の道を忠実に伝承せよと主張する公羊学が清の末期に盛んになり、康有為や梁啓超らの変法運動の思想的基盤となった。
⑤ 明代の後半には、心即理、致良知、知行合一を説く陽明学が庶民の間に普及し、また、童心説を唱え士大夫の精神的支柱である朱子学を非難した李贄などの陽明学左派の思想家も現われた。
a. ①③⑤ b. ②③④ c. ③④⑤ d. ①④⑤ e. ①②⑤ []

問9 下線部(I)に関連して、朝鮮王朝の王で、儒学を奨励して仏教を抑圧し、訓民正音を制定したことで知られているのは誰か。 a. 正祖 b. 成宗 c. 世祖 d. 太宗 e. 世宗 []

問10 下線部(J)に関連して、道教の歴史についての記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 道教の源流の一つとされる太平道は、後漢末に張角が創設した宗教結社で、長江流域の農民の間に勢力を拡大し、華南一帯で黄巾の乱を引き起こした。
b. 北魏の太武帝の信任を得た寇謙之は、仏教の戒律などを取り入れ天師道を改革して新天師道を開き、道教の国教化を進める一方、廢仏を推進した。
c. 五斗米道は2世紀後半に張陵と孫の張魯が指導し、陝西・四川に勢力を拡大した宗教結社で、呪術儀礼を重視し、後に張陵の子孫を天師とする正一教となった。
d. 北宋の時代に王重陽が開いた全真教は、儒教・仏教を取り入れ、呪術の否定や厳しい戒律、禪宗風の修行法などを特徴とし、元朝の信任を得て勢力を広げた。
e. 唐は、老子と唐皇室が同じ李姓であることから道教を手厚く保護し、玄宗の代には道士を試験によって官吏に登用する制度が設けられた。 []

早慶の過去問からの追加問題(ギリシア史)

【1】

早稲田大学 教育

次の古代ギリシアに関する文章を読み、下線部に関する問い(1)～(10)について、a～dの選択肢の中から解答を選び、その記号をマークしなさい。また、波線部に関する設問A、B、Cの解答を記入しなさい。

ギリシアの代表的ポリスのアテネでは、前6世紀初めに改革が行われた(1)。しかし、市民のなかに不満を持つ者も多く、これらを抱き込んで非合法的に独裁権を握る僭主が現れた(2)。前6世紀末には、僭主の出現を防ぐための制度Aが設けられるなど、民主政治の基礎が確立した。この頃アケメネス朝ペルシアの支配に対する、小アジアの植民市の反乱(3)を契機にペルシア戦争Bがはじまった。前490年アテネは独力でペルシアの侵入を撃退し、さらに前480年海戦で勝利し(4)、前479年にはスパルタと連合した戦いでペルシアを破り(5)、ギリシアに勝利をもたらした。戦後、軍艦のこぎ手として働いた無産市民の発言力が高まり、これを背景にアテネ民主政が完成された(6)。ギリシア人たちは、独自の文化を花開かせ、その文学は神々と人間との関わりをうたったホメロスやヘシオドス(7)の叙事詩からはじまり、数多くの文学作品を生み出した(8)。他方で、自然現象を神話ではなく合理的根拠で説明しようとする自然哲学者たちが現れた(9)。また、民会や裁判所での弁論が重要になると、この真理にかかわらず相手をいかに説得するかを教える職業教師Cが登場した。これに対し真理の絶対性を説くソクラテスや、理想国家論を説くプラトン、さらにアリストテレス(10)など、後世に大きな影響を与える哲学者が活躍した。

- (1) この改革に関して説明した次の各文で、正しいのはどれか。
- a 平民の負債を帳消しにして、債務奴隷を解放し、以後禁止した。
 - b 500人評議会を創設した。
 - c 血縁による4部族制を廃止し、地域的な10部族制に移行させた。
 - d ポリスが武器や武具を整え、市民を重装歩兵として徴兵した。 []
- (2) 次のうち、僭主はどれか。
- a ドラコン b ペイストラトス c ペリクレス d リュクルゴス []
- (3) この植民市の所在地は次のなかのどれか。
- a アルカディア b イオニア c テッサリア d リディア []
- (4) この海戦を勝利に導いたのはどれか。
- a エバミノンドス b テミストクレス c ミルティアデス d レオニダス []
- (5) この戦いが行われた地名はどれか。
- a カイロネイア b テルモピレー c プラタイア d マラトン []
- (6) アテネ民主政に関する説明で、誤っているのはどれか。
- a 市民が民会を構成し、議決する直接民主政であった。 b 参政権は成年の男性市民に限られた。
 - c 役人や政治家の責任は弾劾裁判で追及された。 d 将軍や財務官は抽選で任命された。 []
- (7) 彼の作品はどれか。
- a 『アガ멤ノン』 b 『イリアス』 c 『オデュッセイア』 d 『労働と日々』 []
- (8) ペロポネソス戦争中に反戦劇『女の平和』を書いた作家はどれか。
- a アイスキュロス b アリストファネス c エウリピデス d ソフォクレス []
- (9) 次の自然哲学者の主張として、正しいのはどれか。
- a タレスは、万物の根源は火であると主張した。 b ヘラクレイトスは、「万物は流転する」という言葉を残した。
 - c ピタゴラスは、原子に万物の根源を求めた。 d デモクリトスは、万物が水からできていると主張した。 []
- (10) 彼に関する説明で、誤っているのはどれか。
- a アカデミアでプラトンに学んだ。 b 『政治学』や『形而上学』を著した。
 - c 知徳合一を主張し、「無知の知」を説いた。
 - d マケドニアのフィリッポス2世に招かれ、王子アレクサンドロスの教育係を務めた。 []

設問A この制度は何と呼ばれたか。 []

設問B この戦争を東西文明の衝突として物語風に叙述したのはだれか。 []

設問C この職業教師は何と呼ばれたか。 []

【2】

早稲田大学 政治経済学部

A 次の文のなかで、誤りのないものを二つ選び、マークせよ。

イ 前 594 年にアルコンに就いたソロンは、土地財産の大小によってアテナイ市民を4つの等級に分け、その等級に応じて政治参加の資格を付与した。

ロ ソロンの改革後も貴族と平民の抗争が続いたアテナイでは、ペイシストラトスが民衆の支持を背景に権力を握り、小農民の育成や海外発展をはかった。

ハ ペイシストラトスを追放したクレイステネスは、部族制の改革、五百人評議会の設置、陶片追放の制度によって、アテナイの民主化を進めた。

ニ 小アジアのミレトスに生まれたヘロドトスは、エジプトやメソポタミアなどオリエント諸国を旅行し、その見聞を交えてペルシア戦争の歴史を書いた。

ホ アテナイの名門に生まれたペリクレスは、デロス同盟諸国をアテナイに従属化させる政策を推進し、ペロポネソス戦争を勝利に導いた。 []

【3】

慶應義塾大学 文

ギリシアは早くから古代オリエント世界と接触をもち、紀元前 2000 年紀前半にはすでにミケーネ文明を形成していた。前 1200 年頃ミケーネ文明が滅亡すると、しばらく暗黒時代を迎えるが、前 8 世紀頃には各地にポリスが作られ、古典文化を生み出すこととなった。当時ギリシア人はオリンポスの 12 神を中心とする多神教を信じていた。しかし、この文化は人間中心主義で合理性を重んじることに特徴があり、そのような哲学、歴史、文学、彫刻、建築などが発達した。前 330 年ギリシア北方にあったマケドニアの王アレクサンドロスがアケメネス朝ペルシアを滅ぼすと、このギリシア文化はオリエント世界にも浸透していき、ヘレニズム文化が形成されるようになった。

(1) ミケーネ文明崩壊後移動したギリシア人の中でトロイア周辺に定住した人々を何と呼ぶか。 []

(2) ポリスで商工業が発達すると、豊かになった平民たちは自費で武器を調達し、ポリス防衛に加わるようになった。そのような兵士を何と呼ぶか。 []

(3) ペルシア戦争などで用いられたギリシアの軍船で、その高速性で知られたものは何か。 []

(4) アレクサンドロスが東方遠征からの帰還中に急死したユーフラテス川流域の都市はどこか。 []

【4】

早稲田大学 政治経済

次の問い 1～7 について、最も適切な答えをそれぞれイ～ニの中から一つ選び、その記号をマークせよ。

1 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ ミルティアデスの率いるアテネの重装歩兵軍は、マラトンに上陸したペルシア軍を破った。

ロ レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーに侵入してきたペルシア軍を撃退した。

ハ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で大艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。

ニ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイ(プラテーエ)の陸戦で破った。 []

2 いわゆるヘレニズム時代に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ マケドニアのアレクサンドロスは、イッソスの戦いでペルシアのダレイオス 3 世の軍を破った。

ロ アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイを自称する部将たちの中で抗争が起こった。

ハ アレクサンドロス大王の部将の一人であるプトレマイオスは、エジプトに新たな王朝を開いた。

ニ この時代に彫刻家のフェイディアスが、「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン像」などの傑作を生み出した。 []

設問 テルモピュレーの陸戦やサラミスの海戦の時に、アケメネス朝ペルシアの王だったのは a である。

[a]

【5】

ヨーロッパの政治制度に関する次の文章 1・2 を読み、以下の設問 X・Y に答えなさい。

紀元前 8 世紀頃、ギリシア世界では、ポリスとよばれる独立した都市国家が成立しはじめていた。多くのポリスには、①守護神を祀る神殿がおかれたアクロポリスとよばれる小高い丘があって、ここを中心に人々は集住(シノイキスモス)して、都市を形成した。また、ポリスの中心には **A** という広場があり、政治上の集会や市場がひらかれ、市民の社交や議論の場となった。②ギリシア人は、共通の言語・文化をもち、民族としては一体であったが、独自性をもつポリスを多数つくりながら、③民主政を特徴とするギリシア特有の政治制度を発達させていった。

設問 X 文中の空欄 **A** に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- A a アポロン b アゴラ c キヴィタス d コロッセウム []

設問 Y 文中の下線部①～②に関する次の問いについて、最も適切な解答を a～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- ① ギリシアの宗教・神話・神殿について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
 a ヘシオドスは『神統記』で、天地や神々の誕生の神話を説いた。
 b ホメロスは叙事詩『イリアス』で、トロイア戦争や英雄アキレウスの武勲を伝えた。
 c ギリシア人の宗教は多神教で、ゼウスを主神としたオリンポス 12 神が万物を司るものとされた。 []
 d アテネのアクロポリスの丘には、ペルシア戦争前にその戦勝を祈願して、パルテノン神殿が建てられた。
- ② ギリシアの民族や文化について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
 a ギリシア人は自分たちをヘレネス、その国土をヘラスと呼び、異民族をバルバロイと呼んで区別した。
 b ソクラテスは理想国家論を説き、その弟子プラトンは『政治学』・『ニコマコス倫理学』を著した。
 c ギリシア文化は東方にも波及し、土着文化からも影響を受けて、独特なヘレニズム文化が生まれた。
 d ギリシア文化の中心となったエジプトのアレクサンドリアには、ムセイオンという王立研究所が建てられた []
- ③ ギリシアにおける民主政について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
 a 紀元前 7 世紀に、ドラコンは従来の慣習法を成文化して、貴族による法の独占を破った。
 b 紀元前 6 世紀に、ソロンは貴族と平民の調停者として国政改革を断行した。
 c スパルタの僭主ペイシストラトスは、平民層の支持を得て、中・小農民を保護・育成した。
 d アテネのクレイステネスは、陶片追放(オストラシズム)の制度をつくって、僭主の出現を防止した。 []

【6】

次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。設問 2・3 は、解答を一つ選び、その記号をマークしなさい。

ペリクレスは、**A** 戦争の初年の戦没者に対する葬送演説の中で、東方の専制社会とは異質である市民的自由を享受するギリシアの中でも、アテナイは民主政のもと自由と平等が最も浸透したポリスであることを、兵營国家で鎖国的な^(a) スパルタを揶揄しながら強調した。市民的娯楽として、アテナイでは国家的行事として行われた^(b) 悲劇・喜劇があった。悲劇は、民主政ポリスにふさわしく運命や宿命に耐えながら行動する人間としての個人の高貴さを表現した。喜劇は、好戦的扇動政治家やソフィストを批判しており、自由な批判精神が発揮された。

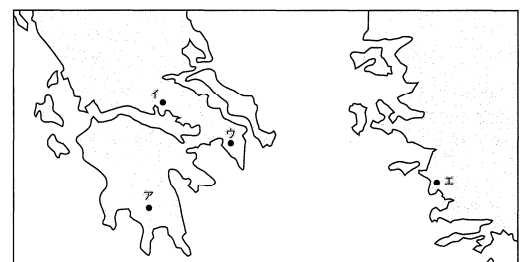
設問 1 文中の空欄 **A** に最も適合する語句を入れなさい。 [A]

設問 2 下線部(a)にある地名は、次の地図のア～エのどれに該当するか。

- a ア b イ c ウ d エ []

設問 3 下線部(b)に関連して、これらの作者でないものは誰か。

- a アリストファネス b エウリピデス
 c ソフォクレス d フェイディアス []



【7】

次の文章を読み、下線部についての問に答えよ。解答は一つだけマークせよ。

ヨーロッパの都市は長い伝統をもっている。すでに_A紀元前8世紀にはギリシア、小アジア地域に_Bポリス(polis)と称する都市国家が成立しており、村落に住んでいた地主が「集住」(シノイクスモス)し次第に人口が増していった。ポリスの全盛期は、その数が1,000以上にも上ったといわれるがその一つ一つが政治的、経済的単位を形成していた。なかでも_Cアテネは次第に他のポリスに対し指導的な地位を獲得し、また_Dアテネ市民の活発な政治参加はかれらの文化にも大きく影響するとともに_E後年のイスラムやヨーロッパの思想も古代ギリシアの学問から多くのものを学んでいるのである。

問A 下線部Aに関して、紀元前8世紀におこったことはどれか。

1. ソロンの改革が実施された。
2. マガダ国がガンジス川流域を統一した。
3. ペイストラトスが僭主となって政権を握った。
4. 中国で春秋時代が始まった。
5. キュロス2世がアケメネス朝ペルシアを建国した。

[]

問B 下線部Bに関して、ポリスについて誤っているものはどれか。

1. デルフォイはポリスの一つで神殿があった。
2. コリントは東地中海と西地中海を結ぶ要地にあり商業が栄えたポリスである。
3. 多くのポリスは信仰の中心としてのアクロポリスなどの神殿をもっていた。
4. アゴラは市民の集会場として多くのポリスで重要視されていた。
5. オリンピアの祭典はテーベによって廃止された。

[]

問C 下線部C、アテネに関して誤っているものはどれか。

1. ソロンは、市民が身体を抵当に入れ奴隷化するのを防ごうとした。
2. ラウレイオン銀山は多くの富をアテネにもたらした。
3. クレイステネスは陶片追放の制度を始めたことで知られる。
4. ペリクレスは下層市民にも政治参加の道を開いた。
5. デロス同盟はアテネのよびかけで結成されたが、各ポリスの対等の地位は保証された。

[]

問D 下線部Dに関して誤っているものはどれか。

1. クセノファネスはアテネの国制についての多くの著述で知られる。
2. ソフィストはしばしば詭弁家と評されるが実際には政治的な弁論を指導する役割をもっていたと考えられる。
3. プラトンは「国家」などで望ましいポリスのありかたについて論じた。
4. アリストテレスは「政治学」を著した。
5. アリストファネスは政治風刺で一時代を画した。

[]

【8】

次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

ギリシア人とローマ人の国家は、現在のイランを中心とする地域に成立した大帝国と抗争を繰り返した。東西の国家の最初の大規模な衝突は、_Aペルシア戦争であった。この戦争はアテネを中心とするギリシア人の都市国家とアケメネス朝ペルシアとの間で起こった。最終的にギリシア側の勝利で終わったこの戦争については、_Bヘロドトス_Bがその詳細を書き残している。マケドニアのアレクサンドロス大王は、東方大遠征を行い、アケメネス朝を滅ぼした。大王の死後、セレウコス朝が旧アケメネス朝の領土の大半を継承したが、やがて_Cパルティアによってユーフラテス川以東の領土を奪われた。パルティアは、ローマとアルメニアやメソポタミア地方を巡って争った。ローマ皇帝の中には、アレクサンドロス大王に憧れる者もあり、このことがローマのパルティア侵攻の原因ともなった。3世紀にパルティアを倒した_Dササン朝もローマ帝国との戦争をたびたび行い、両者の争いは、ササン朝が642年に_Eの戦いでイスラム勢力に事実上倒されるまで続いた。

設問1 下線部Aの戦争について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア マラトンの戦いでは、ギリシア側が勝利した。

イ サラミスの海戦では、ギリシア側が勝利した。

ウ マラトンの戦いでは、ミルティアデスがギリシア側を指揮した。

エ サラミスの海戦では、ペイシストラトスがギリシア側を指揮した。

[]

設問2 下線部Bの人物について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア 前5世紀の人である。 イ ミレトスの出身である。

ウ 物語風の歴史叙述を行った。 エ 『歴史』を著した。

[]

設問3 下線部Cの国家の中国史料での呼び名を漢字で記しなさい。

[]

設問4 下線部Dに関連して、260年にシャープール1世の捕虜となったローマ皇帝の名を記しなさい。

[]

設問5 空欄Eにあてはまる地名として正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア アンカラ イ ザマ ウ ニハーヴァンド エ アルベラ

[]

【9】

早稲田大学 文化構想

次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

古代においてギリシア人は、その居住地を著しく拡大させた。前2000年頃にAインド＝ヨーロッパ語族の一派ギリシア人は、北方からギリシアに侵入し、やがてBミケーネ文明を興した。この文明は前1200年頃に突然崩壊し、ギリシアは暗黒時代に入るが、この暗黒時代においてギリシア人は、イオニア地方などに移住した。後にこのイオニア地方のギリシア人は、アケメネス朝ペルシアの第3代の王Cに対して反乱を起し、ペルシア戦争のきっかけをつくった。前8世紀に入ると、ポリスが生まれ、ポリスは同世紀半ば頃から地中海や黒海の沿岸に植民市を建設することで、ギリシア人の居住地をさらに拡大させた。植民市は、西方ではDイタリア半島南部やシチリア島を中心に数多く建設された。前4世紀にEアレクサンドロス大王が東方大遠征を行ったことから、ギリシア人の居住地は、シリア、メソポタミアを越えてアフガニスタンにまで広がった。

設問1 下線部Aの語族に属さない言語を一つ選べ。

ア アッカド語 イ ヒッタイト語 ウ サンスクリット語 エ ラテン語

[]

設問2 下線部Bの文明の中心地の一つミケーネを1876年から発掘した人物の名を記しなさい。

[]

設問3 空欄Cにあてはまる人名を記しなさい。

[]

設問4 下線部Dの地域に建設されたギリシア人の植民市の名として正しいものを一つ選べ。

ア クノッソス イ シラクサ ウ ネアポリス エ マッサリア

[]

設問5 下線部Eの人物について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア アテネに生まれた。 イ 父親はフィリッポス2世であった。

ウ エジプトにアレクサンドリアを建設した。 エ バビロンで没した。

[]

【10】

早稲田大学 政治経済

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

数えあげると、アテナイではこれまで11回の体制の変化があった。最初の変化は、太古の時代にイオンとその仲間たちが、アテナイに集まり住むようになった時に起った。この時初めて、ひとびとは4つの部族に分けてまとめられ、それぞれに部族王が任命された。第二は、テセウスの時代の変化であり、かなり大きな国制の改革が行われ、本来の王制から少し外れていくことになった。その後、aの時代に、初めて法が成文化された。第三は、市民同士の騒乱の後に現れたソロンの体制であり、そこから初めてb政治の端緒が開かれた。第四は、ペイシストラトスのc政治の時代である。第五は、ペイシストラト

スとその息子たちの **c** 政治が倒れた後の **d** による体制であり、ソロンの体制よりも **b** 的になった。第六は、ペルシア戦争後の体制であり、この時の改革はまだ **f** の監督のもとで行われた。第七の体制は、(中略)エフィアルテスがこの **f** から政治的実権を奪った政変の後の体制である。この体制のもとでアテナイは、**g** たちの活動によって、きわめて多くの政治的失策をおかすことになった。これには当時のアテナイが、海の支配を行っていたという原因もある。第八は、四百人の体制であり、これに次ぐ第九の体制として、ふたたび **b** 政治が行われた。(中略)第十一は、フェレーおよびペイライエウスからひとびとが帰還した後の体制である。それ以来、今日まで現在の体制が続いており、大衆がますます多くの職務や権限を手にするようになってきている。というのも、民衆はすべてに対する最終決定者となり、自らが実権を握る **i** の決議と民衆裁判所の判決によって、万事を取り仕切っているからである。

(出典：アリストテレス『アテナイ人の国制』第41章より、一部改変)

A 下記の問い1～5について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 空欄 a に当てはまる人名は何か。

イ リュクルゴス ロ レオニダス ハ ドラコン ニ ミノス []

2 空欄 d に当てはまる人物が行ったことは何か。

イ 部族制の再編 ロ アルコン制の廃止 ハ 陶片追放制の廃止 ニ ファランクス戦法の開始 []

3 下線部 e 中に起った①～④の戦闘を時系列に並べるとすれば、適切なものはどれか。

- ① スパルタの将軍パウサニアスが指揮するギリシア連合軍が、プラタイアでペルシア軍を撃破した。
- ② アテナイを中心とするギリシア連合軍の艦隊が、アテナイ西方の海峡(水道)でペルシア艦隊を撃破した。
- ③ ミルティアデスが指揮するアテナイの重装歩兵軍が、アテナイ北東の地に上陸したペルシア軍を破った。
- ④ テッサリアを南下し中部ギリシアへ向け進軍するペルシア軍が、ギリシア軍を破り、スパルタ王が戦死した。

イ ①→③→②→④ ロ ①→③→④→② ハ ②→③→④→① ニ ③→④→②→① []

4 空欄 f に当てはまる語句は何か。

イ 五百人評議会 ロ アレオパゴス評議会 ハ ヘラス同盟 ニ 隣保同盟 []

5 下線部 h を成立させていた軍事同盟の金庫を前454年にアテナイへ移した政治家は誰か。

イ アナクレオン ロ キュロン ハ テミストクレス ニ ペリクレス []

B 下記の問い1～4について、最も適切な答えを記せ。

- 1 空欄 b に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。 []
- 2 空欄 c に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。 []
- 3 空欄 g に当てはまる語句をカタカナで記せ。 []
- 4 空欄 i に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。 []

【11】

早稲田大学 文

次の文章を読んで、設問1～5に答えなさい。

A が率いるアテネは、**B** 戦争に勝利したのち、名実ともにギリシアのポリスの盟主となり、紀元前447年、アクロポリスの丘に、アテナ女神をまつるパルテノン神殿(図1)再建に着手した。建築と彫刻の総指揮をとったのは、彫刻家 **C** である。紀元後6世紀以降、パルテノン神殿は **D** 帝国の下で、キリスト教の教会となり、大理石に聖母マリアなどの壁画が描かれた。15世紀以降オスマン帝国によって、パルテノン神殿は一時モスクとして使用され、ミナレットも増築された。17世紀後半にアテネがヴェネツィア共和国から攻撃を受けた際、火薬庫として用いられていたパルテノンには砲撃を受け、屋根などが大破して、多くの彫刻も失われた。19世紀初頭、イギリスの外交官であった **E** 卿はスルタンの許可を得て、パルテノンに付属

する彫刻を大量に本国に持ち帰った。それらは今日「E・マーブル」と呼ばれて、大英博物館の至宝となっている(図2)。
 しかし、オスマン帝国から独立を果たしたギリシアは、今日パルテノン彫刻の返還を強く訴えている。「E・マーブル」
 問題は、ヨーロッパの博物館・美術館のありようを、私たちに考えさせるのである。



図1 アテネ,
パルテノン神殿

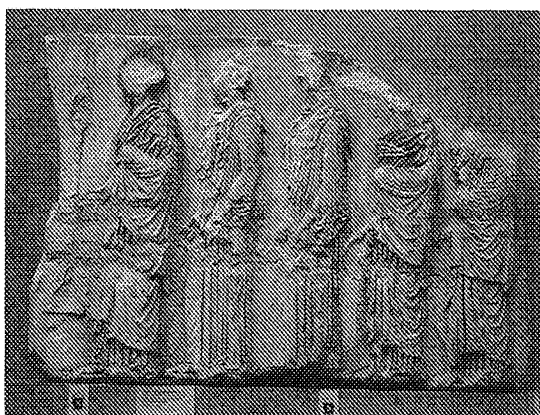


図2 ロンドン,
大英博物館,
パルテノン彫刻

設問1 Aに当てはまる人名を選びなさい。

イ テミストクレス ロ ペリクレス ハ クレイステネス ニ ペイシストラトス []

設問2 Bに当てはまる語を選びなさい。

イ ペロポネソス ロ スパルタ ハ テルモピレー ニ ペルシア []

設問3 Cに当てはまる人名を選びなさい。

イ プラクシテレス ロ エウリピデス ハ フェイディアス ニ ミュロン []

設問4 Dに当てはまる語を選びなさい。

イ ラテン ロ 両シチリア ハ ビザンツ ニ 神聖ローマ []

設問5 Eに当てはまる人名を選びなさい。

イ バイロン ロ ディケンズ ハ ワーズワース ニ エルギン []

早慶の過去問からの発展・応用(ローマ史)

【1】

早稲田大学 法

西洋の各時代における政治制度や議会の歴史に関するAの文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

A

紀元前1000年頃、ティベル河畔に建設された都市国家ローマは、先住民であるエトルリア人の支配を受け、最初王政をとっていたが、①前6世紀末に王を追放して共和政を築いた。しかし、貴族と平民さらに非自由民としての奴隷との身分差があるため、最高の官職である執政官は貴族から選ばれ、実質的な支配を握っていたのは、貴族の会議である元老院であった。したがって、共和政といっても実質上は貴族政であり、②この貴族支配に対して、前5世紀から平民を中心にした身分闘争が起こり、政治における平民と貴族との権利の平等が図られた。その後、ローマの地中海征服や属州支配によって中小農民が没落する一方で、新たな富裕層として騎士階層が台頭し、市民間の経済格差は広がった。この結果、政治家は、元老院の伝統を守ろうとする閥族派と、騎士や無産市民が支持する平民派に分裂して政治闘争を繰り返すようになった。グラックス兄弟の改革が失敗し、各地で反乱が起こるなど、ローマは内乱の時代に入るが、③前1世紀の2回にわたる三頭政治を経て、ようやく混乱に終止符がうたれた。権力の座についたオクタヴィアヌスは前27年、元老院からアウグストゥス(尊厳者)の称号を与えられ、市民の中の第一人者を自称したが、④事実上の皇帝独裁が開始された。

設問1 下線部①に関連して、同じ前6世紀頃、ギリシアでも民主政の改革が行われたが、これについて述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 ソロンが国制改革を実施し、財産額によって市民の参政権を定め、貴族と平民の調停を図ろうとした。
- 2 アテネの僭主ペイシストラトスは、中小農民の保護・育成に努め、平民層の力を向上させた。
- 3 アテネのクレステネスは、血縁による4部族制を、地域的な10部族制に改める改革を行い、民主政の基礎を固めた。
- 4 ペリクレスの指導の下で、アテネの民主政は完成に向かい、ペロポネソス同盟を結成して、ペルシア戦争を戦った。〔 〕

設問2 下線部②に関連して、平民の地位向上に役立ったと考えられるローマの法律や議会について、古いものから時代順に正しく並んでいるのはどれか。次の1～4から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 リキニウス・セクスティウス法の制定→十二表法の制定→平民会の設置→ホルテンシウス法の制定
- 2 ホルテンシウス法の制定→平民会の設置→十二表法の制定→リキニウス・セクスティウス法の制定
- 3 平民会の設置→十二表法の制定→リキニウス・セクスティウス法の制定→ホルテンシウス法の制定
- 4 十二表法の制定→ホルテンシウス法の制定→リキニウス・セクスティウス法の制定→平民会の設置 []

設問3 下線部③について、三頭政治に関連して述べた次の1～4の説明の中から正しいものを一つ選びなさい。1 閥族派の

- 1 スラ、平民派のカエサル、騎士階層出身のクラッススによって、第1回三頭政治が前60年に始められた。
- 2 カエサルはインペラトルの称号をうけてガリアに遠征し、『ガリア戦記』を残した。
- 3 アントニウス、ポンペイウス、レピドゥスによって、第2回三頭政治が前43年に始められた。
- 4 オクタヴィアヌスはアクティウムの海戦で、アントニウス・クレオパトラ連合軍を破った。 []

設問4 下線部④に関連して、ローマの皇帝政治について述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 皇帝ネロは、キリスト教徒を迫害するなど残虐な政治を行い、追放されて自殺した。
- 2 五賢帝の最初の皇帝であるトラヤヌスのときに、ローマ帝国は最大の版図を実現した。
- 3 五賢帝の最後の皇帝マルクス=アウレリウス=アントニヌスは、『自省録』を著すなど、哲人皇帝と呼ばれる。
- 4 ディオクレティアヌス帝は、ローマ帝国を4分し、正帝と副帝を2人ずつたてる四分統治制をとった。 []

【2】

早稲田大学 政治経済

下記のAに答えよ。

A 次の問い1～7について、最も適切な答えをそれぞれイ～ニの中から一つ選び、その記号をマークせよ。

- 1 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ ミルティアデスの率いるアテネの重装歩兵軍は、マラトンに上陸したペルシア軍を破った。

- ロ レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーに侵入してきたペルシア軍を撃退した。
- ハ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で大艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。
- ニ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイ(プラテーエ)の陸戦で破った。 []
- 2 いわゆるヘレニズム時代に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ マケドニアのアレクサンドロスは、イッソスの戦いでペルシアのダレイオス3世の軍を破った。
- ロ アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイを自称する部将たちの間で抗争が起こった。
- ハ アレクサンドロス大王の部将の一人であるプトレマイオスは、エジプトに新たな王朝を開いた。
- ニ この時代に彫刻家のフェイディアスが、「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン像」などの傑作を生み出した。 []
- 3 共和政時代のローマに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ 元老院は三つの民会の一つであり、コンスルを任命するなど、ローマでもっとも権威ある機関だった。
- ロ ローマは西地中海の支配をめぐりカルタゴとたびたび戦い、(大)スキピオはザマの戦いでハンニバルを破った。
- ハ 共和政末の内乱のなかで平民派のカエサルが頭角を現し、ポンペイウスを倒して、インペラトルの称号を手にした。
- ニ カエサルの暗殺後、アクティウムの海戦で勝利したオクタヴィアヌスがアウグストゥスという称号を手にした。 []
- 4 ローマ帝国時代のキリスト教に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ パリサイ派のユダヤ教徒だったパウロは、回心してキリスト教徒になり、帝国各地に伝道を行った。
- ロ ディオクレティアヌス帝は、帝国の統一のため皇帝に対する崇拜を強制し、キリスト教徒に対する迫害を行った。
- ハ コンスタンティヌス帝は、キリスト教の信仰の自由を認めるとともにニケーア公会議で教義統一を図った。
- ニ テオドシウス帝は、エフェソスで公会議を開催し、三位一体説に反対するアリウス派を異端とする決定を行った。 []

【3】

早稲田大学 第一文学部

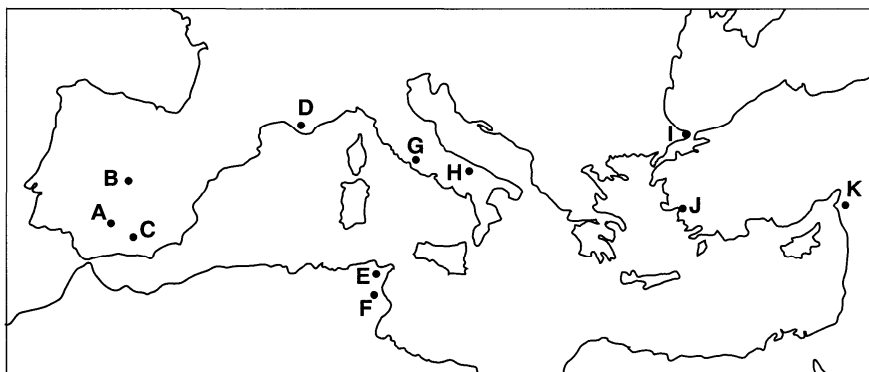
ローマは、図にあるように地中海沿岸を中心に広大な地域を支配した。図には幾つかの場所を示した。この図を見ながら、設問1～4に答えなさい。

設問1 地図上のDはギリシア植民地を起源とする都市であり、ローマ時代以降も地中海交易の拠点として栄えた。この都市の名をローマ時代の名称で答えなさい。 []

設問2 ローマとカルタゴとの長い戦いの過程で、前216年に地図上のHにおいて史上まれに見る凄惨な会戦があった。勝者となった軍を率いたのは誰か。名前を答えなさい。 []

設問3 キリスト教会の歴史は異端排除の一面を持つ。431年に地図上Jで開催された宗教会議では、ある有力な人物の説を異端として彼を追放した。彼の教えは後にシリア・ペルシアを中心に東方に広まった。この人物の名を答えなさい。 []

設問4 起源がローマ時代にさかのぼるこの都市は、西ゴート王国の中心となり、中世を通じてイスラム文化とキリスト教文化の接点として重要な位置を占め、カスティリヤ王国の首都にもなった。この都市に該当する記号を地図から選び、答えなさい。さらに、この都市の名を現在名で答えなさい。 []



【4】**早稲田大学 教育学部**

次のイベリア半島の歴史に関する文章を読み、下線部に関する問い(1)～(3)に答えなさい。

第1次ポエニ戦争後、カルタゴはイベリア半島の植民を強化した。ハンニバルが、イベリアの首都というべき植民市からイタリア遠征に出立した⁽¹⁾のは、その豊かな人的・経済的資源を用いたからである。ハンニバル軍はローマ直前まで迫った⁽²⁾が、カルタゴはイベリア半島と本国を攻められ、結局イベリア半島は勝利したローマの支配下に入った。その後、ローマ帝国の崩壊とともに、半島にゲルマン諸部族が侵入し、一部族は8世紀にイスラム教徒が侵入してくるまで王国を維持した⁽³⁾。

(1) この植民市は現在のどこか。

- a アリカンテ b カディス c カルタヘナ d バルセロナ []

(2) ハンニバルがイタリア南東部でローマ軍を撃破した戦いはどれか。

- a カタラウヌム b カンネー(カンナエ) c ザマ d ピュドナ []

(3) このゲルマン部族はどれか。

- a ヴァンダル b ブルグンド c ランゴバルド d 西ゴート []

【5】**早稲田大学 政治経済学部**

次の1～4のそれぞれの文のなかで、誤りのないものを二つ選び、マークせよ。

イ エトルリア人の王を追放して共和政が樹立されたローマでは、統領や護民官など政務官が平民会の選挙によって選ばれた。

ロ 貴族と平民の身分闘争の過程でディクタトルとなったホルテンシウスは、平民からもひとりのコンスルを登用する改革をおこなった。

ハ ポエニ戦争後のローマでは、元老院を中心とする門閥派と、平民会を中心とする平民派の対立が続き、平民派のマリウスと門閥派のスラが相次いで実権を握った。

ニ マリウスの後継者のポンペイウスは、元老院を抑えるために平民派のカエサルたちと第一回三頭政治を樹立したが、カエサルによって打倒された。

ホ オクタヴィアヌスはブトレマイオス朝の女王と手を組んだアントニウスを打倒し、元老院からアウグストゥスの称号を与えられた。 []

【6】**早稲田大学 商学部**

次の文章を読み、下線部A～Lについての問に答えよ。解答は解答用紙に一つだけマークせよ。

ヨーロッパの都市は長い伝統をもっている。すでにA紀元前8世紀にはギリシア、小アジア地域にBポリス(polis)と称する都市国家が成立しており、村落に住んでいた地主が「集住」(シノイクスモス)し次第に人口が増していった。ポリスの全盛期は、その数が1,000以上にも上ったといわれるがその一つ一つが政治的、経済的単位を形成していた。なかでもCアテネは次第に他のポリスに対し指導的な地位を獲得し、またDアテネ市民の活発な政治参加はかれらの文化にも大きく影響するとともにE後年のイスラームやヨーロッパの思想も古代ギリシアの学問から多くのものを学んでいるのである。一方イタリアを中心に住んでいたFエトルリア人は紀元前9世紀ごろからいくつかの都市を作り、紀元前7世紀末にはローマをも支配しそこに都市国家を設けていた。ところがラテン人は次第にエトルリア人を圧倒し、紀元前509年、ラテン人はエトルリア王を追放して、都市国家を建設し貴族共和政といわれる政治体制をとった。この体制の中で平民は次第に貴族に対抗するようになるが、元老院の存在を始めとしてG共和政ローマはギリシア・アテネ市民による民主政とは当初から明らかに異質のものであった。そして紀元前27年Hオクタヴィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を受け、これを境にローマは共和政の伝統と決別しI皇帝による支配への道を歩むことになる。

問A 下線部Aに関して、紀元前8世紀におこったことはどれか。

1. ソロンの改革が実施された。
2. マガダ国がガンジス川流域を統一した。
3. ペイストラトスが僭主となって政権を握った。
4. 中国で春秋時代が始まった。
5. キュロス2世がアケメネス朝ペルシアを建国した。 []

問B 下線部Bに関して、ボリスについて誤っているものはどれか。

1. デルフォイはボリスの一つで神殿があった。
2. コリントは東地中海と西地中海を結ぶ要地にあり商業が栄えたボリスである。
3. 多くのボリスは信仰の中心としてのアクロポリスなどの神殿をもっていた。
4. アゴラは市民の集会場として多くのボリスで重要視されていた。
5. オリンピアの祭典はテーベによって廃止された。 []

問C 下線部C, アテネに関して誤っているものはどれか。

1. ソロンは、市民が身体を抵当に入れ奴隷化するのを防ごうとした。
2. ラウレイオン銀山は多くの富をアテネにもたらした。
3. クレイステネスは陶片追放の制度を始めたことで知られる。
4. ペリクレスは下層市民にも政治参加の道を開いた。
5. デロス同盟はアテネのよびかけで結成されたが、各ボリスの対等の地位は保証された。 []

問D 下線部Dに関して誤っているものはどれか。

1. クセノファネスはアテネの国制についての多くの著述で知られる。
2. ソフィストはしばしば詭弁家と評されるが実際には政治的な弁論を指導する役割をもっていたと考えられる。
3. プラトンは「国家」などで望ましいボリスのありかたについて論じた。
4. アリストテレスは「政治学」を著した。
5. アリストファネスは政治風刺で一時代を画した。 []

問E 下線部Eに関して正しいものはどれか。

1. イブン=シーナーは主に政治学の分野で古代ギリシアの文化の継承、発展に努めた。
2. イブン=シーナーは主にプラトン哲学の紹介で知られる。
3. メディチ家は「プラトン=アカデミー」を設け古典古代文化の吸収、発展に努めた。
4. マキアヴェリは主に古代ギリシア史の叙述でルネサンスを代表する史家となった。
5. ダンテの「神曲」は古代オリエントから題材をとったものである。 []

問F 下線部Fエトルリア人について誤ったものはどれか。

1. エトルリア人はギリシア、カルタゴなどと貿易を行った。
2. エトルリア人は主にイタリアのトスカナ地方に居住していた。
3. エトルリアの起源についてはなお不明のことが多い。
4. エトルリア人はとくに詩文などについて後世に大きな影響を与えた。
5. エトルリアのト占、官制などはローマに引き継がれた。 []

問G 下線部G共和政ローマについて正しいものはどれか。

1. 十二表法は主に貴族の特権擁護を目的としていた。
2. ホルテンシウス法により平民会の地位は向上した。
3. 執政官(コンスル)は全市民の選挙により選出された。
4. ラティフンディアにより大土地所有者の地位は揺らいだ。 []
5. ギリシアと異なり重装歩兵の軍事的役割は小さかった。

問H 下線部Hオクタヴィアヌスについて誤っているものはどれか。

1. かれは執政官や護民官職には就いたが、ついに正式な皇帝の地位には就かなかった。
2. かれ自身は「第一人者」(プリンケプス)という呼称を好んだ。
3. オクタヴィアヌスの後継者は元老院と平民会による選挙で決定された。

4. かれは娯楽や金品などを市民に与え人気の維持に努めた。

5. 属州の税収をわがものとするなど経済的な地位の強化を図った。

[]

問 I 下線部 I について誤っているものはどれか。

1. 帝国政府はラテン語の普及に努めた。 2. ネロ帝時代に帝国の版図は最大となった。

3. パリ、ロンドンなどは帝国の軍団駐屯地から発展したものである。

4. 帝政の下で執政官は皇帝指名になり民主的性格は失われた。

5. 帝政時代、隊商貿易などで東方の文物が盛んに取り入れられた。

[]

【7】

早稲田大学 社会科学部

次の文章を読み、問1～4については、該当するもっとも適切な語を記入し、問5～12については、該当するもっとも適切な解答をそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。

(a) トロヤの英雄アエネアスの末裔により建国されたといわれるローマは、イタリア中部ティベル河畔の小都市国家として出発し、建国以来王政の統治形態をとっていたが、前6世紀末に共和政へと移行したとされる。(a) 共和政の初期に、国政を独占していた貴族に対して平民は身分闘争を展開したが、前3世紀前半までに平民の参政権が認められるようになった。この頃までに、ローマは北のエトルリア人、山岳地帯のサムニウム人、中部のラテン人、(b) 南部のギリシア系の都市との抗争を勝ち抜いて、降伏した都市や征服の過程で建設した植民市を合わせた広大な同盟の盟主となり、イタリア半島内の支配権を確立した。さらに地中海への勢力拡大をはかるローマは、地中海の商業交易権をにぎっていたカルタゴと衝突して(c) 3度にわたるポエニ戦争を戦い、これに勝利してカルタゴを壊滅させた。一方、東地中海にも進出したローマは、ギリシアの都市国家や小アジアの王国を勢力下におさめ、前2世紀なかばには地中海全域を制覇するまでになった。

だが、急速に発展したローマ社会では、市民の間の階層差が拡大し、ローマは内乱の時代に入ることになった。その幕開けとなったのはグラックス兄弟の改革であった。大土地所有を制限して中小農民を救済しローマ市民軍を再建しようとした彼らの改革は、大土地所有者の反撃にあい挫折した。その後(d) 元老院の権威を重んじる閥族派と民会を基盤とする平民派の対立が激しくなり、また同盟市戦争や大規模な奴隷反乱などの混乱が続いたが、第1回三頭政治をへてカエサルによる独裁が実現し、ローマの共和政は事実上崩壊した。しかしカエサル暗殺後ローマの政治は再び混乱し、第2回三頭政治をへて、オクタヴィアヌスが(e) アクティウムの海戦でエジプトのクレオパトラと結んだアントニウスを破り、100年にわたる内乱に終止符がうたれた。オクタヴィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を与えられ、共和政の伝統を尊重したプリンキパトゥスとよばれる政治をおこなったが、実際には帝政時代の始まりであった。(e) その後五賢帝時代が終わるまでの約200年間、広大な領土と属州支配に支えられ、「パックス＝ローマナ」とよばれる安定期が続いた。この時期に帝国内の道路網が整備され、経済活動も活発化し、(f) 貿易活動も地中海・紅海・ペルシア湾から南インドまで拡大した。

3世紀になると、(g) カラカラ帝は帝国内の全自由民にローマ市民権を与える勅令を發布し、これによりローマ人と属州人の区別がなくなり、ローマ世界が広がった。しかし、東方のササン朝ペルシアや北方のゲルマン人の侵入が激化し、力をもった各地の軍団が次々に皇帝を擁立しては廃位させる(h) 軍人皇帝時代となり、ローマの政治は混乱した。しかし、3世紀末になると、ディオクレティアヌス帝がオリエント風の専制支配を開始し、帝国の4分割統治など帝国の再編を行い、ローマ世界には再び安定と繁栄の時代が訪れた。またコンスタンティヌス帝は、330年に帝国の首都を東部のビザンティウムの地に移し、官僚制度の確立、職業・身分の固定化、(i) キリスト教の公認などの改革により帝国の維持を図った。しかし帝国の解体は進み、395年にローマ帝国は東西に分裂した。その後、西方では(j) ゲルマン人の侵入を防ぐことはできなくなり、5世紀になると西ローマ帝国はますます衰退し、476年最後の皇帝が退位して西ローマ帝国は滅亡した。一方、東ローマ帝国は1453年にオスマン帝国によって滅ぼされるまで約1000年間存続した。

問1 下線部(i)に関し、ローマ建国事情をえがいた叙事詩『アエネイス』の作者は誰か。

[]

問2 下線部(j)に関し、前216年に行われた会戦でローマ軍はハンニバルがひきいるカルタゴ軍に包囲され大敗したが、この会戦が行われたイタリア半島南東の地はどこか。

[]

問3 下線部(h)に関し、この貿易を何というか。

[]

問4 下線部(ニ)に関し、この勅令を何というか。 []

問5 下線部(A)に関し、ローマ共和政に関する記述のうち、誤っている記述を一つ選べ。

- a. 護民官の定員は、設置当初は2名であったが、次第に増加して前5世紀なかばに10名となった。
- b. 独裁官ホルテンシウスにより、平民会の議決が元老院の承認なしでも有効とする法律が制定された。
- c. 前367年のリキニウス・セクスティウス法により公有地の占有は原則として禁止されることになった。
- d. 最高官職である定員2名の執政官にはそれぞれ同僚の執政官の決定を拒否する権利が与えられていた。
- e. 前445年に制定されたカヌレイウス法により、貴族と平民の結婚が認められるようになった。 []

問6 下線部(B)に関し、前272年にローマとの戦いに敗れ占領されたイタリア半島南部のギリシア系都市はどれか。

- a. レギウム b. ネアポリス c. ベネヴェントウム d. タレントウム e. ブルンディシウム []

問7 下線部(C)に関する記述のうち、誤っている記述を一つ選べ。

- a. 平民派のマリウスは、執政官になってから兵制改革をおこない無産化した市民を志願兵として採用した。
- b. 第1回三頭政治のもとで、カエサルは帝国の西方全域を、ポンペイウスは東方を、クラッススはアフリカ北岸をそれぞれの勢力範囲とした。
- c. 前91年から前88年まで続いた同盟市戦争の結果、イタリア半島全体の自由民にローマ市民権が与えられることになった。
- d. トラキア出身の剣奴スパルタクスのひきいる奴隷反乱は、前71年にクラッススとポンペイウスによって鎮圧された。
- e. カエサルは、元老院と結んだポンペイウスを破ったのち独裁官となり、さらに前44年に終身独裁官となった。 []

問8 下線部(D)に関し、この海戦が行われたのは何年のことか。

- a. 前33年 b. 前31年 c. 前38年 d. 前27年 e. 前35年 []

問9 下線部(E)に関し、この時代の皇帝に関連する記述のうち、もっとも適切な記述を一つ選べ。

- a. スペイン出身のハドリアヌスは、最初の属州出身の皇帝となった。
- b. 五賢帝時代の5人の皇帝はいずれも実子をもたなかったため、有能な貴族を養子にして後継者とした。
- c. ドミティアヌス帝は、ローマ大火の責任をキリスト教徒に負わせ、キリスト教を弾圧した。
- d. ティベリウス帝はブリタニアを侵略し、この島の南部をローマの属州とした。
- e. ローマ市のコロッセウムの建設に着手したのはヴェスパシアヌス帝である。 []

問10 下線部(F)に関し、軍人皇帝のひとりとして、260年にササン朝ペルシアとの戦いに敗れて捕虜となったローマ皇帝は誰か。

- a. ガリエヌス b. ユリアヌス c. ヴァレリアヌス
- d. マクシミヌス e. アウレリアヌス []

問11 下線部(G)に関し、ローマがキリスト教を公認してから、キリスト教の教義について審議する公会議がしばしば開かれ、さまざまな教説が異端とされるようになったが、431年のエフェソス公会議で異端とされたキリスト教の一派はどれか。

- a. アリウス派 b. グノーシス派 c. アタナシウス派
- d. ベネディクト派 e. ネストリウス派 []

問12 下線部(H)に関し、410年にローマ市を一時占領して略奪をおこなった西ゴート族の王は誰か。

- a. アラリック b. テオドリック c. オドアケル
- d. スティリコ e. ガイセリック []

早慶の過去問からの発展・応用(魏晉南北朝～隋唐)

【1】 早稲田大学 法

以下の隋唐史に関する文を読み、それぞれの設問に対して解答を一つ選べ。

A 魏晉南北朝の分裂状態を收拾したのは楊堅(文帝)である。彼は隋を建国し、589年に南北を統一した。文帝は中央集権の確立につとめ、諸制度を整備した。中でも学科試験による官吏任用制度は門閥貴族の高級官職独占を防止し、皇帝権力の強化をめざすものであった。煬帝は文帝の諸事業を継承し、大運河を完成させ、^a江南と華北を結びつけて、南北統一事業を推進した。

設問1 下線aの「江南」に関して、誤った記述はどれか。

- ① 孫権は劉備と連合し、赤壁で曹操軍を破り、江南に勢力を確立した。
- ② 東晋の成立後、五胡十六国の混乱が続く華北から江南へ移住が急増した。
- ③ 宋代では長江下流域で畝田等が造成され、集約的な稲作が行われた。
- ④ “湖広熟すれば天下足る”とは、宋代に長江下流域の米生産が中国農業の中心となったことを示す言葉である。 []

B 隋の高句麗遠征が失敗すると、李淵が隋末の混乱に乗じて挙兵し、唐を建国した。^b李世民(太宗)の治世は“貞観の治”として知られ、隋の制度を受け継ぎ、諸制度が整備された。唐は中央政府に、三省六部を中心とする官制をしき、地方には州県制をしいた。成年男子には土地を支給し、税や兵役を課した。

設問2 下線bの太宗李世民的の対外活動に関するものはどれか。

- ① 突厥が東西に分裂すると、東突厥と結んで西突厥を圧迫し、両者の離間策につとめた。
- ② 東突厥を滅ぼし、吐蕃を服属させ、西域諸国を従えた。
- ③ 百済・高句麗を滅ぼし、西突厥・ヴェトナムを討って唐の最大領域を実現した。
- ④ アラブ軍とタラス河畔で戦い、敗れた。 []

設問3 下線cの中央官制について誤っているものはどれか。

- ① 門下省は詔勅や奏文を審議する機関。
- ② 中書省は詔勅を立案起草する機関。
- ③ 尚書省は詔勅を実施する機関。
- ④ 六部は門下省に属する機関。 []

C 高宗の末年、皇后の武氏が実権を握り、高宗の死後自ら即位して周を建国した。この時代は政治の担い手が貴族から科挙官僚へ転換してゆく大きな転機となった。後に中宗が復位して唐は復活したが、中宗は皇后に毒殺され、政治は混乱した。8世紀初めに即位した^c玄宗は、政治の引き締め努力したが、均田制・租庸調制・府兵制の崩壊を食い止めることはできなかった。

設問4 下線dの玄宗時代における芸術家に関する説明で、誤っているものはどれか。

- ① 詩人の李白は、玄宗と楊貴妃の悲恋をうたった「長恨歌」が有名である。
- ② 詩人の杜甫は、一生不遇で、社会の現実をうたった作品が多い。
- ③ 画家の呉道玄は、線の太さで量感・立体感を表す新技法を生み出した。
- ④ 書家の顔真卿は、王羲之以来の書風を一新し、楷書・草書に新書風を開いた。 []

設問5 下線eの唐の均田制に関して誤った記述はどれか。

- ① 口分田は世襲が認められた。
- ② 永業田は世襲が認められた。
- ③ 妻や奴婢には給田されなかった。
- ④ 高級官吏に与えられる官人永業田があった。 []

D 安史の乱が起こると、唐はウイグルの援助を得て鎮圧した。この戦乱を通じて、節度使の地方支配はいつそう強化され、さらにウイグルや吐蕃の侵入も重なり、唐が直接統治する領土は縮小した。徳宗は楊炎の献策により、① 両税法を実施し、国家の再建に努力した。黄巢の乱が起こると、反乱は全国に拡大し、反乱軍の武将から寝返って唐から節度使の地位を与えられた朱全忠が帝位につき、② 唐は滅亡した。

設問 6 下線 f の両税法も含む中国歴代王朝の税制に関して、誤っているものはどれか。

- ① 唐の租庸調制は、均田制に対応した税制で、租は田地の税、庸は労役、調は絹・マワタなどその土地の産物を課した。
- ② 両税法では、夏と秋の二回に分け、戸籍に登録された土地所有者の財産に応じて課税した。
- ③ 一条鞭法は土地税と人頭税などを一括して銀で納めるもので、まず江南で施行され、後に全国に波及した。
- ④ 地丁銀制は人頭税の中に土地税を繰り込み、一括して銀で納めるものである。 []

設問 7 下線 g の唐末から五代にかけての東アジア世界の動向を述べた文中で、誤っているものはどれか。

- ① 遼河上流域に起こった契丹では、耶律阿保機が遼を建国し、渤海国を滅ぼして東北地方東部を支配下に入れた。
- ② 朝鮮半島では新羅にかわって王建が高麗を建国し、都を慶州とした。
- ③ 雲南では南詔から大理国へ政権が交代した。
- ④ ヴェトナムでは李氏が大越国を建て、ハノイを都とした。 []

E 唐代では仏教が盛んで、則天武后時代に最盛期を迎えた。① 唐初では玄奘や義浄がインドへ求法の旅に出て、多くの仏典を中国にもたらし、それを漢訳して中国仏教の発展に寄与した。インドからも僧がやってきて中国仏教界に活気を与えた。一方、イスラーム帝国の勃興と東西交通の発達によって、西方からゾロアスター教、マニ教、② ネストリウス派のキリスト教などの外来宗教が伝来した。

設問 8 下線 h の求法僧やインド僧に関して正しいものはどれか(唐代に限らない)。

- ① 東晋の法顕は、往路は陸路でインドに渡り、海路で帰国し、『仏国記』を著した。
- ② 玄奘はグプタ朝のインドに渡り、その旅行記が『大唐西域記』である。
- ③ 義浄は海路でインドに渡り、帰路、スマトラ島のシャイレンドラ朝で『南海寄帰内法伝』を著した。
- ④ 仏図澄は建康に迎えられ、布教につとめ、六朝仏教の発展に寄与した。 []

設問 9 下線 i のネストリウス派のキリスト教に関して誤っているものはどれか。

- ① キリスト教の一派で、エフェソス公会議で異端とされた。
- ② ササン朝を中心に東方へ伝播し、唐代、イラン人によって伝えられた。
- ③ 唐代、各地に清真寺が建てられた。
- ④ 唐の徳宗のとき、大秦景教流行中国碑が建立された。 []

【2】

早稲田大学 法

以下の文を読み、それぞれの設問に対して解答を一つ選び、所定欄にマークせよ。

新末の反乱、およびそれに乗じて起こった豪族の蜂起などによる混乱を収め、劉秀は漢を再興した。これが後漢の光武帝である。① その後数代を経て幼少の皇帝が続くと、外戚と宦官が政権を争って政治が乱れた。地方では豪族が農民を圧迫し、各地で反乱が絶えなかった。かくて、② 黄巾の乱が起こると、後漢は事実上崩壊し、豪族は互いに地方政権を建てて争った。こうした中で三国分立の新形勢を切り拓いたのは、これらの豪族勢力を結集した人々であった。曹操は後漢最後の献帝を擁立して華北の大部分を平定し、子の曹丕は献帝の禅譲を承けて、③ 魏を建国した。劉備は諸葛亮を軍師に招き、蜀を建国した。孫権は、④ 江南をおさえて呉を建国した。三国中で最も強盛だった魏は、蜀を滅ぼした。しかし、権臣の司馬炎は禅譲の名の下に魏を奪い、晋を建国した(西晋)。西晋の武帝は呉を滅ぼして三国時代に終止符を打ち、一時的に中国を統一した。しかし、八王の乱が起こり、諸王が周辺諸民族の兵力を導入したため、彼らの中原進出を誘発した。その先駆をなす匈奴は西晋を滅ぼし、つかの間の統一の後、中国は再び分裂時代に戻った。⑤ 建康に派遣されていた司馬睿は、華北から退避した貴族や江南の土着豪族

らに擁立され、晉を再建した(東晉)。晉の南渡後、華北は諸民族が漢人と入り乱れて政権を建て、興亡を繰り返した。西晉の滅亡から鮮卑の北魏による華北統一までの135年間を五胡十六国時代と呼ぶ。華北統一を果たした前秦は、南北統一をめざして南下したが、淝水の戦いで東晉に破れ、崩壊した。「華北の混乱は、北魏によって收拾された。江南では東晉の武将がこれを奪って宋を建国し、こうして南北で王朝がそれぞれ交替しながら相対立する南北朝時代となった。北魏の孝文帝は、徹底した漢化政策を実施して華北を統治した。彼の死後、北魏は東西に分裂した。さらに西魏は北周に、東魏は北斉に交替し、北周が北斉を滅ぼして華北を再統一し、その統一は、隋に国家を奪われるまで続いた。南朝では宋以後、短命な諸王朝が交替したが、隋は589年に陳を征服し、かくて黄巾の乱以来の「中国の大分裂時代」は終わった。

設問1 下線aの第四代和帝のとき、西域経営で活躍した人物は誰か。

- ① 班超 ② 張騫 ③ 班固 ④ 衛滿 []

設問2 下線bの黄巾の乱が起こった年はどれか。

- ① 25年 ② 184年 ③ 220年 ④ 290年 []

設問3 下線cの魏の都の洛陽に関して、誤っているものはどれか。

- ① 周の東遷で東周の首都となった洛邑は現在の洛陽である。 ② 後漢の首都である。
③ 西晉の首都である。 ④ 隋の首都である。 []

設問4 下線dの江南に関して、誤った記述はどれか。

- ① この一帯がはじめて中国文化圏に入ったのは春秋時代からである。
② 晉の南渡以来、人々が南下し、江南と華北の人口比はほぼ同等となった。
③ “南船北馬”とは、江南と華北の地理的相違を交通手段によって表現したものである。
④ 隋の大運河は華北と江南を結ぶ大動脈として利用されたが、唐では海路が主流だった。 []

設問5 下線eの建康(建業)に都した六つの王朝の文化(六朝文化)に関して、誤った記述はどれか。

- ① 中国の伝統文化は江南において保持され、発展した。
② 正史『三国志』は魏を、漢を継ぐ正統とする立場で書いている。
③ 儒教では訓詁学が尊ばれた。
④ 清談家としていわゆる竹林の七賢が有名である。 []

設問6 下線fの北魏に関して、誤っているものはどれか。

- ① 北魏は太武帝によって建国された。
② 太武帝は三武一宗の法難に数えられる仏教弾圧を行った。
③ 寇謙之が確立した新天師道は、北魏の国教となった。
④ 北魏では地理書の『水経注』や現存する中国最古の農書の『齊民要術』などが著された。 []

設問7 下線gの隋に関して、誤った記述はどれか。

- ① 北周の外戚楊堅は禅譲の手続きを経て隋を建国した。これが隋の文帝である。
② 文帝は魏に始まる九品中正を廃止し、学科試験による官吏任用制度を採用し、殿試の制度を導入した。
③ 煬帝の三回にわたる高句麗遠征はすべて失敗した。
④ 府兵制は西魏・北周を経て隋で整備された兵農一致の軍事制度である。 []

設問8 下線hの年代より後の出来事はどれか。

- ① 邪馬台国の卑弥呼が魏に朝貢する。 ② インドにヴァルダナ朝が起こる。
③ 西アジアにササン朝ペルシアが起こる。 ④ 西ローマ帝国が滅亡する。 []

設問9 下線iの中国の分裂に関して、誤った記述はどれか。

- ① 春秋・戦国時代は最初の分裂時代であったが、同時に社会・経済の面での大きな転換期でもあり、鉄製農具・青銅貨幣などが登場し、各地に大都市がおこった。
② 戦国の七雄とは、秦・楚・燕・斉・韓・魏・趙である。 ③ 五代とは後梁・後唐・後晉・後漢・後周である。
④ 後梁の石敬瑭は契丹の援助を受けて建国し、そのため契丹に臣礼をとり、燕雲十六州を割譲した。 []

【4】 早稲田大学 文化構想

以下の文章を読んで、設問 1～6 に答えなさい。

隋末の乱に乗じて、山西の太原を拠点としていた李淵は長安を占領し、618 年帝位につき、長安を都と定め、国名を唐と号した。次子の李世民はその兄と弟を殺してあとを嗣ぎ、全国を統一し、『律令制を整え』唐朝の基礎を固めた。その治世は（あ）と称えられている。太宗から高宗の時代に、『突厥』西域諸国、百済、高句麗などを討って領土を拡大し、唐は世界的な大帝国へと発展した。高宗の末頃から均田制の動揺がはじまり、高宗の皇后武氏（則天武后）は高宗の死後、中小官僚・新興地主などの支持を背景に政権を奪い、帝位について国名を周と号した。その後、武後の老衰によって中宗が復位し、唐が復活したが、その中宗も皇后の韋后に殺された。李隆基（後の玄宗）はクーデタによって韋后を倒し、混乱に終止符を打った。『玄宗の治世』の前半は（い）と称えられ、唐の支配体制が再建された。しかし玄宗末年になると安史の乱が起こり、節度使を内地に置いて各地の防衛にあたらせたが、節度使は強大な地方政権となり、しばしば反乱を起こした。こうして均田制の崩壊は決定的となり、塩の専売や両税法が施行された。これらの財政措置の結果、憲宗期の中興もみられたが、中央では宦官の専権や官僚の党争がつづき、地方では農民の没落が進み、『黄巢の乱』が起こると唐はその混乱の中で滅亡した。

設問 1 空欄（あ）に入る最も適切な語句を記入しなさい。 []

設問 2 空欄（い）に入る最も適切な語句を記入しなさい。 []

設問 3 下線部 a に関連する記述の中で、誤っているものを一つ選べ。

ア 律は刑法、令は行政に関する規定、格は施行細則、式は追加規定である。

イ 三省は中書省・門下省・尚書省をさし、六部は吏・戸・礼・兵・刑・工の各部をさす。

ウ 官吏任用には隋が始めた科挙を継承し、科目には秀才・明経・進士などがあつた。

エ 均田制では一定年齢の男子に口分田と永業田を給し、税として租庸調を課した。 []

設問 4 下線部 b に関連する記述の中で、誤っているものを一つ選べ。

ア 6 世紀中頃、突厥は鮮卑を滅ぼし、北方アジアに大帝国を樹立した。

イ 6 世紀末、突厥は内紛で東西に分裂した。

ウ 東突厥は太宗のとき唐に服属し、その後再興したが、ウイグルに滅ぼされた。

エ 西突厥は高宗のとき唐軍に討たれ、7 世紀末に滅亡した。 []

設問 5 下線部 c の時代に始まる制度を一つ選べ。

ア 府兵制 イ 州県制 ウ 殿試 エ 募兵制 []

設問 6 下線部 d の反乱に参加し、唐に降った後、唐を倒した人物が樹立した国家を選べ。

ア 後唐 イ 後梁 ウ 後周 エ 後晋 []

【5】 早稲田大学 国際教養

以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

中国では、魏晋南北朝の分裂時代をへて、6 世紀末に隋によって統一政権が樹立された。しかし、その急速な 1 統一政策 は、2 各地の反乱 を招き、隋は三十数年で崩壊して唐が成立した。唐は 3 高祖・太宗期 に国内統一を達成し、中央の 4 三省六部 を中心に中央集権体制を完成させた。続く 5 高宗期 にはさらに対外的優位を進展させ、6 仏教文化 が花開き、仏教は則天武后によって保護された。しかし、武后・韋后一族によるいわゆる 7 武韋の禍 によって朝廷の政治は混乱し、玄宗が即位して建て直しがはかられた。玄宗の時代には一時的に安定期を迎えたが、8 世紀中葉に 8 タラス河畔の戦い に破れて唐は中央アジアにおける支配力を失い、そのうえ 9 安史の乱 が勃発するに至り、唐の求心力は急速に衰えた。なんとか滅亡を免れた唐政権であったが、その後は節度使が国内に割拠する地方分権的な藩鎮体制によって維持される形勢となった。王朝初期からの租庸調制は運営できず、かわって国家歳入確保のために 10 両税法 が施行された。9 世紀半ばには会昌の廃仏がおこって仏教は弾圧され、宗教対立による社会的混乱を招いた。以後は中国各地で発生した反乱を鎮圧できず、やがて 11 黄巢の乱 によって唐は決定的な打撃を受け、10 世紀初頭に 12 後梁 に政権を奪われ、中国は五代十国時代を迎えた。

- 問1 下線1に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア 文帝は新都大興城の建設に着手した。
 イ 大運河は文帝時代に永濟渠が、煬帝時代に江南河が開通した。
 ウ 文帝は後の科挙に受け継がれる官吏登用制度を始めた。
 エ 煬帝は複数回にわたって高句麗遠征を行った。 []
- 問2 下線2の隋末の乱は山東地方からおこったが、次の反乱のうち長江以南の地域からおきたものを一つ選べ。
- ア 黄巾の乱 イ 赤眉の乱 ウ 李自成の乱 エ 太平天国の乱 []
- 問3 下線3に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア 高祖は山西の太原で挙兵し、長安に入城して唐を建国した。
 イ 太宗は、玄武門の変で兄弟を殺害して即位した。
 ウ 唐では太宗時代に初めて河西節度使が設置された。
 エ 太宗は東突厥を服属させ、唐の支配力はモンゴル高原に及んだ。 []
- 問4 下線4に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア 中書省は皇帝の詔勅の立案起草を担当した。
 イ 門下省は中書省起草の詔勅を審議した。
 ウ 尚書省は御史台を管轄し、貴族勢力の拠点となった。
 エ 六部は行政を担当し、明・清などの王朝に受け継がれた。 []
- 問5 下線5の時代のできごとに含まれないものを次のうちより一つ選びなさい。
- ア 百済の滅亡 イ 安東都護府の設置 ウ 日本の遣唐使派遣開始 エ 西突厥への軍事攻撃 []
- 問6 下線6に関連して、7世紀に海路でインドに渡り、『南海寄帰内法伝』を書いた僧侶の名を漢字で記入しなさい。
- []
- 問7 下線7に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア 則天武后は中国史上唯一の女性皇帝とされる。
 イ 則天武后は門閥貴族の支持を背景に実権を握った。
 ウ 則天武后は国号を周と改称した。
 エ 韋后は夫の中宗を毒殺したが、後の玄宗に倒された。 []
- 問8 下線8の戦いで唐軍を破ったイスラーム王朝を一つ選びなさい。
- ア アッバース朝 イ ウマイヤ朝 ウ ティムール朝 エ ブワイフ朝 []
- 問9 下線9に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア 反乱の首謀者安祿山はソグド系の血を引くとされる。
 イ 乱に乗じてチベット系の吐谷渾が一時長安を攻略した。
 ウ 玄宗は、混乱を逃れ、四川に避難した。
 エ ウイグルは反乱鎮圧のための援軍を唐に送った。 []
- 問10 下線10の税制を献策した宰相の名を漢字で記入しなさい。 []
- 問11 下線11に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア 黄巢は塩の密売商人であったとされる。
 イ 黄巢は王仙芝の乱に呼応して挙兵した。
 ウ 黄巢は開封で即位して国号を大齊と称した。
 エ 黄巢は中国各地を移動し、反乱は広範囲に及んだ。 []
- 問12 下線12を建国した武将の名を漢字で記入しなさい。 []

【6】 早稲田大学 教育

中国の気候風土は、ユーラシアの乾燥地帯に属する華北と、モンスーン帯に属する江南とに分けられ、華北では粟を中心とする畑作農耕が生活文化の基盤となり、一方江南では稲作が基盤となった。この風土の違いのために、中国史はしばしば南北で分立する傾向を示す。五胡諸国と東晋およびそれに続く南北朝の時代、また金と南宋が並立した時代は、その典型である。このうち、江南の歴史・文化に関する以下の設問 A, B に答えなさい。

設問 A 次の問い(1)～(10)に答えなさい。解答は a～d の中から選べ。

- (1) 東晋より帝位を禅譲され、南朝 4 王朝の最初の皇帝となったのは誰か。 []
a 劉淵 b 劉秀 c 劉邦 d 劉裕
- (2) 南朝 4 王朝の正しい時代順はどれか。 []
a 梁→齊→陳→宋 b 宋→齊→梁→陳 c 陳→梁→齊→宋 d 齊→陳→宋→梁
- (3) 南朝は、長江中流域から下流域にかけての地域を主たる支配領土とした。次のうち、南朝と北朝の抗争上の要衝となった長江中流域の都市はどれか。 []
a 雲州 b 益州 c 荊州 d 蘇州
- (4) 「竹林の七賢」は、竹の植生から江南の伝承とされる。次のうち、竹林の七賢に含まれない者は誰か。 []
a 王戎 b 嵇康 c 阮籍 d 張角
- (5) 次の東晋・南朝の文化に関する説明のうち、誤りを含むものを選べ。 []
a 謝靈運は、山里の理想郷を思い求め、「桃花源記」を著した。
b 梁の昭明太子は、優れた詩文を集めて『文選』を編纂した。
c 顧愷之は、女官の模範的生活を「女史箴図」に描いた。
d 文人の間では、対句と押韻を用いた典雅な文体が流行した。
- (6) 北宋滅亡後、南に逃れて南宋を建て、初代皇帝となったのは誰か。 []
a 徽宗 b 欽宗 c 高宗 d 哲宗
- (7) 次の南宋期の江南経済に関する説明のうち、誤りを含むものを選べ。 []
a 湿地帯を堤防で囲んで干拓する围田や圩田が発達した。
b 占城稻が伝来し、水田地帯に広く普及した。
c 長江下流域の稲作生産量が上がり、中国農業の中心となった。
d 大荘園が経営されたので、政府は占田法・課田法を發布して土地所有を制限した。
- (8) 南宋は、南朝とは違って中国南岸の海港都市にまで支配力を及ぼした。次の南宋期の海上貿易に関する説明のうち、誤りを含むものを選べ。 []
a 景德鎮で生産される良質の陶磁器は、海外にも輸出された。
b 南シナ海・インド洋海域諸国からは、象牙・玳瑁・沈香などが輸入された。
c アラブ商人は、ジャンクを駆使してインド洋貿易を行った。
d 明州(寧波)は南海貿易だけでなく、日宋貿易の拠点としても繁栄した。
- (9) 雲南で栄え、宋とも貿易したが、後にモンゴル軍によって征服された国はどれか。 []
a 大理 b 南詔 c 靺鞨 d 林邑
- (10) 南宋では院体画・文人画の絵画芸術が栄えた。次のうち、南宋期の画家でない者はどれか。 []
a 夏珪 b 蘇軾 c 馬遠 d 梁楷

設問 B 次の問い(イ)、(ロ)の解答を全て漢字で記入しなさい。

- (イ) 南朝 4 王朝の都は、いずれも現在の南京に置かれた。当時のこの都市の名称を記せ。 []
- (ロ) 黄河と長江の間を東流し、華北の畑作地帯と江南の稲作地帯との境界をなし、金と南宋の和議においても両国の国境とされた河川の名を記せ。 []

早慶の過去問からの発展・応用(ユダヤ教とキリスト教)

【1】 慶應義塾大学 文学部

次の文章を読み、文中の空欄(A)～(J)に最も適切な語句あるいは数字を記入しなさい。

イスラエル人は、キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教の基礎となった聖書を生み出し、その後の世界の思想、文化、社会制度に大きな影響を与えた民族として知られている。この民族の起源はいまだに議論の対象となっているが、聖書によるとメソポタミア地方からパレスチナに移り住んできた遊牧民の族長アブラハムが父祖だとされている。時代的には、一般に紀元前2000年期の前半と考えられている。当時北メソポタミアでは

(A)人の活動が活発であり、ハンムラビ法典で有名なバビロン第一王朝も彼らが建てた。アブラハムの移住もこの民族の活動の一環と考えられることが多い。アブラハムの孫ヤコブは別名をイスラエルと言い、その12人の息子たちがイスラエル12部族の先祖となった。彼らは飢饉を避けエジプトに下るが、聖書はそこで下から2番目の息子ヨセフが宰相に上りつめたと言っている。この時代はエジプトの第二中間期にあたり、ヤコブと同じセム系の人々(ヒクソス)の支配下にあったので、ヨセフの出世もこれと関係していたと思われる。その後エジプトの状況が変わり、イスラエル人が奴隷におとめられると、彼らはモーセに率いられてエジプトを脱出し、途上で十戒を受け取り、ヤハウェ信仰を中心とする民族へと発展した。

パレスチナに戻ってきたイスラエル人たちは、しばらく地元のカナン人やちょうど同じ頃地中海世界から移住してきた「(B)」の1つペリシテ人などと抗争を続け、不安定な時期を経験した。しかし、前1000年頃、ベツレヘム出身の戦士ダヴィデがペリシテ人に決定的な勝利を収め、イスラエル12部族を統一した王国を確立する。ダヴィデはエルサレムを攻め取り、この国の首都とした。ダヴィデの息子ソロモンは、「ソロモンの栄華」と呼ばれるようにその富と知恵によって知られ、エルサレムに神殿を建てた。ソロモンはシドンを中心とする(C)人と協力して紅海などで海洋貿易を行い、国は経済的に繁栄した。シバの女王の訪問もこれと関係していると思われる。また、(C)人は、エルサレム神殿の工芸技術者としても活躍した。2人の偉大な王の下で絶頂期を誇ったイスラエル王国も、ソロモンが死ぬと内乱が起こり、南北に分裂した。北王国イスラエルには10の部族が付き、面積も大きく、港や耕地にも恵まれていたが、近隣のアラム人やメソポタミアで再び力をつけつつあったアッシリア帝国からの圧力に疲弊し、結局前722年にアッシリアによって滅ぼされることとなった。一方、地理的、経済的条件に恵まれていなかった南王国ユダには、ダヴィデ王朝が継続し、エルサレム神殿が残ったので政治的に安定した。しかし、こちらも前586年新バビロニアの王(D)によって滅ぼされ、人々は連れ去られて捕囚の身とされた。この時期メソポタミアでは巨大国家が次々と交代し、アッシリア、新バビロニアについてアケメネス朝ペルシアが覇権を握った。前(E)年には、ペルシアの王キュロスが勅令を出し、帝国内の捕囚民たちに母国に帰る道を開いた。イスラエル人の中には自分たちが国を失ったのは、ヤハウェ信仰に忠実でなかったからだと反省する動きがあり、特に信仰的な人々が帰還をし、エルサレム神殿を再建することをめざした。また、エズラ、ネヘミヤといった指導者によって聖書を軸とした信仰共同体が形成された。この帰還民の中心はユダ族だったので、彼らは後にユダヤ人と呼ばれるようになった。しかし、この帰還の共同体もほどなくペルシア帝国を滅ぼしたアレクサンドロスの東征の影響を受けるようになり、ヘレニズム思想が導入された。特に(F)朝時代には多神教が強要され、ユダヤ人の伝統的習慣の多くが禁止されるようになった。ユダヤ人は自分たちの信仰を守るためにマカベヤ家を中心に独立戦争を行い、一時成功するが、これもすぐ利権で腐敗してしまう。理想と現実の狭間でユダヤ人たちはさまざまなグループに分かれた。

現実追認型の祭司たちは(G)派、聖書の律法に厳格な一般市民はパリサイ派、さらに自分たちの清さを求めて死海のほとりに隠遁し死海文書を残した人々はエッセネ派として知られている。マカベヤ家によるユダヤ人の独立も長くは続かず、前63年には将軍(H)によってパレスチナはローマの支配下に入ることとなった。この頃ローマは共和制から帝政への移行期であり、カエサルが暗殺された後、オクタヴィアヌスとアントニウスが指導権を争うこととなった。パレスチナでは、はじめはアントニウスに、ついでオクタヴィアヌスに取り入ったヘロデが王となり、抗しがたい異教徒の支配の下で人々の間には失望感が満ち、メシア(救世主)待望の機運がふくらんできた。この頃ナザレのイエスが現れ、「(I)」の福音を説くようになった。イエスはユダヤ人の独善的な選民意識や形式化していた律法主義を批判し、「(I)」は暴力や政治的革命によって得られるものでなく、人間の弱さを超えて働く神の愛によって実現されることを教えた。そして、自ら十字架による罪の赦し

と復活による新しい命を約束し、十字架についた。弟子たちはこのイエスこそメシアであると信じ、福音をユダヤはもちろんローマ帝国の各地で語るようになった。その中心は、十二弟子の一人であったペテロとパリサイ派から後に回心した(J)である。ローマ帝国は、多神教的価値観と皇帝崇拜を受け入れないキリスト教徒を激しく迫害したが、キリスト教は「殉教者の血は教会の種」と言われるほどの勢いで帝国中に広まった。ついに紀元 313 年コンスタンティヌス大帝がキリスト教を公認し、392 年テオドシウス帝が国教化するに至ってキリスト教は政治的にも大きな影響力を持つようになった。しかし、このことはイエスの語った「(I)」の福音との整合性において新しい課題を抱える結果ともなった。一方、イエスをメシアと信じなかったユダヤ人たちは、旧約聖書のメシア預言を別の形で理解する必要が生じた。また、イェルサレム神殿が破壊され、離散の民になるとともに、新しいユダヤ教を形成する必要が生まれ、ラビのユダヤ教が成立した。彼らもまた独自の文化を生み出し、後の社会に影響力を持ち続けた。

A	B	C
D	E	F
G	H	I
J		

【2】 早稲田大学 教育学部

次のユダヤ人に関連する問い(1)～(10)について、a～dの選択肢の中から最も適切な解答を一つ選べ。

また、設問①～③の解答を記入しなさい。

- (1) 古代ユダヤについて述べた次の各文のうち、正しい説明はどれか。
 a 紀元前 13 世紀ヘブライ人は、モーセに率いられてエジプトから脱出した。
 b 紀元前 8 世紀イスラエル王国は、ヒッタイトに滅ぼされた。
 c 紀元前 6 世紀ユダ王国は、アッシリアに滅ぼされた。
 d 紀元前 4 世紀アルサケス朝ペルシアがバビロンを占領して、ユダヤ人は帰国を許された。 []
- (2) ユダヤ教について述べた次の各文のうち、誤った説明はどれか。
 a ヤハウェを唯一神とする一神教である。
 b 最後の審判や天使・悪魔の思想には、ゾロアスター教の影響がみられる。
 c 『旧約聖書』と『新約聖書』とが、ユダヤ教の二大経典である。
 d 選民思想や救世主(メシア)の出現を待望する信仰がある。 []
- (3) ローマの属州時代に統治したユダヤ人の王は誰か。
 a ソロモン b ダヴィデ c ポンティウス=ピラトゥス d ヘロデ []
- (4) 2 世紀にユダヤ人はローマ領に分散させられ、流浪の歴史がはじまったが、この状況を示す「離散」を意味する言葉は何か。
 a ゲットー b ディアスポラ c ポグロム d ホロコースト []
- (5) 中世ヨーロッパのユダヤ人について述べた次の各文のうち、正しい説明はどれか。
 a 各都市で商人ギルド・同職ギルドへの加入を認められたが、大多数が高利貸を職業とした。
 b 封建的土地所有を認められ、騎士や農民として農村に入り込んだ。
 c クレルモン宗教会議で、キリスト教徒との混住が禁止された。
 d 14 世紀半ばのペスト流行時に迫害された。 []
- (6) 19 世紀末に対独スパイ容疑で逮捕されたユダヤ系フランス人大尉と、彼の無実を訴えた作家の組合せのうち、正しいものはどれか。
 a ブーランジェ — ゴラ b ドレフェス — ゴラ
 c ブーランジェ — モーパッサン d ドレフェス — モーパッサン []

たりした。^(b)ユダヤ人は、土地所有が禁じられ、ギルドからも閉め出されたので、行商や金融業に就くはかなくなっていた。啓蒙思想の広がりと自由主義運動の高まりの中で、19世紀以降、ユダヤ教徒にもキリスト教徒と同様の公民権がしだいに認められるようになる。しかしながら、その一方で、例えば^(c)ドレフュス事件に見られるように、反ユダヤ主義も根強く残り、^(d)20世紀はじめのロシアではしばしばユダヤ人に対する無差別襲撃が行われた。かつての故郷であるパレスチナにユダヤ人国家をつくらうとする 運動は、こうした反ユダヤ主義に対抗して19世紀末に始まった。ユダヤ人のパレスチナへの植民

が本格化するのは、第一次世界大戦後のことである。第一次世界大戦において、イギリスは、ユダヤ人資本家の協力を得るためにこの運動とユダヤ人国家の設立を支持し、第一次世界大戦後にはパレスチナを 条約によって委任統治領とした。

第二次世界大戦後、国連は、パレスチナをユダヤ人とアラブ人の二つの国家に分ける案を採択した。これにしたがって、1948年にユダヤ人は、イスラエル建国を宣言する。これを認めない^(g)周辺のアラブ諸国は、イスラエルに対して進撃したが、大敗したため、「パレスチナ分割案」を越える地域がイスラエルに占領され、旧住民のアラブ人たちは周辺諸国で難民生活を余儀なくされた。^(h)イスラエル占領地において、アラブ人による暫定自治を認める協定が結ばれたのは、1993年のことである。

問1 空欄(i)に入るべき国名として最も適切な語を記入せよ。 []

問2 空欄(e)に入るべき最も適切な語を記入せよ。 []

問3 空欄(f)に入るべき最も適切な語を記入せよ。 []

問4 空欄(1)(2)(3)に入るべき最も適切な語の組み合わせを一つ選べ。

a. (1) ヤハウエ (2) ユダヤ戦争 (3) ゲットー []

b. (1) モーセ (2) バビロン捕囚 (3) ゲットー []

c. (1) モーセ (2) ユダヤ戦争 (3) シナゴーク []

d. (1) ヤハウエ (2) バビロン捕囚 (3) ゲットー []

e. (1) ヤハウエ (2) ユダヤ戦争 (3) シナゴーク []

問5 下線部(A)に関連して、キリスト教の伝道活動に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

a. パウロは、はじめパリサイ派に属し、キリスト教徒を迫害した。

b. 『新約聖書』のうち、ペテロとパウロの伝道を記述した部分を「福音書」と呼ぶ。

c. ペテロは、ユダヤ人以外の民族への伝道を積極的に行い「異邦人の使徒」と呼ばれる。

d. 『新約聖書』は『旧約聖書』と同様、ヘブライ語で書かれた。

e. パウロは、ヤコブやヨハネなどイエスの12人の直弟子の一人であった。 []

問6 下線部(B)に関連して、キリスト教徒のユダヤ人に対する典型的なイメージが描かれた文学作品として最も適切なものを一つ選べ。

a. 虚栄の市 b. ヴェニス商人 c. 居酒屋 d. 罪と罰 e. オリヴァ＝トゥイスト []

問7 下線部(C)に関して、この事件が起こった1890年代当時のフランスに関連する出来事として、次の記述のうちから適切ではないものを一つ選べ。

a. フランス最大の労働組合連合となる労働総同盟が結成され、社会革命を目指すサンディカリズムが推進された。

b. フランス国内では、共和制擁護派と、軍部・右翼等の保守勢力とに国論が2分された。

c. ドイツ、ロシア、オーストリアが三帝同盟を締結し、フランスの国際的な孤立化が図られた。

d. アフリカ進出政策においてフランスとイギリスは対立し、ファショダ事件が起こった。

e. 遼東半島を領有した日本に対して、フランスは返還を要求した。 []

問8 下線部(D)に関し、これを表す語として最も適切なものを一つ選べ。

a. ディアスポラ b. ホロコースト

c. アシュケナジム d. ボグロム

e. インティファード []

【4】 早稲田大学 人間科学部

次の問題文を読んで、設問X、Yの答えを所定欄にマークしなさい。正答はそれぞれ1つである。

前1500年ごろパレスチナに定住したヘブライ(イスラエル)人は、①アラム文字から派生したとされる文字を用いて独特の文化を築き、紀元前11世紀末にはエルサレムを都とする王国を建設した。この王国は、ダヴィデと(A)両王のもとで繁栄を享受したが、やがてその国は北のイスラエルと南のユダとに分裂し、前者は(B)に滅ぼされ、後者は新バビロニアに蹂躪されて、その民はバビロンに連れ去られた。②いわゆる「バビロン捕囚」である。のちに彼らは、③ゾロアスター教を奉じるアケメネス朝の王により解放されるが、こうした苦難に耐えながら唯一絶対の神ヤハウェへの信仰を強め、この神との契約のもとで、ユダヤ人、すなわち旧ユダ王国の人々のみが救われるという(C)やメシア(救世主)待望を特色とするユダヤ教を成立させた。預言者モーセがシナイ山で神から授かったとされる(D)は、ユダヤ教の倫理的基盤をなす。だが、エルサレム神殿を中心的かつ象徴的な聖地とし、サドカイ派やパリサイ派を指導層とするユダヤ教の信仰は、やがて形式化していく。それを打破して新しい教えを広めたのが、神の絶対愛や隣人愛などを唱えたイエスだった。そのためイエスは、ローマへの逆逆者として告発され、総督ピラトの命により、十字架にかけられてしまう。紀元(E)のことである。しかし、ユダヤ教の聖典である旧約聖書は、キリスト教の聖典である新約聖書ともども、ユダヤ＝キリスト教文化の宗教的・思想的・芸術的源泉となり、この文化が、④アレクサンドロス後のヘレニズム文化やより後発のイスラーム文化などととも、のちのヨーロッパ文化に決定的に重要な影響を及ぼすようになる。

設問X 問題文中の(A)～(E)に入る語を選びなさい。

- | | | | | | |
|-----|----------|---------|-----------|-----------|---------|
| (A) | a マヌ | b ソロモン | c アメンホテプ | d ラメス | [] |
| (B) | a アッシリア | b ミタンニ | c リディア | d メディア | [] |
| (C) | a ディアスポラ | b 選民思想 | c グノーシス思想 | d シオニズム運動 | [] |
| (D) | a 十二表法 | b 十戒 | c アヴェスタ | d リグ＝ヴェーダ | [] |
| (E) | a 10年ごろ | b 20年ごろ | c 30年ごろ | d 40年ごろ | [] |

設問Y 問題文中、下線部の①～④に関する問いの答えを選びなさい。

① アラム文字から派生したとされる文字として正しい組み合わせはどれか。

- | | |
|-------------------------|---------|
| a アラビア文字——ソグド文字——突厥文字 | |
| b ウイグル文字——満州文字——フェニキア文字 | |
| c モンゴル文字——ケルト文字——ギリシア文字 | |
| d ラテン文字——シリア文字——スラヴ文字 | [] |

② 「バビロン捕囚」の期間はいつか。

- | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| a 前960年～前922年 | b 前605年～前562年 | c 前586年～前538年 | d 前522年～前486年 | [] |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|

設問X 問題文中の(A)～(E)に入る語を選びなさい。

- | | | | | | |
|-----|----------|---------|-----------|-----------|---------|
| (A) | a マヌ | b ソロモン | c アメンホテプ | d ラメス | [] |
| (B) | a アッシリア | b ミタンニ | c リディア | d メディア | [] |
| (C) | a ディアスポラ | b 選民思想 | c グノーシス思想 | d シオニズム運動 | [] |
| (D) | a 十二表法 | b 十戒 | c アヴェスタ | d リグ＝ヴェーダ | [] |
| (E) | a 10年ごろ | b 20年ごろ | c 30年ごろ | d 40年ごろ | [] |

設問Y 問題文中、下線部の①～④に関する問いの答えを選びなさい。

① アラム文字から派生したとされる文字として正しい組み合わせはどれか。

- | | |
|-------------------------|---------|
| a アラビア文字——ソグド文字——突厥文字 | |
| b ウイグル文字——満州文字——フェニキア文字 | |
| c モンゴル文字——ケルト文字——ギリシア文字 | |
| d ラテン文字——シリア文字——スラヴ文字 | [] |

② 「バビロン捕囚」の期間はいつか。

a 前960年～前922年 b 前605年～前562年 c 前586年～前538年 d 前522年～前486年 []

③ ゴロアスター教に関する説明として、正しい記述はどれか。

- a この世界は、メソポタミア起源の善(光明)神アフラ＝マズダとインド起源の悪(暗黒)神アグニとの長い闘争の場であり、前者が勝利し、善行を積んだ人間が救われると説いた。
- b パルティアに代わってイラン高原南部に覇を唱えたササン朝は、ゴロアスター教を国教と定めた。この王朝は、東西貿易路をおさえて6世紀に全盛期を迎えたが、7世紀にアラビア半島から進攻したイスラーム勢力に滅ぼされた。
- c ボゴミル派やカタリ派など、中世キリスト教の異端信仰にも影響を与えたゴロアスター教は、宋代に中国に入り、祆教と呼ばれた。
- d ミケランジェロの祭壇画で有名な「最後の審判」は、キリスト教の教義のひとつとして広く知られているが、もともとは聖職者階級のバラモンを頂点とするゴロアスター教の教義に組み込まれていたものである。 []

④ ヘレニズム文化の説明として、誤りを含む記述はどれか。

- a 東地中海から西アジアにかけて、ギリシア文化とオリエント文化が混淆して生まれた文化で、その中心的都市のひとつに、大図書館やムセイオンを擁していたアレクサンドリアがある。
- b 国際的な交易網が発展したのに伴って、ポリス主義をこえた世界市民主義(コスモポリタニズム)の傾向が強まり、コイナーと呼ばれるギリシア語が域内の共通語となった。
- c 自然科学や人文科学が発展し、平面幾何学を大成したエウクレイデス(ユークリッド)や、浮体の原理を発見したアルキメデス、禁欲を説いたストア派のゼノン、快楽説を唱えたエピクロスなどが活躍した。
- d 「ミロのヴィーナス」像などで知られるヘレニズム文化は、バクトリアを経て遠くパキスタン北部からインド西北部にまで伝わって仏教文化と融合し、マウリヤ朝において仏像彫刻を代表とするいわゆるガンダーラ美術を発展させた。 []

【5】 早稲田大学 教育

次の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から適切なものを選び、その記号を所定欄にマークしなさい。また、波線部に関する設問A、Bの解答を所定欄に記入しなさい。

コンスタンティヌス帝は、313年にキリスト教を公認した⁽¹⁾。その後、テオドシウス帝は、381年に二回目の公会議を開催し⁽²⁾、改めてアリウス派を異端とした。さらに、392年にはすべての異教を禁止して、アタナシウス派キリスト教をローマ帝国の国教とした。これらはローマ＝カトリック教会_Aにとって大いに歓迎すべきことであったが、しかしその後の道のりは決して平坦なものではなかった。5世紀にはいと⁽³⁾、ゲルマン人⁽⁴⁾の大移動が本格化し、西ゴート人やヴァンダル人⁽⁵⁾が都市ローマを略奪した。

- (1) この勅令は西の正帝コンスタンティヌスと東の正帝の二人の連名で発せられたが、東の正帝は誰か。
 - a マクシミアス b ユリアヌス c ネルウァ d リキニウス []
- (2) この公会議が開催された都市はどこか。
 - a ニケーア b カルケドン c エフェソス d コンスタンティノーブル []
- (3) このころ活躍したキリスト教の教父アウグスティヌスの著作はどれか。
 - a 『三位一体』 b 『教会史』 c 『神学大全』 d 『自省録』 []
- (4) ゲルマン人の存在はかなり以前からローマ人に知られていたが、『ゲルマニア』を著してゲルマン人の習俗を記述した人物は誰か。
 - a リウィウス b タキトゥス c ストラボン d カエサル []
- (5) ヴァンダル人についての説明で正しいものはどれか。
 - a ヴァンダル人がローマを略奪したとき、ローマ教皇はレオ1世であった。
 - b アドリアノーブルの戦いで、ローマ皇帝ワレンスを破った。
 - c 西ローマ帝国やフランク人と同盟して、フン人と戦った。
 - d フランク人の王クローヴィスに敗れた後、イベリア半島に移動した。 []

【6】 早稲田大学 文

次のAとBの文章を読み、設問に答えなさい。1～3, 7, 9, 10は所定欄に一つだけマークし、4～6, 8は所定欄に記しなさい。

A 古代から現代にいたるまで、聖なる土地を訪れる巡礼という行為は、多くの人々の心をとらえてきた。キリスト教下の中世ヨーロッパでもっとも人気のあった巡礼地、スペインのサンチャゴ＝デ＝コンポステラは、イエスの弟子 **a** の遺骸(聖遺物)が安置される場所と信じられた。イスラーム教徒にとっては、始祖ムハンマドの生誕地である **b** と、墓のある **c** が二大巡礼地とされた。ユダヤ教の預言者 **d** が神の声を聞き、十戒を授かるとされる **e** は、ユダヤ教徒に限らず、キリスト教徒、イスラーム教徒の巡礼も集めた。

設問1 **a**に入る人名を次の中から選びなさい。

ア ペテロ イ パウロ ウ ヤコブ エ ヨハネ []

設問2 **b**に入る地名を次の中から選びなさい。

ア メッカ イ ダマスクス ウ メディナ エ バグダード []

設問3 **c**に入る地名を次の中から選びなさい。

ア メッカ イ ダマスクス ウ メディナ エ バグダード []

設問4 **d**に入る人名を記しなさい。 []

設問5 **e**に入る地名を記しなさい。 []

B ドーム(半球形の天井, 円蓋)は、その形状から天を象徴するとされ、多くの宗教建造物に用いられた。図1はキリスト教のギリシア正教を信じるビザンツ帝国の首都に、6世紀に建てられた **f** 大聖堂で、これを建立した皇帝 **g** の治世に、ビザンツ帝国は最大の版図を誇った。図2はキリスト教カトリックの総本山、ヴァチカンの **h** 大聖堂で、そのドームは、ルネサンスを代表する彫刻家でもあった **i** の設計による。図3はイスラーム教の始祖ムハンマドが「夜の旅」に旅立たとされる場所に建てられた「岩のドーム」で、ここにはかつてソロモンの神殿があったと伝えられる。

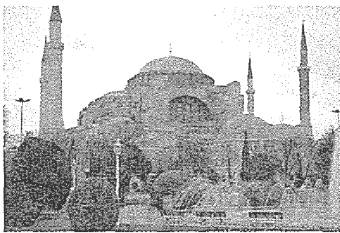


図1

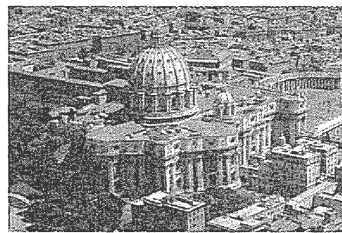


図2

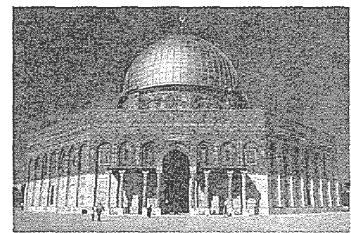


図3

設問6 **f**に入る固有名詞を記しなさい。 []

設問7 **g**に入る人名を次の中から選びなさい。

ア コンスタンティヌス イ テオドシウス ウ ユスティニアヌス エ ヘラクレイオス []

設問8 **h**に入る固有名詞を記しなさい。 []

設問9 **i**に入る人名を次の中から選びなさい。

ア レオナルド＝ダ＝ヴィンチ イ ミケランジェロ ウ ラファエロ エ ベルニーニ []

設問10 下線部 j がある都市名を次の中から選びなさい。

ア グラナダ イ イェルサレム ウ コルドバ エ カイロ []

早慶の過去問からの発展・応用(ビザンツ帝国)

【1】早稲田大学 文

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

東地中海世界では中近世の時代、キリスト教勢力とイスラーム勢力とが互いに対抗し領土を奪い合った。ビザンツ帝国は、ユスティニアヌス帝の時代に最大の版図になったが、イスラーム勢力が伸長すると、67世紀にエジプトや中東地域のビザンツ領はイスラーム支配下に入った。その後ビザンツ帝国はセルジューク朝の圧迫で小アジアの領土を失うが、西欧から十字軍の遠征がなされ、中東地域でのキリスト教勢力は再び拡大した。だが、オスマン帝国が勢力を伸ばすと、スルタンdは1453年にビザンツ帝国を滅ぼし、東地中海世界はオスマン帝国の支配下に入る。その後オスマン帝国はバルカン半島とハンガリーを占領しウィーンに迫ったが、第2次ウィーン包囲が失敗するとe条約でハンガリー主要地域などをオーストリアに割譲し、オスマン帝国は衰退に向かった。

設問1 下線部 a に関して、誤りを含むものを選びなさい。

イ ユスティニアヌス帝は、コンスタンティノープルにハギア＝ソフィア聖堂を建造した。

ロ ユスティニアヌス帝の命を受け、トリボニアヌスが『ローマ法大全』を編纂した。

ハ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イタリアでランゴバルド王国を滅ぼした。

ニ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イベリア半島の一部も征服した。 []

設問2 下線部 b に関して、誤りを含むものを選びなさい。

イ エジプトではイスラーム支配下に入った後も、キリスト教のコプト教会が存続した。

ロ ヘラクレイオス1世はササン朝と戦い、シリア・エジプトを一時奪回した。

ハ イスラーム勢力は、コンスタンティノープルをたびたび攻撃した。

ニ レオン3世が、イスラーム勢力との融和を図るために聖像禁止令を出した。 []

設問3 下線部 c に関して、正しいものを選びなさい。

イ オスマン帝国はハンガリー王ジギスムントが率いる連合軍をニコポリスの戦いで破り、ブルガリアを併合した。

ロ オスマン帝国はコソヴォの戦いでロシアを破り、領土を拡大した。

ハ オスマン帝国はビザンツ帝国からニケーアを奪い、一時首都とした。

ニ オスマン帝国はシーア派のイスラーム教徒が政権を握る国家であった。 []

設問4 空欄 d に入る人名を書きなさい。 []

設問5 空欄 e に入る地名を書きなさい。 []

【2】慶應義塾大学 法

以下の問題文の空欄(1) | (2)から(11) | (12)に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問(ア)(13) | (14)から(カ)(23) | (24)に解答し、最も適切な語句を語群の中から選べ。

ビザンツ帝国(東ローマ帝国)の始まりをいつ頃とみなすか議論はあるが、(7)330年に首都がビザンティウムに移転し、コンスタンティノープルと改称されたのをもって、ビザンツ帝国の起源とするのが一般的である。4世紀後半ローマ帝国は東西に分裂し、以後別々の道を歩むことになるが、ビザンツ帝国は、その後1000年間存続する。その間、ビザンツ帝国はスラヴ人やペルシア人を始めとするさまざまな異民族の攻撃から国境を守ってきたが、以下、それらを見ていく。

5世紀の西ローマ帝国滅亡後、コンスタンティノープルはローマ帝国唯一の首都として繁栄を極めていく。初期のビザンツ皇帝(1)ユスティニアヌス1世は、一時的とはいえ、(9)ローマ帝国の地中海沿岸における旧領の大半を取り戻すことに成功する。同帝の治世はビザンツ帝国に栄光の時代をもたらし、コンスタンティノープルにビザンツ様式の壮麗なハギア＝ソフィア聖堂

を建立するなどその権勢を誇示した。ビザンツ皇帝は、政治と宗教の両面において絶大な権力を持っていた。自らを全世界の支配者であると自認し、また 5 世紀半ば以降、^(エ) コンスタンティノープル総主教から帝冠を授けられることで、皇帝は地上における神の代理人として自らの権力を正当化した。

ビザンツ帝国は、蓄積された高度な外交技術や優れた官僚機構、伝統ある軍隊という、十分な政治上の資産をもっていたといえる。しかし、帝国の領土が広すぎたという問題があった。その結果、絶え間ない異民族の侵攻に耐えきれなかった。このように苦闘を続けるビザンツ帝国は、628 年、ササン朝ペルシアとの戦いに勝利する。しかし、^(オ) アラブ勢力の侵攻により、ビザンツ帝国は、636 年にシリア属州の、642 年にエジプト属州の支配権を相次いで喪失した。その後も領土は縮小の一途をたどり、674 年から 718 年にかけて、ビザンツ帝国は、 | 朝のアラブ軍にコンスタンティノープルの二度の包囲を許してしまった。二度目の包囲の際にアラブ軍を撃退し、帝国の危機を救ったのが、小アジアの軍管区長官出身の | であった。彼は、アラブ軍を撃退するとコンスタンティノープルにやってきて、みずから皇帝の座についた。9 世紀後半に始まる | 朝は第一次ブルガリア帝国を併合し、それ以後、ビザンツ帝国の前には繁栄と拡大の時代が開け、それは 11 世紀初頭まで続くことになる。コンスタンティノープルは、つねに経済の中心地として繁栄し続け、12 世紀にいたるまで、アジアから西方に運ばれる高額な商品の中継地としての役割を果たし続けた。帝国で用いられた | 金貨は、ヨーロッパから西アジアにいたる広い地域で流通した。しかし、1071 年、小アジアの | の戦いでビザンツ軍がセルジューク朝のトルコ軍に惨敗すると、小アジアの領土は事実上失われ、ビザンツ帝国は大きな痛手を被ることとなった。そのように増大する新たな脅威に対抗するため、1095 年、時の皇帝 | は、ローマ教皇を通して西方に援軍を求めた。また、ビザンツ帝国は、のちに自らを脅かす存在となるヴェネツィア共和国への譲歩を強いられた。1202 年から 1204 年にかけて、インノケンティウス 3 世のもとにおこされ、異教徒と戦うために東にむかっただけの第 4 回十字軍は、聖地ではなくコンスタンティノープルを占領した。これは、商業圏の拡大をもくろむヴェネツィアの意向によるものであった。1204 年、占領されたコンスタンティノープルにラテン帝国が建てられた。そのため、ビザンツ帝国の宮廷は、各地を転々とした。1261 年、その宮廷は、ラテン帝国からコンスタンティノープルを奪回する。また、11 世紀以来、ビザンツ帝国では、^(カ) 貴族層を対象に、軍事奉仕を条件として公有地の管理権及び徴税権を当人一代にかぎり付与する制度が発展してきたが、これはのちに世襲化され、社会の独自の封建化を促すことになった。

だが、コンスタンティノープルを奪回しても、もはやかつての勢いは戻らず、ビザンツ帝国は衰退の道をたどり始める。そして、ついに 1453 年、メフメト 2 世率いるオスマン帝国軍の攻撃によって、コンスタンティノープルは陥落し、ビザンツ帝国は滅亡した。コンスタンティノープルの陥落は大事件であり、当時キリスト教世界に走った衝撃は、想像を絶するほど大きなものであったといわれる。

12	34	56	78	910	1112
----	----	----	----	-----	------

〔設問〕

- (ア) この事業を行った皇帝の伝記を執筆し、さらに、『年代記』を書いた人物は誰か。
- (イ) カルタゴと並んでビザンツ帝国の総督府が置かれていた地で、ユスティニアヌス 1 世のモザイク画があるサン＝ヴィターレ聖堂が所在する地はどこか。
- (ウ) 551 年、ビザンツ帝国はある国から領土を奪って、帝国領の大半を回復する。この領土を奪われた国が、6 世紀後半から 8 世紀初頭まで首都としていたのはどこか。
- (エ) 6 世紀初頭、コンスタンティノープルをはじめ、ビザンツ帝国内のいくつかの地に総主教座が置かれていたが、このうち、かつてセレウコス朝シリアの首都であったのはどこか。
- (オ) この間アラブ勢力を率いたカリフは誰か。
- (カ) この制度は後に、オスマン帝国のティマール制に影響を与えたといわれているが、ティマール制において徴税権を認められた者は誰か。

〔語群〕

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 01. アター | 02. アッパース | 03. アトス |
| 04. アドリアノーブル | 05. アリー | 06. アルカディウス |
| 07. アレクシオス1世 | 08. アンティオキア | 09. アンティゴノス |
| 10. アンブロシウス | 11. ウァレンス | 12. ウスマーン |
| 13. ウマイヤ | 14. ウマル | 15. エウセビオス |
| 16. エクバタナ | 17. エフェソス | 18. エリウゲナ |
| 19. エレクトラム | 20. カーディー | 21. カディス |
| 22. カーヌーン | 23. カラカラ帝 | 24. カルケドン |
| 25. カルタヘナ | 26. キジルバシュ | 27. クライシュ |
| 28. グラナダ | 29. クレーロス | 30. 後ウマイヤ |
| 31. コムネノス | 32. コルドバ | 33. サーマーン |
| 34. サラゴサ | 35. シパーヒー | 36. ジャーギール |
| 37. セビリャ | 38. ダマスクス | 39. テオドシウス1世 |
| 40. テッサロニケ | 41. ドラクマ | 42. トラヤヌス帝 |
| 43. トレド | 44. ニカイア | 45. ニハーヴァンド |
| 46. ネルウァ帝 | 47. ノミスマ | 48. バクトラ |
| 49. ハーシム | 50. バシレイオス1世 | 51. バシレイオス2世 |
| 52. バルセロナ | 53. バレンシア | 54. ヒッポレギウス |
| 55. ヘカトンピュロス | 56. ヘラクレイオス1世 | 57. ペルガモン |
| 58. ベルナルドゥス | 59. ボエティウス | 60. マケドニア |
| 61. マラーズギルド | 62. マラーター | 63. メテオラ |
| 64. モンテ＝カシノ | 65. ラヴェンナ | 66. ルーム＝セルジューク |
| 67. レオン(レオ)3世 | | |

【3】早稲田大学 文

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

東地中海世界では中近世の時代、キリスト教勢力とイスラーム勢力とが互に対抗し領土を奪い合った。ビザンツ帝国は、ユスティニアヌス帝の時代に最大の版図になったが、イスラーム勢力が伸長すると、7世紀にエジプトや中東地域のビザンツ領はイスラーム支配下に入った。その後ビザンツ帝国はセルジューク朝の圧迫で小アジアの領土を失うが、西欧から十字軍の遠征がなされ、中東地域でのキリスト教勢力は再び拡大した。だが、オスマン帝国が勢力を伸ばすと、スルタン d は 1453 年にビザンツ帝国を滅ぼし、東地中海世界はオスマン帝国の支配下に入る。その後オスマン帝国はバルカン半島とハンガリーを占領しウィーンに迫ったが、第 2 次ウィーン包囲が失敗すると e 条約でハンガリー主要地域などをオーストリアに割譲し、オスマン帝国は衰退に向かった。

設問 1 下線部 a に関して、誤りを含むものを選びなさい。

イ ユスティニアヌス帝は、コンスタンティノーブルにハギア＝ソフィア聖堂を建造した。

ロ ユスティニアヌス帝の命を受け、トリボニアヌスらが『ローマ法大全』を編纂した。

ハ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イタリアでランゴバルド王国を滅ぼした。

ニ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イベリア半島の一部も征服した。

[]

設問 2 下線部 b に関して、誤りを含むものを選びなさい。

イ エジプトではイスラーム支配下に入った後も、キリスト教のコプト教会が存続した。

ロ ヘラクレイオス1世はササン朝と戦い、シリア・エジプトを一時奪回した。

ハ イスラーム勢力は、コンスタンティノープルをたびたび攻撃した。

ニ レオン3世が、イスラーム勢力との融和を図るために聖像禁止令を出した。 []

設問3 下線部cに関して、正しいものを選びなさい。

イ オスマン帝国はハンガリー王ジギスムントが率いる連合軍をニコポリスの戦いで破り、ブルガリアを併合した。

ロ オスマン帝国はコソヴォの戦いでロシアを破り、領土を拡大した。

ハ オスマン帝国はビザンツ帝国からニケーアを奪い、一時首都とした。

ニ オスマン帝国はシーア派のイスラーム教徒が政権を握る国家であった。 []

設問4 空欄dに入る人名を書きなさい。 []

設問5 空欄eに入る地名を書きなさい。 []

【4】早稲田大学 文

次の文章を読み、図を見て設問1～5に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

[A] 帝国の首都 [B] にある聖ソフィア聖堂(図1)は、ドームをいただく独特の [A] 様式で建てられている。内部には東方正教会(ギリシア正教)の教義に基づく [C] 壁画がほどこされている(図2)。これは色ガラスや大理石を小さな方形に切って、壁に埋め込むことによって図柄を描き出す技法である。 [A] 帝国は1453年にオスマン帝国のスルタン、 [D] 2世によって滅ぼされた。図1に見える細くとがった塔は、 [D] 2世が聖ソフィア聖堂をイスラーム教のモスクとして用いるために新たに建てた [E] である。

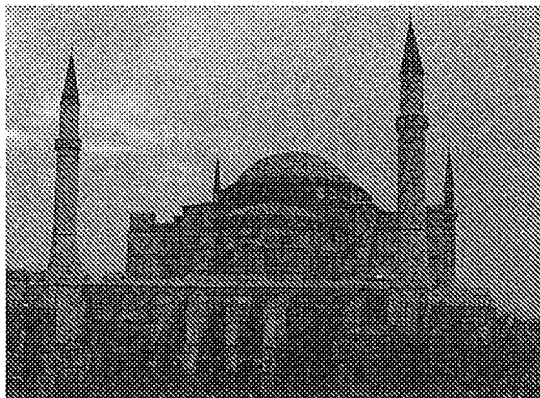


図1 聖ソフィア聖堂

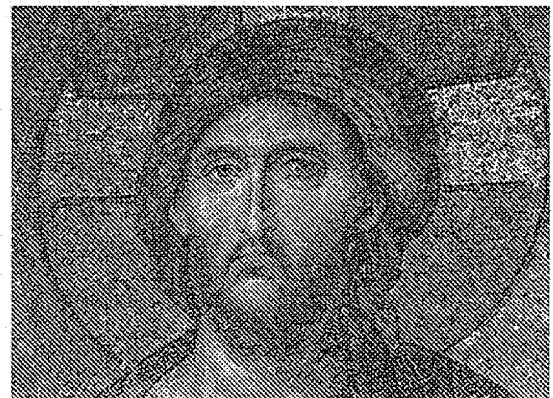


図2 聖ソフィア聖堂壁画

設問1 [A] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ ラテン ロ 神聖ローマ ハ ビザンツ ニ 西ローマ []

設問2 [B] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ ラヴェンナ ロ イェルサレム ハ コンスタンティノープル ニ ローマ []

設問3 [C] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ 肖像画 ロ モザイク ハ 細密画 ニ フレスコ []

設問4 [D] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ バヤジット ロ メフメト ハ セリム ニ スレイマン []

設問5 [E] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ シナン ロ ミナレット ハ バシリカ ニ シナゴーグ []

【5】 早稲田大学 社会科

次の文章を読み、問1～3については、適切な語を記入し、問4～10については、選択肢の中から適切な解答を一つ選べ。

西ヨーロッパの側から見れば、ビザンツ帝国はアラブ人やトルコ人の侵略からローマ帝国の文明遺産を守り伝える歴史的役割を果たした。だが一方で、ビザンツ帝国は周辺のスラヴ系民族やバルカン諸民族の歴史にも大きな痕跡を残すことになった。その最も重要な要素の一つは、^(a)広義のギリシア正教である。ポーランド人や⁽ⁱ⁾チェック人など西スラヴ系民族がカトリックと西ヨーロッパの世界に組み込まれていったのに対し、ビザンツ帝国とギリシア正教の影響下に入ったのは、南スラヴ族の一部と東スラヴ族だった。バルカン半島では11世紀後半にスラヴ系のセルビア人が独自の王国を形成し、ギリシア正教を受容したセルビア教会は大きな影響力をもつに至った。この王国は14世紀前半に最盛期を迎えたが、オスマン帝国に^(B)で敗れ、15世紀半ばからはその支配に服した。バルカン半島の東南部では、ブルガール人によって第一次ブルガリア王国が建設された。この王国でも9世紀にはギリシア正教が国教とされたが、他方でスラヴ語による典礼やスラヴ語系文字の使用も奨励された。言語や^(c)文字は民族や文化の一体性を表すものと考えられたからである。ブルガリア王国は、927年まで続く^(p)の治下で全盛期に達したのち、一時ビザンツ帝国の支配に服したが、12世紀末に独立を回復する。しかしモンゴル人の侵入を受けて衰退し、14世紀末にオスマン帝国により征服された。ロシアに進出した東スラヴ人は、ノヴゴロドやキエフを中心にいくつかの小国家を建設していた。そのうち、9世紀に建てられた統一国家キエフ公国は、ビザンツ帝国の領土を侵略するまでの力をもつようになり、ウラディミル1世の時代にはギリシア正教を国教と定め、近隣の諸公国を支配下におさめた。しかしやがて諸公国の自立化傾向が強まり、それとともにロシアの各地で^(b)農奴制の強化も進んだ。13世紀にバトゥが南ロシアの草原に^(e)キプチャク＝ハン国を建てると、ロシア諸公国はその支配に服属することになる。⁽ⁿ⁾13世紀から14世紀にかけてのユーラシア大陸では、モンゴルの支配により政治的に安定した時代が続いた。その状況のなかで、ロシアではモスクワ大公国が勢力を伸ばし、イヴァン1世の時代にロシア教会の中心的地位を占め、1380年にはキプチャク＝ハン国の大軍を撃破して独立への地歩を固めた。キプチャク＝ハン国はその後間もなくティムールの攻撃を受けて衰退し、領土の多くは^(f)ティムール帝国に併合されていった。モスクワ大公国はやがてロシアをほぼ統一し、15世紀後半にはモンゴルの支配から完全に自立した。イヴァン3世はビザンツ最後の皇帝の親族と結婚し、ローマ帝国とギリシア正教の継承者を自認するとともに、大公権力の強化に努めた。その政策を受け継いだイヴァン4世のロシアは、シベリアへの勢力拡大を図り、^(g)後に東方に進出する足掛かりを築くとともに、カトリックのポーランドに代わって東ヨーロッパ最強国の地位を占めるに至った。

問1 下線部(i)に関し、9世紀中頃に建てられ、マジャール人の侵入によって滅びたチェック人の国は何か。〔 〕

問2 空欄(p)に入るべき最も適切な人名を記入せよ。〔 〕

問3 下線部(n)に関し、この安定した状態を何と呼ぶか。記入せよ。〔 〕

問4 下線部(A)に関し、次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 皇帝教皇主義とは、皇帝がコンスタンティノープル総主教を任命するなど、聖俗両方の権力を事実上掌握する体制を指す。
- b. ギリシア正教会では彫像の崇拜は禁じられたが、キリストや聖人を描いた聖像画イコンは、とくにロシアで信仰の中心的役割を果たした。
- c. レオン3世が726年に発布した聖像禁止令は、ローマ教会との間に聖像崇拜論争を巻き起こし、以後、1054年の東西教会分裂まで解除されることがなかった。
- d. ギリシア正教の影響を受けたビザンツ様式の美術や建築は、西ヨーロッパにも伝わったが、その代表例が11世紀に改築されたヴェネツィアのサン＝マルコ聖堂である。
- e. ギリシア正教の本拠地コンスタンティノープルに建国されたカトリックのラテン帝国は、ニケーア帝国により滅ぼされた。〔 〕

問5 空欄(B)に入るべき最も適切な語は次のどれか。

- a. ポルタヴァの戦い b. クリコヴォの戦い c. タンネンベルクの戦い d. モハーチの戦い
- e. コッソヴォの戦い 〔 〕

問6 下線部(C)に関連し、(あ)～(お)の文字と①～⑤の説明との最も適切な組み合わせはどれか。

(あ) パスバ文字 (い) アラム文字 (う) ルーン文字 (え) キリル文字 (お) カロシュティー文字

- ① グラゴル文字から発展し、ロシア文字のもととなった文字
- ② 西北インドを中心に使用され、アショカ王の碑文でも用いられた文字
- ③ モンゴル語を写すためにチベット文字をもとに作成された文字
- ④ ヘブライ文字、アラビア文字のもととなった文字
- ⑤ ゲルマン人に用いられていた古い文字

- a. (あ)－③ (い)－① (う)－② (え)－⑤ (お)－④
- b. (あ)－② (い)－④ (う)－① (え)－③ (お)－⑤
- c. (あ)－④ (い)－② (う)－③ (え)－① (お)－⑤
- d. (あ)－③ (い)－④ (う)－⑤ (え)－① (お)－②
- e. (あ)－② (い)－⑤ (う)－① (え)－③ (お)－④

[]

問7 下線部(D)に関し、農奴制と農奴についての次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- a. ロシアでは1861年の解放令により、農奴は人格的自由を得るとともに、農奴を縛り付けていたミール共同体も解体された。
- b. 封建制の危機に対応するため、15世紀以降のエルベ川以西の地域では、農奴制が再強化され、大規模な直営地農場経営が行われた。
- c. 西ヨーロッパの農奴の起源は、ローマ帝国末期に形成されたコロヌスと呼ばれる自作農階層にあるとされる。
- d. 百年戦争時の人頭税に反対して1381年に起こった農民一揆で、ワット＝タイラー率いる農民側はリチャード2世に農奴制廃止を認めさせた。
- e. ステンカ＝ラージンは農奴制を拒んで逃亡した農民を糾合して農奴制廃止を求める反乱をおこしたが、ピョートル3世により鎮圧された。

[]

問8 下線部(E)に関し、キプチャク＝ハン国の都はどれか。

- a. タブリーズ b. エミール c. アルマリク d. ヘラート e. サライ

[]

問9 下線部(F)に関し、ティムールとその帝国についての次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 第3代君主、シャー＝ルフはオスマン帝国や明とも親交を結び、学芸を保護した。
- b. ティムールはオゴタイ＝ハン国の内部抗争から頭角を現し、チンギス＝ハンの末裔を戴いてモンゴル帝国の再興を図った。
- c. ティムールはアンカラの戦いでオスマン帝国軍を破り、皇帝のバヤジット1世を捕虜にした。
- d. ウルグ＝ベクは天文学や数学にも才能をもった君主で、サマルカンドに当時最高水準の天文台を作った。
- e. ティムール帝国は中央アジアのトルコ系民族ウズベク族の侵略を受け、滅亡した。

[]

問10 下線部(G)に関し、ロシアの東方進出についての次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- a. 清の康熙帝とのあいだに結ばれたネルチンスク条約によって、外興安嶺が両国の境界と定められ、ロシアにはアムール川の航行権が認められた。
- b. 1727年に乾隆帝との間でキャフタ条約が結ばれ、外モンゴルとシベリアの国境が決められた。
- c. 1792年にレザノフが根室に、1804年にはラクスマンが長崎に来て、日本との交易を求めたが、実現しなかった。
- d. デンマーク人ベーリングのシベリア探検の後、ロシア領に組み込まれたアラスカは、アレクサンドル2世により1867年にアメリカに売却された。
- e. 東シベリア総督ムラヴィヨフのもとで、1860年、イリ条約によってロシア領となった沿海州に、極東支配の拠点となるウラジヴォストークが建設された。

[]

早慶の過去問からの発展・応用(中世ヨーロッパ1)

【1】

慶應義塾大学 法学部

以下の問題文の空欄(39)から(45)に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号をマークしなさい。また設問(ア) (46)から(オ) (50)に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選べ。

中世ヨーロッパは、キリスト教と世俗権力の二つの中心を持った楕円にたとえられる。キリスト教は成立するや否や迫害に直面した。最初にローマの軍人皇帝がキリスト教の信仰を理由に迫害を命じたのは(39)世紀のことであった。だがやがて、キリスト教を敵にまわして帝国の統一を行うことは難しいという判断もあって、ローマ皇帝はキリスト教を公認する。ただし後に現れたローマ皇帝の中にもユリアヌス帝のようにペルシア起源の密儀宗教である(40)を保護する者がいた。ローマ帝国とキリスト教との結合にとって、教父の果たした役割も重要である。たとえばパレスチナの司教(41)は、コンスタンティヌスを神によって選ばれた者とする皇帝像を打ち出した。また(ア)公会議において、正統と異端を区別し、キリスト教の統一化を図る動きもみられた。ローマ帝国の東西分裂後、混乱が続くなかで、ローマ・カトリック教会は積極的に布教に努め、その勢力を伸張する。教皇(42)は、ゲルマン民族の大移動でフン族のアッティラがローマに侵入した際に、彼を説得し、退却させてローマを崩壊から救った。このことも手伝って教皇の名声は大いに高まったのである。西ローマ帝国崩壊後のフランク王国時代には、ローマ・カトリック教会と国王権力は、より一層協力関係を深めていった。そのことを端的に示すのが、いわゆるピピンの寄進である。教皇の承認のもと王位を奪いカロリング朝を開いたピピンは、756年、(43)の土地を教皇に寄進し、それが最初の教皇領となったのである。だが世俗権力と癒着した教会の腐敗・墮落が明らかになるにつれ、それを正そうとする気運も高まってきた。(イ)ヨーロッパの各地に点在する修道院を中心に、カトリック教会の肅正・浄化の運動が起こり、教会自らも聖職売買の禁止など改革に取り組みざるを得なくなった。その結果ローマ教皇は、(ウ)12世紀以降しだいにその権威を高めて行く。これに対して当時の世俗権力の側では、いまだ国王の広範な一元的支配が確立するには至っていなかった。ところがその後西ヨーロッパの政治情勢は変容し、国王の権力が伸張し始めた。フランスではカペー朝の歴代の王がその領土を拡大しつつあった。13世紀初頭、フランス国王は(エ)アルビジョワ十字軍を組織し、異端討伐という理由をかかげて、フランス南部一帯の制圧を開始した。この異端が根絶されるのは、(オ)が国王のときであった。同国王はまた、ソルボンヌ神学校を創設したり、施療院を開設するなどして学問・芸術・慈善事業などの振興を図るとともに、マルセイユの他に(45)に新たな港を築き、そこを拠点として十字軍にも大きく貢献した。このようにカペー朝は13世紀を通じて教皇権力と密接な関係を維持しつつ、国王権力を拡大させてきたといえよう。だが14世紀に入るや否や両者の間に決定的な対立・抗争が生じる。この世紀最初のフランス国王は、軍事費の増加による財政難を打開するために、教皇に無断で国内聖職者への課税を企てた。教皇がこの課税を非難するにおよぶと、国王は教皇を捕らえ、憤死にいらせた。(カ)この事件を契機に、教皇の権威は失墜していくことになるのである。

(ア) 単性論を異端とした公会議は何か。(46)

(イ) フランチェスコ修道会の出身で普遍論争において唯名論を唱え、信仰と理性、神学と哲学の区別を主張したスコラ学者は誰か。(47)

(ウ) 教皇権の優位を示す「教皇権は太陽であり、皇帝権は月である」との言葉を残した教皇は誰か(48)

(エ) 「カタリ派のローマ」と呼ばれ、この十字軍の攻撃目標となった都市はどこか。(49)

(オ) この時期から、フランス・カトリック教会をローマ教皇の絶対権から独立させようとする動きが強くなるが、それを何というか。(50)

〔語群〕

01. 1 02. 2 03. 3 04. 4 05. アウグスティヌス 06. アタナシウス
07. アッシジ 08. アナーニ 09. アベラール 10. アリウス 11. アルル 12. アンセルムス
13. イシス教 14. インノケンティウス3世 15. ウィリアム・オッカム 16. ウルバヌス2世
17. エウセビオス 18. エグモルト 19. エフェソス公会議 20. ガリカニスム
21. カルケドン公会議 22. グレゴリウス1世 23. グレゴリウス7世 24. 叙任権闘争
25. 神政政治 26. ゴロアスター教 27. トゥールーズ 28. トマス・アクィナス
29. トリエント公会議 30. ニケーア公会議 31. ニース 32. フィリップ2世
33. フィリップ4世 34. フィリップ6世 35. 福音主義 36. ボニファティウス8世
37. ボルドー 38. マッシリア 39. マニ教 40. ミトラ教
41. ミラノ 42. モンペリエ 43. ラヴェンナ 44. リヨン 45. ルイ9世
46. レオ1世 47. レオ3世

39	40	41	42	43	44
45	46	47	48	49	50

【2】

早稲田大学 教育学部

中世のローマ＝カトリック教会に関する次の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から最も適切な解答を一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。また、空欄 ・ に入る最も適切な語を記入しなさい。 は漢字二字で記入すること。

800年、教皇レオ3世によるカール大帝の戴冠によって強力な世俗権力の後ろ盾を得たローマ＝カトリック教会(1)は、布教活動を積極的におこない、その影響力を西ヨーロッパ一帯に強めていった。しかし、こうして教会の権威が高まると、それを利用してとする世俗の君主たちの動きも活発化してくる。具体的には、彼らは教会や修道院に所領を寄進した上で自らの子弟を司教や修道院長に任命したのである。このような世俗権力の介入は聖職者の腐敗、墮落の温床となっていた。とくにドイツでは、オットー1世(2)以来、歴代の神聖ローマ皇帝は教会の支配を重要な統治政策としてきたので、11世紀後半に教皇グレゴリウス7世が、世俗君主による聖職叙任権を否定すると、皇帝ハインリヒ4世との間で激しい対立を引き起こすことになった。ハインリヒ4世が禁令を無視すると、グレゴリウス7世は彼を破門した。諸侯の離反を恐れたハインリヒ4世は、教皇に謝罪し許された。これがいわゆる の屈辱で、教皇権が皇帝権に優越することを示した事件として名高い(3)。

12、13世紀には教皇を頂点とするローマ＝カトリック教会の権威は絶頂期をむかえ、信仰(4)のみならず、政治(5)、経済、教育(6)、文化(7)などあらゆる領域にその影響は及んだ。とくに民衆の間でのキリスト教信仰の高まりには注目すべきものがある。それはときには、ワルド派やカタリ派のような 運動に発展する危険性すらはらんでいたのである。ローマ＝カトリック教会の特徴として、官僚的な聖職ヒエラルヒーや教会裁判所を法的、制度的に確立したことがあげられる(8)。そこには支配の実を上げるためばかりでなく、信仰の統一性を維持するというもう一つの理由があった。同じことは、ウルガタ(ヴルガータ)と呼ばれるラテン語訳聖書のみを公認の聖書としたことにも言えよう(9)。聖書の解釈権を独占し、自由な原典研究を認めないことによって、信仰の統一性を維持しようとしたのである。こうした点が後に人文主義者たちの批判を招くことになったのである(10)。

<input type="text" value="A"/>	<input type="text" value="B"/>
--------------------------------	--------------------------------

(1) これ以前にもカール大帝の父であるピピンが教皇に領地を寄進するということがあったが、そのとき寄進された領地はどこか。

- a ミラノ b シチリア c ヴェネチア d ラヴェンナ []

- (2) オットー 1 世にローマ皇帝の冠を授けた教皇は誰か。
 a ヨハネス 12 世 b ウルバヌス 2 世 c ボニファティウス 8 世 d クレメンス 5 世 []
- (3) その後、聖職叙任権をめぐる教皇権と皇帝権の対立は 1122 年に一定の妥協をみたが、その協約が締結された場所はどこか。
 a ヴォルムス b ニュルンベルク c レーゲンスブルク d フランクフルト []
- (4) この時期に創立されたドミニコ修道会についての説明で誤っているものはどれか。
 a 創立者のドミニクスはスペインのカスティーリャ地方の出身である。
 b 信者の喜捨によって生活したので托鉢修道会とも呼ばれた。
 c 学問研究を重視した修道会で、『神学大全』の著者トマス＝アキナスもドミニコ会士である。
 d ベネディクトゥス会則に準拠する修道会として、教皇ホノリウス 3 世の認可を受けた。 []
- (5) 絶頂期の教皇インノケンティウス 3 世の政策についての説明で誤っているものはどれか。
 a 教皇権を太陽に、皇帝権を月にたとえて、教皇の優越を強調した。
 b イングランド国王ジョンを破門し、封臣として臣従を誓わせた。
 c 1215 年にクレルモン公会議を主宰した。
 d 「キリストの代理人」の称号を教皇として初めて用いた。 []
- (6) 中世の大学で一般教養科目とされた 7 自由学科に含まれないものはどれか。
 a 修辞 b 建築 c 天文 d 音楽 []
- (7) 次の教会建築の中で、ロマネスク様式ではないものはどれか。
 a ケルン大聖堂 b ヴォルムス大聖堂 c シュパイア(シュパイエル)大聖堂 d マインツ大聖堂 []
- (8) それに伴って法学研究が大いに発展したが、中でも法学者イルネリウスが創設したと伝えられ、全ヨーロッパの法学研究の中心となった大学はどこか。
 a パリ大学 b サレルノ大学 c ボロニャ大学 d オックスフォード大学 []
- (9) このラテン語訳をおこなったのは誰か。
 a アウグスティヌス b アタナシウス c エウセビオス d ヒエロニムス []
- (10) ギリシア語のみならず、ヘブライ語の原典研究でも偉大な成果を上げた人文主義者は誰か。
 a エラスムス b ロイヒリン c メランヒトン d ボッカチオ []

【3】

早稲田大学 法学部

B 8 世紀前半、イスラーム教徒軍が北アフリカ、スペインをへて、フランク王国内に侵入したが、カール＝マルテルは、732 年にトゥール・ポワティエ間でこれを撃破した。④その子ピピンは、751 年にメロヴィング朝を廃してカロリング朝を開いた。ピピンの子カールはあいついで外征を試み、かつての西ローマ帝国に匹敵する領土を統一した。800 年、カールは⑤ローマ教皇レオ 3 世からローマ皇帝の冠を授けられ、ローマの世界統一の理念がよみがえったが、これは新しいヨーロッパ世界の出現でもあった。⑥イスラーム勢力は、その後およそ 700 年間もイベリア半島を支配するなど、キリスト教世界に脅威をあたえながらも、またさまざまな学問や技術をヨーロッパにもたらした。

設問 4 下線部④のメロヴィング朝、カロリング朝の出来事について、これに関連する次の 1～4 の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 メロヴィング朝の始祖クローヴィスは、ランスの教会でアタナシウス派のキリスト教に改宗した。
- 2 ピピンは、イタリアの東ゴート王国を討ち、獲得したラヴェンナ地方などを教皇に寄進したが、これが教皇領の起源となった。
- 3 カールは、アルクインらの学者を招いて文化や学問の普及に努めたが、これはカロリング＝ルネサンスとよばれる。
- 4 カールの死後、フランク王国は 9 世紀のヴェルダン・メルセン両条約により三分され、これがのちのドイツ・フランス・イタリアの基礎となった。 []

設問5 下線部⑤について、ローマ教皇の在位が古いものから時代順に並んでいるのは次の1～4のどれか。正しいものを一つ選びなさい。

- 1 インノケンティウス3世 → レオ10世 → ボニファティウス8世 → グレゴリウス7世
- 2 グレゴリウス7世 → インノケンティウス3世 → ボニファティウス8世 → レオ10世
- 3 ボニファティウス8世 → レオ10世 → インノケンティウス3世 → グレゴリウス7世
- 4 レオ10世 → グレゴリウス7世 → ボニファティウス8世 → インノケンティウス3世 []

設問6 下線部⑥について、イスラームの学者・文人と著作との組み合わせの中で、誤っているものは次の1～4のどれか。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 イブン＝シーナー(アヴィケンナ)―『医学典範』
- 2 イブン＝ハルドゥーン―『世界史序説』
- 3 オマル＝ハイヤーム―『ルバイヤート』
- 4 イブン＝ルシュド―『三大陸周遊記』 []

C 11世紀の末、教皇ウルバヌス2世は、⑦異教徒のトルコ人が進出していた聖地イェルサレムを回復するため、フランスのクレルモンに公会議を召集し、十字軍の連征を宣言した。こうして、⑧教皇の提唱のもと、約200年のあいだに主なものだけでも7回の遠征がおこなわれ、王侯や騎士、農民や商人が、宗教的な動機のほかささまざまな利害によってこれに加わった。教皇の権威は一時高まったが、しかし各地での王権の進展もあって、後期にはゆらぎはじめた。十字軍の遠征によってヨーロッパ内部の通商が活発になったばかりではなく、イタリアの海港都市を中心に東方貿易が盛んになり、東西文明の交流をとおして⑨ヨーロッパの中世世界は大きな転換をとげることになった。

設問7 下線部⑦について、次の1～4の中から、11世紀にイェルサレムに進出したトルコ人の王朝にかんする説明として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 始祖トゥグリル＝ベクは、バグダードに入城し、アッバース朝カリフからスルタンの称号を授けられた。
- 2 この王朝はイスラーム教スンナ派を奉じ、シーア派のファーティマ朝と対抗した。
- 3 名宰相ニザーム＝アルムルクによって、領内に多くの学院(マドラサ)がたてられた。
- 4 この王朝は、スレイマン1世のもとで最盛期を迎え、16世紀にはウィーンを包囲し、ヨーロッパに大きな脅威をあたえた。 []

設問8 下線部⑧について、次の1～4の中から、十字軍遠征にかんする説明として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 第1回十字軍は聖地を占領し、キリスト教国のイェルサレム王国をたてた。
- 2 第3回十字軍は、エジプトのアイユーブ朝のサラディンに対抗したが、聖地を占領することができなかった。
- 3 第4回十字軍は、聖地の回復の目的を捨て、ビザンツ帝国のコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国をたてた。
- 4 第6・7回十字軍は、ルイ9世の指導のもと聖地の回復を目指し、占領に成功した。 []

設問9 下線部⑨について、次の1～4の中から、ヨーロッパの中世世界にかんする説明として正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ヨーロッパ中世の封建制度は、ローマ末期の恩貸地制度やゲルマンの従士制度などをもとに発展した。
- 2 荘園農民の多くは、領主に対して十分の一税や賦役を負担し、教会には死亡税や結婚税をおさめなければならなかった。
- 3 北イタリアにハンザ同盟、北ドイツを中心にロンバルディア同盟が結成され、幅広く商業活動を展開した。
- 4 都市の内部では、商人や手工業者によってギルドがつくられたが、大商人によってつくられたツンフトとよばれる商人ギルドが闘争を展開した。 []

【4】

早稲田大学 商

次の文章を読んで、設問A～Jに答えよ。解答は所定欄に一つだけマークせよ。

ローマ教会の歴史を見ると、正統教義論争や布教活動、修道院制度なども重要であるが、なによりもローマ皇帝権とのかかりが問題になる。紀元後1世紀にユダヤ教から派生したキリスト教は、その世紀の内にローマ市などでも多くの信者を得た。A迫害の歴史のあと、ローマ皇帝によるキリスト教の公認とB国教化があった。ローマ皇帝権に裏付けられてCキリスト教の権威が確立したと言える。

ゲルマンの大移動によって西ローマ帝国が滅亡すると、ローマ教会は、ビザンツ皇帝に対抗できる世俗権威を求め、フランク王をローマ皇帝として戴冠した。962年には、神聖ローマ皇帝を戴冠した。中世における神聖ローマ皇帝には、古代ローマの幻影とローマ教会の意図が色濃く反映する。ローマ教会は、ヨーロッパに地位を築くことで、聖像禁止問題の対立を経て、1054年に最終的に東方教会と分裂した。聖俗の普遍的権威を各々代表する皇帝と教皇は11世紀から司教・修道院長の叙任権を争った。この時期に十字軍が開始されるように、教皇権は強化され、13世紀に絶頂期をむかえた。神学も大成された。

絶頂期の後に衰退期が到来する。14世紀は教皇の権威が試される苦難の時であった。教皇と皇帝という普遍的権威が揺らぎ、中世とは区別される近代を人文主義者は意識し始めた。16世紀になると、ローマ教会内の改革を超えて、新しい教会を形成する宗教改革の時代が到来した。宗教改革や宗教戦争は、神聖ローマ皇帝権との関わりよりも、イギリス・フランス・スウェーデンのような地域国家の王権の動向に左右されるようになっていた。この間、ヨーロッパ諸国は海外への進出を試みており、それにとまってローマ教会もアメリカ大陸やアジアへの布教を強化した。海外布教におおいに貢献したひとつがイエズス会である。ローマ教会の領土(教皇領)は、1861年のイタリア統一時にも維持されていたが、普仏戦争のときにイタリア王国は教皇領を接収し、首都をローマに移した。以後、教皇とイタリア王国の対立が続くが、ヴァチカン市の独立を承認した「ラテラノ条約」によって和解し、現在に至っている。

問A 下線部Aについて、キリスト教徒迫害を当時の人々が是認する理由はいろいろ考えられるが、それに該当しないのはどれか。

1. キリスト教徒が一神教を信仰するから。
2. キリスト教徒が皇帝崇拝を拒否するから。
3. キリスト教徒は古来の神々を崇拝しない「無神論者」であるから。
4. キリスト教徒は「幼子殺害」を連想させる秘儀を有するから。 []

問B 下線部Bについて、このように定めたローマ皇帝は誰か。

1. コンスタンティヌス
2. ディオクレティアヌス
3. テオドシウス
4. ユリアヌス []

問C 下線部Cについて、アタナシウス派を正統と認めた325年の公会議の開催地はどこか。

1. アンティオキア
2. エフェソス
3. ニケーア
4. ミラノ []

問D 下線部Dについて、戴冠された王が属する王家はどれか。

1. ヴェルフ家
2. ザクセン家
3. シュタウフェン家
4. ホーエンツォレルン家 []

問E 下線部Eのこの時期に大成された神学について、正しいものはどれか。

1. アリストテレス哲学とキリスト教を調和させた。
2. 神学よりも哲学を上位に置いた。
3. 大成者は『神学大全』を著したアンセルムスである。
4. 唯名論の立場によって体系化された。 []

問F 下線部Fについて、この世紀に起こった事件でないのはどれか。

1. 教会大分裂(大シスマ)の開始
2. 教皇のバビロン捕囚
3. コンスタンツ宗教会議
4. フィリップ4世による最初の三部会招集 []

問G 下線部Gについて、14世紀に活躍した人文主義者でないのはどれか。

1. エラスムス
2. チョーサー
3. ペトラルカ
4. ボッカチオ []

問H 下線部Hについて、新秩序を造り上げたウェストファリア条約にないのはどれか。

1. オランダ・スイスの独立承認
2. クロムウェルの統治承認
3. ドイツの諸領邦の主権承認
4. ルター派・カルヴァン派の承認 []

問I 下線部Iについて、正しいものはどれか。

1. アジア布教の拠点として、インドのゴアと中国のマカオにおいた。
2. 異端審問権を得て、宗教裁判所を主導した。
3. 中国における典礼問題では、明確に典礼拒否を貫いた。
4. マテオ=リッチらによって創設された。 []

問J 下線部Jの条約を締結したのは誰か。

1. カヴール
2. ナポレオン=ボナパルト
3. ヒトラー
4. ムッソリーニ []

早慶の過去問からの発展・応用(宋・元編)

【1】慶應義塾大学 文

以下の文章を読み、空欄(A)～(J)に最も適切な語句を記入しなさい。

後周の武将であった趙匡胤が建国した北宋は、唐末五代以来の武断政治の風潮を断ち切るべく、文官を重視して中央集権化をはかった。皇帝自らが面接を行う殿試による科挙制度の完成も、君主権の強化を促進することとなった。形勢戸と呼ばれる富裕な新興地主層が科挙制度による官僚の母胎となり、やがて儒学の教養を身につけた名士である士大夫層を形成していった。かくして文治主義による統治が推進されたが、対外的には契丹や西夏などの北方民族の圧迫に苦しみ、防衛費が増大して国家財政は逼迫した。やがて金の侵攻を受けて都の開封を陥落させられ、上皇の徽宗と皇帝の欽宗を北方に連行されるという未曾有の国難に見舞われて北宋は滅亡した。この事件を(A)という。江南に逃れた欽宗の弟は高宗として帝位につき、(B)を都として南宋を再興した。南宋では、武将の岳飛が金に対する徹底抗戦を唱えたが、金との和平を主張する秦檜によって弾圧されて獄死した。その後、秦檜の主導のもとで南宋は和平策を推進し、国境線を淮河に定めて、金に対して臣下の礼をとり貢ぎ物を贈ることによって和平を購った。

宋朝の南渡は漢民族にとって屈辱ではあったが、経済的な側面からいえば江南地方の開発が飛躍的に進む契機となった。中国の気候は淮河以南が温暖湿潤であり、とりわけ長江下流域には湖沼や河川が複雑に入りくむ湿地帯が広がり、農耕に適さない土地が多かった。そうした土地を堤防で囲い干拓することによって農地とする(C)は五代からつくられ、南宋にいたってさらに普及した。「蘇湖熟すれば天下足る」という言葉は、稲作面積の拡大による収穫量の増加により、経済基盤が華北から江南へと移行した現象を端的に示している。元朝の支配を経た後の明朝では、長江下流域の江南デルタ地帯は綿花や生糸の産地となり、穀倉地帯の中心は長江中流域へと移ったため、「(D)熟すれば天下足る」という言葉に取って代わられるが、いづれにせよ宋王朝の南渡以後、中国経済が南方の長江中下流域に負う比率は格段に大きくなったのである。

中国史上、長江以南に都を置きながら、北方の黄河流域までを版図におさめた国家は、明が初めてである。貧農出身で後に太祖・洪武帝となる(E)は、白蓮教徒による紅巾の乱の群雄割拠のなかから頭角を現し、長江下流域の穀倉地帯を支配下に置くと、南京を都として明を建国した。南京に都を置くという選択は、宋代・元代を通じた開発により江南の重要性が増したことを背景としている。そして都が置かれたことにより南京の政治的な重要性も著しく向上することとなった。その傾向は建国直後の科挙にも顕著に表れており、及第者の多くは南方出身の知識人であった。(E)は国家の財政的・政治的基盤が江南に偏重することに苦慮し、北方出身者を抜擢したり、自分の息子たちを王として北方に分封したりするなどの対策をとった。しかし、二代目の建文帝の時代になると北方の諸王との軋轢が強まり、ついには北平(北京)の燕王、すなわち後の(F)帝が挙兵して都の南京は陥落させられた。建文帝は死に追い込まれて、新体制が推進されてゆくが、南京には反抗する儒教的知識人も多かった。とくに建文帝の信任が篤かった方孝孺は「燕賊篡位(燕国の盗賊が帝位を奪った)」と大書して非難したとも伝えられ、八百人以上の親族や友人を目の前で処刑されるという惨事も起こった。建文帝を殺したという汚名をこうむる新皇帝にとって、南京は都として居心地のよい場所ではなかった。彼は華北に残存する元朝以来の諸民族の混在という状況に対応する必要もあり、即位すると南京から北京への遷都を決行した。

都は再び華北へと戻ることになったが、江南では引き続き産業の発達がめざましく、都市が発展した。貨幣経済の発展のもとで、官僚経験者であり地主として郷里に居住して地方行政に強い発言力を有する人々が明代後期に台頭した。彼らは(G)と呼ばれる。彼らや富裕な商人層を担い手とする豊かな都市文化が栄えた。庭園を築き、書画をたしなみ、喫茶の習慣が普及し、景德鎮の陶磁器や骨董の愛好家が増えるなど、都市の富裕層の娯楽は多様性をもって花開いた。木版印刷による出版業も隆盛期を迎え、科挙の参考書や商業・農業などの実用書が普及した。その一方で、娯楽のための書籍も数多く刊行された。宋代以来、都の盛り場では語り物や芝居が上演されてきたが、そうした民間芸能に端を発する様々な物語が白話(口語)小説として集大成されて多くの読者を獲得した。その代表的なものが『三国志演義』『(H)』『西遊記』『金瓶梅』であり、「四大奇書」と称せられた。伝統的な儒家思想の信条としては、怪異、暴力、反乱や戦乱、鬼神については積極的には語らないことが求められた。しかし明代にいたり、『三国志演義』は戦乱、『(H)』は暴力、『西遊記』は神仙、『金瓶梅』は不道徳を高らかに謳い上げる物語として絶大な人気を博した。それらの書籍はまるで伝統的な儒教道徳の拘束から解放されたかのよう

に、南京や建安といった南方の諸都市で続々と刊行された。こうした従来の儒教的な道德観念にとらわれない爛熟した都市文化を思想面から強力に擁護したのが(I)である。彼は陽明学者であるが、儒教・仏教・道教に通じており、さらには中国最初の漢訳世界地図である「(J)」を作製したイエズス会の宣教師マテオ＝リッチとも南京で面会して交友関係を結んでいる。明末ならではの幅広い文化的視野のもとで、(I)は儒教の礼教主義にひそむ偽善性を鋭く批判し、赤子のような心こそが尊いとする「童心」説を唱えて、人間の欲望を積極的に肯定した。その理論は通俗文芸にも援用され、数ある書物のなかで『(H)』こそが最も尊い書物の一つであると評価するにいたったのである。ここに江南の文化的興隆は一つの極点を迎えた。(I)の思想と著作は後代に大きな影響を与え、日本でも彼の著作の一つである『焚書』を吉田松陰が獄中で読んで感動したという話が伝わる。しかし、(I)自身は鋭利な儒教批判のため、異端として投獄されて獄死するという末路をたどった。死後にも弾圧はやまず、その著作は清代にも禁書とされた。明末の江南に花開いた文化の先導者である彼が本格的に再評価されるのは、儒教的伝統が批判にさらされる五・四運動の出来を待たねばならない。

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J

【2】 早稲田大学 社会科学部

次の文章を読み、問1～3については、適切な語を記入し、問4～10については、選択肢の中から適切な解答をそれぞれ一つ選べ。

現在の北京の地は、古来より華北の重要な地域であった。もともと薊とよばれていたこの地域は、^(A)戦国時代に燕の都となり、秦の始皇帝による統一以後唐末までの各王朝は、この地域を北方民族に対する防衛拠点として重視した。

唐が滅亡し五代十国の時代になると、北方民族の活動が活発となり、遼河の流域で遊牧生活を送っていた^(B)モンゴル系の契丹族が916年に遼(契丹国)を建国した。遼は勢力を拡大し、936年には後晋の建国を援助した代償として^(イ)を獲得して華北に進出した。遼は5つあった都の一つを薊におき、これを燕京と呼んだ。960年に中国を再統一した宋は、遼の圧迫を受けたが、莫大な歳賜を贈り、国境を確定することなどを内容とする⁽¹⁾を結んで遼と和睦した。また、宋は、宋への進入を繰り返していたチベット系タングート族の西夏とも、⁽²⁾を結んで、多額の歳賜を贈った。ついで、松花江流域で半農半獵生活を営んでいたツングース系の女真族が遼から自立して1115年に金を建国した。金は、宋と結んで遼を滅ぼして燕京を金領とし、さらに⁽³⁾により、宋を滅ぼして華北を手中におさめた。宋の一部は南下して南宋を建国したが、⁽⁴⁾により、金に対して、臣下の礼をとるとする和議を結んだ。その後、^(C)金の第4代皇帝海陵王は、たびたび南宋を攻撃したが、1153年には燕京を中都と改名し、ここに1214年まで首都がおかれた。

1206年モンゴル諸部族を統一してモンゴル帝国を樹立したチンギス＝ハンは、金の中都をせめて陥落させた。その後、^(D)モンゴル帝国は中国北部から西アジア、ロシアに広がる大帝國を築き上げていくが、現在の北京の地がモンゴル帝国の歴史に登場するのは、フビライ＝ハンの時代になってからである。フビライは、多数の漢人官僚を重用して、中国風の統治政策により華北を支配していたが、かつての中都の東北部辺に新城を建設し、この地を大都と称して遷都し、その後、国号を中国風に元と改めた。^(E)フビライは、南宋への攻撃を続け、ついに南宋を滅ぼして、中国支配を完成させた。

元の中国支配は100年近く続いたが、これを終らせたのは、江南を根拠地として建国された明朝である。^(F)初代皇帝の洪武帝は、大都の地を北平と改名したが、その後明王朝の内紛から北平で挙兵した燕王朱棣が帝位について永楽帝となり、1421年北平に遷都して、ここを北京と称した。

15世紀中頃に西モンゴルのオイラト部のエセン＝ハンが明朝に交易を要求して、⁽⁵⁾を起こした。エセン＝ハンの軍は北京まで迫ったが、結局和議を結んで撤退した。その後、明朝は、北方民族の侵入に備えて、万里の長城の増築・整備に努めた。明朝は、第17代崇禎帝のときに、李自成の率いる農民反乱により、滅亡した。この李自成を滅ぼして北京に入城したのが、清朝である。^(G)女真族が建てた王朝である清朝の中国支配は約270年間続き、北京は清朝の首都として繁栄した。

しかし、18世紀末頃から清朝は衰退し始め、北京は、西欧列強の進出の下でアロー戦争や義和団事件などの国際政治の舞台となった。1911年におきた^(四)辛亥革命の結果、清朝は倒され、最後の皇帝となった宣統帝・溥儀が北京の紫禁城を中華民国政府に明け渡し、中国における王朝の時代も終わりを告げた。中華民国の時代には首都は南京に移され、北京は北平と呼ばれていたが、1949年に中華人民共和国が建国されると、再び北京という名称に戻されて中華人民共和国の首都となった。

問1 空欄(イ)に入るべき最も適切な語を記入せよ。 []

問2 下線部(B)に関し、遼(契丹国)を建国して太祖となった人物の名前を漢字で記入せよ。 []

問3 下線部(C)に関し、金が南宋攻略のとき、戦費調達のために発行し、その後財政難を切り抜けるため大量に発行して、経済の混乱を招いた紙幣を何というか。適切な名称を漢字で記入せよ。 []

問4 空欄①～⑤に関し、それぞれの空欄の数字に当てはまる語句が、適切に組み合わされているものはどれか。

a. ① 澶淵の盟 ② 慶暦の和約
③ 靖康の変 ④ 紹興の和約
⑤ 土木の変 []

b. ① 慶暦の和約 ② 澶淵の盟
③ 土木の変 ④ 紹興の和約
⑤ 靖康の変 []

c. ① 澶淵の盟 ② 紹興の和約
③ 靖康の変 ④ 慶暦の和約
⑤ 土木の変 []

d. ① 紹興の和約 ② 慶暦の和約
③ 土木の変 ④ 澶淵の盟
⑤ 靖康の変 []

e. ① 慶暦の和約 ② 紹興の和約
③ 土木の変 ④ 澶淵の盟
⑤ 靖康の変 []

問5 下線部(A)に関し、戦国時代になると、経済が発達して都市の規模も大きくなり、なかでも、臨淄は商工業・学芸の中心地として栄えたが、この都市を都としていた国はどこか。

a. 韓 b. 魏 c. 楚 d. 斉 e. 趙 []

問6 下線部(D)に関し、モンゴル帝国の拡大に関連する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- a. チンギス=ハンの末子オゴタイは、1235年にモンゴル帝国の第2代皇帝となり、南宋と結んで金を滅ぼした後、カラコルムに都を定め、各地に通じる駅伝制を整備した。
- b. モンケ=ハンの弟のフビライは、南宋攻略にむけて雲南の大理国を征服し、チベットの吐蕃も攻略し、その後、1264年に弟のハイドゥをおさえ、モンゴル帝国の第5代皇帝の地位についた。
- c. チンギス=ハンの孫のバトゥは、1241年にワールシュタットでドイツ・ポーランド軍を破るなどヨーロッパ世界をおびやかしたが、皇帝の計報に接し帰還する途上で、サライを都とするキプチャク=ハン国をたてた。
- d. チンギス=ハンは、トルコ系のホラズム朝を攻撃してサマルカンドを陥落させた後、中央アジアの西遼を滅ぼして西北インドに侵入し、ついで西夏を攻撃する直前の1227年に死去した。
- e. モンケ=ハンの命により子のフラグは西アジアに遠征し、1258年にアッバース朝を滅ぼし、バクダードを都としてイル=ハン国をたてたが、シリア進出はマムルーク朝に敗れて失敗した。 []

問7 下線部(E)に関し、南宋が元によって滅ぼされた年は、つぎのどれか。

a. 1268年 b. 1271年 c. 1274年 d. 1279年 e. 1281年 []

問 8 下線部(F)に関し、洪武帝による統治に関連する記述のうち、最も適切でないものはどれか。

- a. 皇帝直属機関として五軍都督府をおき、軍事力の皇帝への集中をはかった。
- b. 中書省とその長官である宰相を廃止し、内閣大学士をおいて皇帝の政治顧問とした。
- c. 洪武帝は皇帝在位中に元号を改めなかったため、以後一世一元の制が定着した。
- d. 農家を軍戸と民戸に分け、軍戸から徴発した兵士を衛という単位に編成する兵制を実施した。
- e. 朱子学を官学とし、元の時代に一時廃止されたこともある科挙制度を本格的に復活させた。 []

問 9 下線部(G)に関し、清朝の中国統治に関連する記述のうち最も適切なものはどれか。

- a. 緑営は清が中国に進出してから作られた軍事組織で、漢人により編成されたが、八旗のような正規の常備軍ではなく、おもに国内の治安維持にあたった。
- b. 藩部は、中央官庁である理藩院が管轄する地域であるが、自治も認められており、チベット、モンゴル、台湾、新疆、青海がこれに含まれることになった。
- c. 北方民族の風習である辮髪を漢人男子すべてに強制し、従わないものを処罰する辮髪令が康熙帝の時にはじめて発令された。
- d. 清朝は漢人懐柔策として、漢人学者を動員して『古今圖書集成』『四書大全』『五体清文鑑』などの大規模な編纂事業を行う一方で、清朝を批判する図書を検閲して焚書とした。
- e. 清朝は、六部などの中央官庁の高官の数を偶数として、同じ地位に満州人と漢人を同じ人数採用する方策をとった。 []

問 10 下線部(H)に関し、辛亥革命とその後の推移に関連する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- a. 1911年9月、四川各地で幹線鉄道国有化に反対する民衆暴動が起きたが、総理大臣に任命された袁世凱が派遣した軍によって弾圧された。
- b. 1912年1月、南京に集まった革命派と清朝から独立した省の代表は、中華民国建国を宣言すると同時に、暫定的基本法として臨時約法を公布した。
- c. 1914年7月、江西省の湖口などで袁世凱の専制や国民党弾圧に反対する勢力が挙兵したが、袁世凱の軍によって弾圧された。
- d. 1911年10月に山東省武昌の新軍が武装蜂起し、黎元洪を都督に擁立して、清朝からの独立を宣言した。
- e. 1915年末に雲南でおきた都督唐繼堯らの独立蜂起から始まった反袁世凱の武装蜂起が各地に波及したため、翌16年3月袁世凱は帝政宣言の取り消しを表明した。 []

【3】 早稲田大学 教育

モンゴルに関する以下の文を読み、設問1, 2に答えなさい。

1206年にハン位についた^(a)チンギス=ハンは、ナイマン⁽¹⁾お2および新興国家ホラズムを解体させ、モンゴル帝国を形成した。チンギス=ハンの子孫たちは東西に進軍し、バトウ⁽²⁾がロシアにキプチャク=ハン国をたて、フラグがアッパース朝を滅ぼし、イル=ハン国をたて、東方ではフビライが南宋⁽³⁾を滅ぼして中国全土をモンゴルの支配下に入れた。この結果、13~14世紀にはモンゴルを中心に広大な地域がゆるやかに一体化し、人類史上かつてない規模で東西の人と物が移動した⁽⁴⁾。イル=ハン国の宰相によって中国・ヨーロッパを含めた歴史書『集史』⁽⁵⁾も編纂された。モンゴル帝国の解体後、東部のモンゴル諸部族と西部のオイラトとが勢力をきそい、1449年にはオイラトのエセン=ハンが強大化し、明の皇帝を土木堡で捕虜として⁽⁶⁾北京を包囲した。

中国東北地方の女真出身のホンタイジは内モンゴルのチンギス=ハンの直系と言われる部族⁽⁶⁾を従え、1636年に国号を清と改めた。清は康熙帝の時代⁽⁷⁾に外モンゴルを勢力下に入れ、雍正帝の時代、ロシアとの間で外モンゴル方面の国境を定めた⁽⁸⁾。辛亥革命を機に⁽⁹⁾外モンゴルは独立を宣言し、ソ連⁽¹⁰⁾の影響の下に1924年、社会主義のモンゴル人民共和国^(c)が成立した。

設問1 下線(a)~(c)に関して以下の問いに答え、解答を所定欄に(a), (c)についてはカタカナで、(b)は漢字で記入しなさい。

- (a) ハンの選出などを行う有力者の会議をモンゴル語で何というか。 []

【4】 早稲田大学 社会科学部

次の文章を読み、下記の問1～9について、該当するもっとも適切な解答をそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。

衰退する^(a)遼に代わって、モンゴル高原の覇者となったのはモンゴル部である。モンゴル帝国を建国したチンギス=ハンは、ナイマン部族、ホラズム朝、西夏を相次いで征服し、(1)をしいて広大な地域の集権化をはかった。さらに第2代皇帝オゴタイ=ハンは金を滅ぼし、バトウに^(b)ヨーロッパ遠征を命じた。ロシアを征服した遠征軍はハンガリーに侵入し、さらにドイツ・ポーランド連合軍を破って、ヨーロッパを震撼させた。第4代皇帝については(2)の息子のモンケ=ハンであったが、その治世にフビライがチベット、雲南、ヴェトナムに、フラグが西アジアに遠征した。フラグはアッバース朝を滅ぼし、イル=ハン国を建ててイラン地方を支配した。ユーラシア全域に及ぶ広大な領土は、宗主の直轄領と4ハン国に分立して統治されたが、大ハン位をめぐる内紛によってモンゴル帝国は分裂した。そして14世紀後半までに4ハン国中の3ハン国が滅亡し、残るキプチャク=ハン国も16世紀初めに、モスクワ大公国と(3)の伸張によって滅びた。中国の穀倉地帯を重視した第5代皇帝フビライ=ハンは、大都に都を移し、国を元と称し、南宋を破って中国を統一した。さらに、チベット、^(c)高麗を属国とし、南方地域や日本への遠征も試みた。元はモンゴル人第一主義をとり、モンゴル人とそれを補佐する色目人が、^(d)政治の要職を独占した。漢人や南人は被支配者として官界から排除されたが、従来どおり土地所有を許された。元の経済を支えたのは、江南地方を中心とする中国の農業であった。また、^(e)運河や駅伝制の整備によって交通が発達し、商工業も繁栄した。

だが、フビライ=ハンの死後、相続争いが続き、諸王・権臣への賜与、あるいは^(f)チベット仏教保護のための散財によって、財政が逼迫した。(4)の乱発、専売制度の強化、増税などは民衆を疲弊させ、各地で反乱が起きた。紅巾の乱の指導者、朱元璋が南京で明を建てると、経済基盤の江南を失った元はモンゴル高原に退却した。元の(5)が病死すると、息子の昭宗が北元を建てたが、北元は2代で滅亡した。その後のモンゴル高原ではオイラート部が台頭するが、16世紀には(6)が強力になり、内モンゴルを制した。モンゴル帝国による交通路の整備と、ハイドゥの乱終結後の領土内にもたらされた秩序と安定によって、^(g)東西の文化・経済の交流はかつてないほどの隆盛をみた。内陸アジア経由の陸上ルートと海上ルートが連結され、アジアを循環する交通路が成立した。ムスリム商人の活躍によってイスラム世界が拡大し、多くのヨーロッパ人もさまざまな目的で東方を訪れた。元は儒教以外の宗教には寛容であったため、元代に中国でもイスラム教が次第に広まり、^(h)キリスト教の布教活動も行われた。

問1 空欄(1)～(6)について、該当する正解をア～オから一つ選べ。

- | | | | | |
|-----|------------|------------|--------------|-----|
| (1) | ア. 衛所制 | イ. 里甲制 | ウ. 千戸制 | |
| | エ. 保甲制 | オ. 府兵制 | | { } |
| (2) | ア. トウルイ | イ. ジュチ | ウ. チャガタイ | |
| | エ. オゴタイ | オ. グユク | | { } |
| (3) | ア. シビル=ハン国 | イ. ブハラ=ハン国 | ウ. コーカンド=ハン国 | |
| | エ. クリム=ハン国 | オ. ヒヴァ=ハン国 | | { } |
| (4) | ア. 宝鈔 | イ. 交鈔 | ウ. 開元錢 | |
| | エ. 五銖錢 | オ. 蟻鼻錢 | | { } |
| (5) | ア. 毅宗 | イ. 恵帝 | ウ. 成宗 | |
| | エ. 順帝 | オ. 欽宗 | | { } |
| (6) | ア. 完顔部 | イ. 建州部 | ウ. チャハル部 | |
| | エ. ジュンガル部 | オ. タタール部 | | { } |

早慶の過去問からの発展・応用(中世ヨーロッパ 2)

【1】 早稲田大学 法

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

北ヨーロッパのスカンディナヴィア半島やユトランド半島には、古来、ゲルマン人の一派に属するノルマン人が広く住みついていた。このノルマン人は①8世紀後半ごろから商業活動や海賊行為を目的として、ヨーロッパ各地の沿岸に進出しはじめ、ヴァイキングと総称されて恐れられた。一般的に、4世紀後半に起きたゲルマン人の②ゴート族・ヴァンダル族など東ゲルマン諸族の大移動や、これに続く③フランク族・アングル族・サクソン族など西ゲルマン民族の移動をゲルマン人の第1次民族大移動とすれば、このノルマン人の進出は第2次民族大移動とみなすことができる。ノルマン人は、ヨーロッパの沿岸部から河川を經由して内陸部に進出しさまざまな地域に拠点を形成したが、ノルマン人の支配地は公国や王国などに発展して、古代・中世ヨーロッパ世界に大きな影響を及ぼした。その後ノルマン人の原住地にもデンマーク・スウェーデン・ノルウェーの諸王国がたてられ、これらの諸国はキリスト教化されることでヨーロッパ世界に組み込まれた。この中で最初に台頭したのは、デンマークである。[A]王の時代に、イングランドを征服し、さらにノルウェーを併合した。14世紀後半にはデンマークはバルト海に進出して④ハンザ同盟諸都市と争い、14世紀末にはカルマル同盟のもとで、北欧諸国が一大勢力となった。しかし、16世紀前半にはスウェーデンが独立して、17世紀のグスタフ＝アドルフのときに、三十年戦争に参加して、バルト海の制海権の確保を図った。スウェーデンはその後も発展し、[B]のときに北方戦争を展開したが、これら北欧諸国にかわって、次のバルト海の覇者となったのは、⑤ロシアであった。ロシアでは、スラブ人を中心に国家形成がすすめられ、17世紀末に帝位についたピョートル1世は軍備の拡大と近代化の政策を推進し、東のシベリア経営に乗り出したほか、南方ではオスマン帝国に圧力をかけ、アゾフ海にも進出した。さらに18世紀後半には、女帝エカチェリーナ2世が啓蒙専制政治を実施して中央集権的体制を強化した。このようなロシアの勢力や領土拡大にともなって、その後の北欧諸国はつねにロシアの脅威のもとにおかれることになった。

設問1 [A]に入る最も適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 エグバート 2 エドワード 3 ユード 4 カヌート(クヌート) []

設問2 [B]に入る最も適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 カール4世 2 カール12世 3 ヨーゼフ2世 4 クリスチャン4世 []

設問3 下線部①に関連して、次の1～4の中から、8世紀後半におきた事件や出来事に関する説明を一つ選びなさい。

- 1 フランス中東部に、ベネディクト派のクリュニー修道院が設立された。
2 レヒフェルトの戦いで、オットー1世がマジャール人を撃退した。
3 ピピンが、獲得したラヴェンナなどを教皇に寄進した。
4 ヴェルダン条約が結ばれて、フランク王国が3分割された。 []

設問4 下線部②に関連して、ゴート族のうち、東ゴート人によってイタリアに建国された東ゴート王国を滅亡させたのは次の1～4の誰か。一人を選びなさい。

- 1 オドアケル 2 ユスティニアヌス帝 3 アラリック 4 カール＝マルテル []

設問5 下線部③に関連して、フランク族・アングル族・サクソン族に関して述べた文の中で誤っているものを次の1～4の説明の中から、一つ選びなさい。

- 1 メロヴィング家のクローヴィスはフランク族を統一して、フランク王国を建国した。
2 アングル族・サクソン族はブリタニア南部に、七王国を建設した。
3 フランク王国カロリング朝のカール大帝は、ローマ教皇レオ3世から、西ローマ皇帝の帝冠を受けた。
4 アーサー王は、アングル族・サクソン族を代表する伝説的英雄である。 []

設問6 下線部④に関連して、ハンザ同盟の盟主として中心的な役割を果たした都市は次の1～4のどれか。一つ選びなさい。

- 1 アウクスブルク 2 ヴェルツブルク 3 リューベック 4 アントウェルペン []

設問 2 に入る名称を記しなさい。 []

設問 3 下線部 C にかかわる説明として誤っているものはどれか。

- イ 11 世紀後半から 12 世紀には、ベルベル人のムラービト朝がイベリア半島の南部にも勢力を拡大していた。
- ロ ナスル朝のグラナダが陥落することで、レコンキスタは事実上終了した。
- ハ コルドバではカスティーリャ王国による占領後、多くのアラビア語文献がラテン語に翻訳された。それらの翻訳が西欧にもたらされ、12 世紀ルネサンスが開花した。
- ニ レコンキスタを担ったアラゴン王国は、13 世紀からはシチリア王国も支配した。 []

設問 4 に入る地名を記しなさい。 []

設問 5 下線部 E の説明として誤っているものはどれか。

- イ カルヴァン派はスコットランドではピューリタンと呼ばれ、禁欲的な職業倫理に従い生活した。
- ロ ルターの教説は一部のドイツの諸侯に受け入れられ、そのような諸侯はルター派に基づく自身の領邦教会を作った。
- ハ アウクスブルクの宗教和議で、支配者はカトリックカルター派を選ぶ自由が与えられたが、カルヴァン派は認められなかった。
- ニ イギリスでは宗教改革後、首長法により国王が教会の首長となり、イギリス国教会が成立し、統一法により礼拝、祈禱が統一された。 []

【4】 慶應義塾大学 法

以下の問題文の空欄 から に入る最も適切な語句を語群の中から選べ。下線部に関する

設問 (ア) から (オ) に対する解答として最も適切なものを語群の中から選べ。

ヨーロッパ世界の形成に歴代のローマ教皇は深くかかわってきた。教皇という地位の歴史的起源は、ローマ司教にある。ローマ司教は、キリストの一番弟子といわれている がその初代とされたこともあって、他の司教以上の威信を帯びてゆくこととなる。5 世紀半ば、ローマ司教レオ 1 世はイタリアに侵入した を説得してローマの街を破壊から守り、コンスタンティノープル教会に対してはローマ教会の首位権を主張した。また、もともとすべての司教の呼称であった「Papa」(ラテン語)は、6 世紀末から 7 世紀初めに在位したグレゴリウス 1 世の時より、ローマ司教だけに適用される尊称となった。9 世紀以降、歴代教皇は、西ローマ帝国の復活や神聖ローマ帝国の成立などに深く関与し、ヨーロッパ中世史において中心的な役割を担うことになる。彼らの権威はその後、ヨーロッパ各国を (イ) 十字軍 に動員するまでに高まり、 (ロ) 13 世紀にそれは頂点に達した といわれる。しかし、14 世紀から 15 世紀にかけて生じた (ハ) 教会大分裂 によって、教皇の威信は大きく揺らぐことになった。近代に入ると、教皇の権威は一層弱まった。16 世紀には、宗教改革により教皇の存在そのものが否定されはじめた。また、教皇の側においても、対抗宗教改革運動の中心的な役割を担った をクレメンス 14 世が解散させるなど、自らカトリック教会の弱体化に手を貸すような行動があった。さらに、ナポレオンの戴冠式に立ち会った は、(ニ) 大陸封鎖 に協力しなかったとの理由で幽閉された。

19 世紀、(イ) ナショナリズム がヨーロッパ世界で高まる中、イタリアでは と呼ばれる統一運動が起こった。その結果、ピウス 9 世がイタリア王国の一国民とされる事態が生じる。近代国家イタリアにおける教皇と教皇庁の位置づけが問題となったわけだが、現在のように、ローマ市内のヴァチカン地区を独立国家とし、教皇をその首長とすることが決められたのは、教皇と との間で結ばれた条約によってである。

第二次世界大戦後、ローマ教皇は現代世界が直面する諸問題に積極的にかかわるようになる。1964 年、パウロ 6 世は教皇として初めてエルサレムの地を踏み、そこでギリシア正教総主教と会談した。その際、カトリック教会と正教会は相互に宣言しあった破門を約 年ぶりに取り消した。また、ヨハネ・パウロ 2 世が、ポーランドの自主管理労組「連帯」を抑圧

していた (65) ↓ (66) 首相を説得し、民主化を促したことは広く知られている。

このようにローマ教皇は今日も、文化や政治に対して大きな影響を与え続けている。

5152	5354	5556	5758	5960	6162
6364	6566				

設問

- (ア) 十字軍に際して、聖地を防衛するためにいくつかの宗教騎士団が結成されたが、その一つであるテンプル騎士団の財産を狙って、これを弾圧し解散させたフランス王は誰か。 []
- (イ) 教皇権の絶頂期に在位したインノケンティウス 4 世が使節としてモンゴルに派遣した修道士は誰か。 []
- (ウ) 教会大分裂を終結させるため、1414 年にコンスタンツで公会議を開催することを提唱したドイツ皇帝は誰か。 []
- (エ) ナポレオンが大陸封鎖令を発した都市はどこか。 []
- (オ) ナショナリズムの影響のもと、ドイツの歴史や民族精神に基づく法の役割を強調した、「歴史法学」の創始者は誰か。 []

〔語群〕

- | | |
|------------------------|---------------|
| 01. 400 | 02. 500 |
| 03. 700 | 04. 900 |
| 05. 1200 | 06. アウグスティヌス会 |
| 07. アッティラ | 08. アラリック |
| 09. アンリ 4 世 | 10. イエス |
| 11. イエズス会 | 12. ウィーン |
| 13. ヴィットーリオ＝エマヌエーレ 2 世 | 14. ヴェルサイユ |
| 15. ウルバヌス 2 世 | 16. エグバート |
| 17. エンコミエンダ | 18. オットー 1 世 |
| 19. オドアケル | 20. カヴール |
| 21. ガリバルディ | 22. ギエレク |
| 23. クレメンス 5 世 | 24. コント |
| 25. サヴィニー | 26. ジギスムント |
| 27. シャルル 7 世 | 28. チャウシェスク |
| 29. ティボー | 30. テオドリック |
| 31. ドミニコ会 | 32. ハインリヒ 4 世 |
| 33. パウロ | 34. バリ |
| 35. ピウス 7 世 | 36. フィリップ 4 世 |
| 37. プラノ＝カルピニ | 38. フランチェスコ会 |
| 39. フリードリヒ 2 世 | 40. ペテロ |
| 41. ベネディクト会 | 42. ベルリン |
| 43. ボニファティウス 8 世 | 44. ホネカー |
| 45. マクシミリアン 1 世 | 46. マッツィーニ |
| 47. マテオ＝リッチ | 48. マルコ＝ポーロ |
| 49. ムッソリーニ | 50. モンテ＝コルヴィノ |
| 51. ヤコブ | 52. ヤルゼルスキ |
| 53. ヨハネ | 54. ライプチヒ |
| 55. ランケ | 56. リスト |
| 57. リソルジメント | 58. ルイ 9 世 |

59. ルイ 13 世

60. ルネサンス

61. ルブルック

62. レオ 10 世

63. レコンキスタ

64. レジスタンス

65. ワレサ

【5】 慶應義塾大学 商

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1 世紀に成立したキリスト教は、^(a)数々の迫害を受けながらもローマ帝国全体に広まり、313 年の勅令によって公認されるとその地位は確かなものとなった。325 年の宗教会議によって教義の統一がはかられた後、(1) | (2) 帝はキリスト教を完全に国教化した。またこのころ、後の王権神授説の根拠にもなった(3) | (4) を唱えた(5) | (6) をはじめ、多くの教父が正統教義の確立に努め、後の神学の基礎を築いた。五本山と呼ばれたキリスト教会のなかでも、ローマ教会は自らカトリックと称して首位権を主張し、6 世紀末の教皇(7) | (8) はゲルマン諸部族への布教活動を熱心に行って西ヨーロッパに勢力を拡大した。8 世紀になると、ローマ教会は聖像禁止をめぐってビザンツ皇帝の支配するコンスタンティノープル教会と激しく対立した。ビザンツ皇帝に代わる新たな政治的保護者を必要としたローマ教会は、フランク王国との関係強化を図り、(9) | (10) 朝の宮宰カール＝マルテルの子ピピンがフランク王位を継承することを支持した。これに応じて、ピピンは(11) | (12) 人から奪ったイタリア中北部の(13) | (14) 地方を教皇に献上し、^(b)ここに最初の教皇領が誕生した。

ピピンの子カール大帝は北の(15) | (16) 人、東はモンゴル系の(17) | (18) 人を征服し、イベリア半島のイスラーム勢力も破って西ヨーロッパに巨大な王国を築いた。ローマ＝カトリック教会の権威はフランク王の保護のもとで西ヨーロッパ全体に及び、教皇を頂点とする階層制の教会組織が確立するとともに、農民が教会に納める十分の一税も制度化された。

しかし、フランク王国分裂後の混乱のなかで、(15) | (16) 朝の王オットー 1 世が教会勢力を国内統一に利用する政策をとったことから、教会と世俗権力のつながりが深まり、^(c)教会の世俗化と腐敗がもたらされることになった。こうしたことから 10 世紀以降、修道院精神の原点である(19) | (20) の戒律の厳格な遵守を呼びかける教会刷新運動が、フランスのクリュニー修道院を中心に起こった。ローマ教皇はこの改革を推し進めて教皇権の強化をはかり、インノケンティウス 3 世は神聖ローマ皇帝(21) | (22)、フランス王(23) | (24)、イギリス王(25) | (26)らを次々と破門・屈服させるなど、^(d)教皇権の皇帝権に対する優位を誇示した。しかし十字軍の失敗によって教皇の権威は揺らぎはじめた。1303 年の(27) | (28)に続く教会大分裂で教皇権の失墜は決定的となった。それとともに教会の墮落や腐敗に対する不満は、教会改革を求める運動となって各地に広まり、それはやがて宗教改革へと発展した。

16 世紀になってマルティン＝ルターが福音信仰を唱えてドイツで宗教改革を起こすと、スイスではカルヴァンが「予定説」を唱えて改革を指導した。彼は、^(e)禁欲的な職業労働が神の栄光を増すことにつながり、その結果としての富の蓄積は是認されると説いたため、この教義は西ヨーロッパの商工業者を中心に広まった。カルヴァン派はスコットランドでは(29) | (30)、ネーデルラントでは(31) | (32)と呼ばれた。しかし新教の普及は他方でカトリックとの摩擦を生み、16 世紀の後半から 17 世紀の前半にかけて西ヨーロッパ各地で^(f)宗教戦争が勃発した。

12	34	56	78	910	1112	1314	1516
1718	1920	2122	2324	2526	2728	2930	3132

問 1 文中の空欄(1) | (2)～(31) | (32)にあてはまる最も適当な語句の番号を以下の選択肢から選べ。

11 アヴァール

12 アウグスティヌス

13 アタナシウス

14 アナーニ事件

15 エウセビオス

16 オットー 4 世

早慶の過去問からの発展・応用(明・清)

【1】慶應義塾大学 商学部

次の文を読み、下記の設問に答えなさい。

元末の混乱を収めた(18)は1368年に国号を明とし洪武帝と称された。その対外政策は、北辺に備えるとともに、南と東に向かつては、外国船の往来や、中国人の海外渡航や外国との交易などを禁ずる(ア)策をおこなって、交易を(イ)貿易に限ろうとした。この(ア)策は当時活発になっていた(ウ)対策であったと言われる。

第3代の(19)帝は対外積極策をとり、鄭和に大艦隊を率いさせ7回にわたる南海遠征をおこなわせた。^(a)遠征は東南アジアからインド、さらに遠くアフリカ東岸にまで及んだが、その目的は諸国に明の権威を認めさせ、(イ)貿易を促すことであった。これにより中国と東南アジアそしてインド洋周辺を結ぶ南海貿易はいっそう活発になった。たとえば、後に東南アジアを中心とする東西の貿易の一大拠点となった(エ)も、鄭和の遠征隊が明の使節として1405年に寄港してからは、^(b)国王パラメシュバラはあらためて明により(エ)国王に封じられ、明の朝貢国となった。インドや中東から多くのムスリム商人が(エ)を経由して東南アジア島嶼部で商業活動をおこない、東南アジアの(20)に大きな役割を果たすことになる。(19)帝の死後、明は対外的には消極的な政策をとるようになり、北では内モンゴルから撤退し、^(c)南ではヴェトナムの独立を認めた。

16世紀になるとインド洋からインド、東南アジアを経由して東アジアまで、ポルトガル人が進出してきた。ヴァスコ・ダ・ガマが1498年にインド西岸に到着した後、ポルトガルのインド総督(21)は1510年には(22)を占領してインド洋の根拠地とし、さらにその翌年の1511年には(エ)を占領して東南アジアの基地とした。その後ポルトガル人は、中国や日本にまで活動範囲を広げた。このようなポルトガルや17世紀以降進出してくるイギリスやオランダの活躍も、中国・東南アジア・インド・中東をつなぐ交易ネットワークを巧みに利用することによって可能となったのである。16世紀の明は、北では(23)、東南海岸では(ウ)の侵攻が激しくなり、国内の乱れと重なり弱体化していき、17世紀前半には清と交替する。

文化面では、ポルトガルの通商活動に伴うかたちで宣教師たちがキリスト教の布教活動を活発に展開し、インド以東の地にキリスト教を広めようと努めた。16世紀の半ば、(24)宣教師の(25)は日本での宣教活動に続いて中国へも赴いたが、本格的な布教活動をおこなう前に同地で亡くなった。16世紀末に中国を訪れたイエズス会宣教師の(26)は明の政治家で学者でもある(オ)と協力し、宣教に結びつけるかたちで^(d)さまざまなヨーロッパの知識や文物を紹介した。しかし、キリスト教の布教は清の(27)帝の時代に禁じられることになった。

問1 空欄(18)から(27)にもっとも適当な語句を次の《語群》より選び、その番号をマークしなさい。

《語群》

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| 11 アメリゴ・ヴェスプッチ | 12 アルプケルケ | |
| 13 イエズス会 | 14 イグナチウス・ロヨラ | |
| 15 イスラム化 | 16 インド化 | 17 永楽 |
| 18 王安石 | 19 王陽明 | 20 カスティリオーネ |
| 21 カブラル | 22 騎士修道会 | 23 匈奴 |
| 24 乾隆 | 25 ゴア | 26 康熙 |
| 27 洪秀全 | 28 光緒 | 29 康有為 |
| 30 柔然 | 31 朱元璋 | 32 植民地化 |
| 33 西夏 | 34 鞭撻 | 35 張居正 |
| 36 鄭成功 | 37 ドミニコ会 | 38 フランシスコ・ザビエル |
| 39 ベネディクト会 | 40 ボンベイ(ムンバイ) | 41 マゼラン |

42 マテオ・リッチ

43 マドラス

44 万暦

45 楊堅

46 雍正

18	19	20	21	22
23	24	25	26	27

問2 下線部(a)の鄭和の遠征した中国からアフリカ東岸にかけての地域の15世紀中の状況について、正しい文を選べ。

- 1 ジャワのマジャパヒト(マジャパイト)王国は15世紀後半から北岸のイスラム勢力に押されて衰退し始めた。
- 2 スマトラのシュリーヴィジャヤ王国は最盛期は過ぎていたが、依然として強い勢力であった。
- 3 インドではデリー・スルタン朝末期の混乱に乗じてムガル朝が勢力を広げだしていた。
- 4 インド洋ではオスマン朝海軍が紅海からインド西岸まで進出してきた。 []

問3 下線部(c)に関して、独立したヴェトナムの王朝名は何か。その番号をマークしなさい。

- 1 陳朝 2 黎朝 3 阮朝 4 西山朝 []

問4 下線部(d)に関して、この人物が中国にもたらしたものは何か。その番号をマークしなさい。

- 1 坤輿万国全図 2 円明園の設計 3 暦の改訂 4 皇輿全覧図 []

問5 (ア)~(オ)にもっとも適する語句を記入しなさい。

ア	イ	ウ
エ	オ	

問6 下線部(b)のように、周辺諸国に中国の皇帝を宗主と認めさせ、その支配者を国王などに任じ朝貢を許す関係の持ち方を何と呼ぶか。 []

【2】早稲田大学 一般

中国史に関する以下のA~Eの文章を読み、設問1~9について解答を一つ選べ。

A 14世紀になると元は衰退し、各所で反乱が起こった。紅巾の乱の一武将だった朱元璋は穀倉地帯の江南地方を支配し、1368年に金陵で即位した。彼は大都に進撃し、元をモンゴル高原に退け、中国を統一した。君主独裁体制を確立するため、中書省を廃止してその属下の六部を皇帝に直属させ、都察院、五軍都督府を置き、こうして[あ]を分立させた。民衆支配として里甲制を実施し、里長や甲首に徴税や治安維持の責任を負わせた。

設問1 下線aの反乱に関して、中国史上の農民反乱はしばしば宗教と深く関わっているが、それにもっとも該当するのはどれか。

- ① 陳勝・呉広の乱 ② 黄巾の乱 ③ 八王の乱 ④ 黄巢の乱 []

設問2 [あ]に入る適切な語句はどれか。

- ① 監察権 ② 民政権 ③ 軍事権 ④ 三権 []

B 靖難の変で建文帝を破った燕王は、南京で即位すると北京に遷都し、江南と北京を結ぶ大運河を修復拡張した。対外面では、北方に対しては万里の長城を再修築し、タタールやオイラトを撃退してモンゴル勢力を一掃した。南方に対しては、内紛で滅亡した陳朝の復興を口実にベトナムに進出した。南海地方に対しては鄭和に命じて大規模な遠征を行わせた。

設問3 下線bの大運河に関して、誤った記述はどれか。

- ① 大運河は隋の文帝が大興城(長安)と黄河を結ぶ運河を開いたことに始まり、煬帝のとき江南の杭州から涿郡(北京)に至る運河として完成した。
- ② 大運河に沿い水陸交通の要衝にある揚州に、唐代に最初の市舶司が置かれた。
- ③ 政治の中心地華北と経済の中心地江南を結ぶ大動脈として、隋以後の王朝においても大いに活用されていた。
- ④ 元では隋代の運河を改修し、新運河を開掘して補強し、さらに沿岸沿いに長江下流域から大都方面に至る海上輸送路も併用した。 []

設問4 下線cの陳朝に関して、正しい記述はどれか。

- ① 朱子学や国民文学が発達した。
- ② 宋軍を撃退し、大理やチャンパーに侵攻した。
- ③ モンゴル軍の侵入を三度も撃退した。
- ④ ベトナム最後の王朝である。

[]

C 永楽帝の時代を頂点に、明はしだいに国力が衰退した。15世紀中頃、西北モンゴルの^dオイラトがモンゴル高原を統一して北辺に侵入した。同世紀後半にはタタールが内モンゴルを統一し、連年北辺に侵入して明に多大な被害を与えた。明は南方海上でも、倭寇の被害に悩まされた。その防衛に莫大な支出を費やしただけでなく、東南沿岸地域が荒廃して経済的に大打撃を受けた。これによって明の国政は乱れた。

設問5 下線dのオイラトに関して、誤っている記述はどれか。

- ① 北元が減びると、モンゴル高原では東部のモンゴル諸部族と西部のオイラトが勢力を争った。
- ② エセン=ハン(1370-1392)のとき全モンゴルを統一したが、彼が部下に殺されると急激に衰えた。
- ③ 河北北部の土木堡で明軍を破って、正統帝を捕えた。
- ④ ダヤン=ハンやその孫アルタン=ハンを輩出し、チベット仏教を受け入れた。

[]

設問6 下線eの倭寇に関して、誤っている記述はどれか。

- ① 倭寇は元代から登場し、武装した日本の密貿易者が朝鮮半島沿岸や中国江南の沿岸を略奪し、高句麗滅亡の原因ともなった。
- ② 室町幕府が成立すると、勘合貿易が開かれ、倭寇は減少した。
- ③ 16世紀になると、長江下流域から華南の沿岸地域で倭寇が再び急増した。
- ④ 明の海禁に不満をもつ中国人通商業者は、明の衰退に乗じて倭寇と結託し、密貿易や海賊行為を行った。

[]

D 16世紀末、東北地方では建州女真の首長ヌルハチが女真族を統一し、後金国を建国した。その子太宗は国号を清に改め、国家の基礎を築いた。明が李自成によって滅ぼされると、順治帝は山海関を突破し、李自成を破って北京に入城した。次の康熙帝・雍正帝・乾隆帝の三代約130年間が清の最盛期で、fこの時期に清はほぼ現在の中国の領土の原型を形成した。

設問7 清の皇帝とその治世における対外関係の組み合わせに関して、誤っているものはどれか。

- | | |
|----------------|--------------|
| ① 康熙帝／ネルチンスク条約 | ② 雍正帝／キャフタ条約 |
| ③ 乾隆帝／南京条約 | ④ 光緒帝／北京議定書 |

[]

設問8 下線fの領土形成に関して、誤った記述はどれか。

- ① 順治帝のとき、台湾に拠って最後まで抵抗した鄭成功の孫を滅ぼし、中国史上初めて台湾を領土に加えた。
- ② 康熙帝のとき、ロシアとの国境を外興安嶺とアルグン川の線に画定した。
- ③ 雍正帝のとき、ロシアとモンゴル方面の国境を画定した。
- ④ 乾隆帝のとき、ジュンガル部を滅ぼした。

[]

E 清はこの大領土を三層に分けて統治した。すなわち東北地方(満州)・中国本土・台湾は直轄領として直接統治し、モンゴル・青海・新疆・チベットは藩部として間接統治し、朝鮮・ベトナム・タイ・ビルマ(ミャンマー)を属国とした。藩部を管理する事務機関として理藩院が置かれた。このような清の支配体制も、乾隆帝の長い治世の終わり頃から破綻がみられるようになる。

設問9 Eの文に関して、誤っているものはどれか。

- ① 清は東トルキスタンの回部の反乱を平定して、ここを新疆とした。
- ② 朝鮮王朝は明の冊封を受けていたので清の建国を認めず、そこで清の太宗は朝鮮を攻めてこれを臣属させた。
- ③ 阮福映は西山朝を滅ぼし、全土を統一して阮朝を樹立し、清から大越国王に封じられた。
- ④ 清はダライ=ラマなどの活仏を保護して、モンゴルやチベットの支配に利用した。

[]

【4】早稲田大学 商

次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答は所定欄に一つだけマークせよ。

A明も清もそれぞれ 300 年におよぶ命脈を保ちえた理由のひとつとして、いく人かの有能で個性的な皇帝の存在をあげることとはあながち無理なことではあるまい。宋代以降、皇帝の独裁体制が強化され、明代初期にそれが完成し、清代もそれが維持されたとされる。たしかに、皇帝が地方の下級官吏の任免権まで掌握し、Bあらゆる行政機関に直接命令を下せる体制は、理論上は文字どおり「皇帝独裁体制」であり、C広い国土と膨大な人口の全てを管掌し、意のままに人びとを動かせるD絶対的な権力を保証するものであった。

しかし、現実にはそのような独裁は可能であったろうか。日々起こるさまざまな問題の全てに対して一個の人間にすぎないE皇帝が、いちいち適切な指示を下すということが物理的に可能であろうか。しかもそれは一日や二日で終わるはずもなく、F在位の間延々と続く果てしない営為なのである。また、G人びとが権力者の指示に唯々諾々としたがうとは限らない。理論上はH「皇帝の手足」であるはずの官僚も、しよせんは生身の人間であり、現実には皇帝の意のままに動く存在ではない。整然とした官僚機構であればあるほど、やがては皇帝の意向を無視し、逆らい、皇帝権力を矮小化させていく方向に動き出す危険性が高いのである。このように考えれば、皇帝独裁体制がそれなりに機能し、社会の安定を長いあいだ維持するためには、まずもって皇帝個人に並はずれた知能・判断力・体力・精神力がなければならないことがわかる。そうした希有な能力を發揮した皇帝として、明にあつては、I太祖洪武帝・成祖永楽帝、清にあつては、J太祖・太宗、それにK康熙帝・雍正帝・L乾隆帝をあげることに異論をはさむ人は少ないであろう。

問A 下線部Aについて、明・清と同様に 300 年近く存続した王朝はどれか。

1. 殷 2. 前漢 3. 後漢 4. 唐 []

問B 下線部Bについて、そうした体制は明の太祖洪武帝が定めたものだが、彼のどのような施策で実現したのか。その説明として正しい文を選べ。

1. 節度使の兵権を大幅に制限し、皇帝を守護する禁軍を強化した。
2. 政務執行の最高機関であった中書省を廃止した。
3. 均輸法・平準法という経済政策を実施した。
4. 郡を廃止し、州と県を基本的行政単位とする州県制を施行した。 []

問C 下線部Cについて、それを実現するべく明が定めた制度について述べた文として、正しいものを選べ。

1. 洪武帝は 110 戸で 1 里を構成し、そのうち財力のある 10 戸を里長戸、残る 100 戸を 10 甲に分割し、各甲に甲首を置いて農村の行政や治安を管理させる里甲制を実施した。
2. 建文帝は戸籍・租税台帳として賦役黄冊、土地台帳として魚鱗図冊を新設し、地方官に毎年改訂させた。
3. 永楽帝は人民の身分を軍戸・民戸に分け、軍戸を世襲にして衛所に配置する衛所制を立案、実施した。
4. 洪武帝は民間人の貿易を禁止し、琉球、ルソン、カンボジア、黎朝など朝貢国とだけ外交関係を結ぶ海禁政策をとった。 []

問D 下線部Dについて、永楽帝の時代にはその権力の示威行為として鄭和の南海遠征が行われたが、その船団が到達していない場所はどこか。

1. アユタヤ 2. イスファハーン
3. マリンディ 4. コロンボ []

問E 下線部Eについて、それを補うために実施された方策を述べた文として正しいものはどれか。

1. 洪武帝は宰相的な官職・役職を全て廃止したが、独裁を徹底できず、しだいに宦官を重用するようになった。
2. 永楽帝は内閣大学士を置いたが、そのうちの首席の大学士は、のちに事実上の宰相となった。
3. 雍正帝は内閣を廃止して軍機処を設けたが、その長である軍機大臣は、のちに事実上の宰相となった。
4. 清では人口の大多数を占める漢人を懐柔するため、あらゆる官庁で満人(満州族)と漢人を同数登用する満漢併用政策をとった。 []

問F 下線部Fについて、皇帝在位期間の長さが中国史上3番目となる皇帝は誰か。

1. 漢の武帝
 2. 南朝梁の武帝
 3. 唐の太宗
 4. 乾隆帝
- []

問G 下線部Gについて、明・清時代の反権力運動について述べた文として誤っているものはどれか。

1. 政府の税徴収に対する地主の拒否運動(抗糧)が、明末清初に頻発した。
 2. 宦官による過重な徴税に対する都市民の抵抗運動(民変)が、明末清初に頻発した。
 3. 小作料をめぐり、佃戸が地主と戦う運動(抗租運動)が、明末清初に頻発した。
 4. 雲南の藩王・広東の藩王・福建の藩王が清初に起こした反乱を三藩の乱という。
- []

問H 下線部Hについて、明・清時代の官僚について述べた文として正しいものはどれか。

1. 科挙に初めて殿試が設けられた明代以降、皇帝による面接を受けた官僚たちはその皇帝に強い忠誠心を持つようになった。
 2. 明・清時代の地方の有力者である「郷紳」は、全て官僚経験者であった。
 3. 清代にも科挙は行われたが、華夷思想を説く朱子学は退けられ、もっぱら考証学の知識が問われた。
 4. 優れた学才を発揮する官僚もいた。内閣大学士となる一方、『幾何原本』を翻訳したりした明末の徐光啓はその一人である。
- []

問I 下線部Iについて、洪武帝が首都をおいた場所は当時なんと呼ばれたところであったか。

1. 順天府
 2. 会寧府
 3. 龍泉府
 4. 応天府
- []

問J 下線部Jについて、清の太祖ヌルハチの事績として正しいものはどれか。

1. 一人の皇帝の治世には一つの元号を用いることとし、皇帝の名も元号で呼ぶことにした。
 2. モンゴル族のチャハル部や朝鮮(李朝)を服属させた。
 3. 八旗を編制し、旗人(戦士)には土地を支給する見返りに軍役・公務を課した。
 4. 六部のひとつである兵部とは別に中央に五軍都督府をおき、相互を牽制させるようにした。
- []

問K 下線部Kについて、康熙帝の事績として誤っているものはどれか。

1. ロシアとの間で、外興安嶺とアムール川を国境と定めるネルチンスク条約を結んだ。
 2. 明朝復興を唱える鄭経らを制圧し、台湾を併合した。
 3. 地丁銀制のさきがけともいえる盛世滋生人丁制を実施した。
 4. イエズス会の宣教師以外のキリスト教布教活動を禁止した。
- []

問L 下線部Lについて、乾隆帝時代の出来事でないものはどれか。

1. 『四庫全書』が編纂された。
 2. イギリスからマカートニーが来訪した。
 3. ジュンガル部が滅ぼされ、「新疆」が設置された。
 4. 『牡丹亭還魂記』が著された。
- []

【5】早稲田大学 文

次の文章を読み、設問に答えなさい。1～4は所定欄に一つだけマークし、5は所定欄に記しなさい。

西暦1368年、元末の諸反乱勢力を制した朱元璋は、A金陵で即位し明を建国した。明軍は「驅逐胡虜、回復中華」を呼号して大都を攻略、元朝はモンゴル高原にのがれた。天下統一を果たした洪武帝にとっての最大の課題は、自らの皇帝権力を揺るぎないものとして確立することと、政治的に分裂した金一南宋以来の中国北部と南部の政治的・経済的統合を実現することであった。洪武年間の一連の高官肅清事件や、B永楽帝による靖難の役はこうした問題に関連していた。

明が内乱で滅亡した後、中国を統治した清朝は、1683年にC台湾を統治下に収めてようやく天下統一を完成した。しかし少数の満州族が絶対多数の漢族を治めるには多くの困難があった。D雍正帝は、中華は多数の民族で構成される世界で漢人の占有物ではないこと、天子は 5 であり、満州人皇帝の清朝が中国を支配することはまったく正統であるとして、反清とみな

される言動を苛酷に弾圧した。

このように中国史の歴代統一王朝をみると、広大で複雑な中国を統治するには、つねに強力な求心力と統治システムが求められていたことが分かる。

設問1 下線部Aについて正しい説明はどれか。

- イ 西晋は、建康とよばれたこの都市を首都とした。
- ロ 隋は、大運河の南の終着点をこの都市に置いた。
- ハ 清は、長安を西京、洛陽を東京、ここを南京とした。
- ニ 蒋介石は、国民党右派を集めてここに国民政府を置いた。 []

設問2 下線部Bの前後の事情について誤った説明はどれか。

- イ 永楽帝は、兄である第2代建文帝の政治に不満をもっていた。
- ロ 永楽帝は、洪武帝から燕王に封じられ北辺の防備を任されていた。
- ハ 永楽帝は、即位後、首都を自分の拠点である北平に移し北京とした。
- ニ 永楽帝は、皇帝を補佐する内閣制度を始め、事実上の宰相を復活した。 []

設問3 下線部Cについての理由として正しい説明はどれか。

- イ 台湾は、明の前半期に中継貿易の基地として繁栄していたため。
- ロ 明の滅亡後、海賊の鄭芝竜が反清朝活動の拠点としたため。
- ハ 三藩の乱に乗じた大陸進攻が失敗し、鄭氏一族が清朝に降伏したため。
- ニ 清朝との貿易を望んだオランダが、許可の見返りとして返還したため。 []

設問4 下線部Dについて、関連しない事項はどれか。

- イ 古今図書集成の完成
- ロ 四庫全書の編纂
- ハ キャプタ条約の締結
- ニ 軍機処の設置 []

設問5 文中の [5] を、天 徳 天命の三つの語を使用した20字以内の文章で埋めなさい。句読点も1字とする。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【6】早稲田大学 国際教養学部

次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、所定の欄に記入しなさい。

国境は自然発生的に生じるものではなく、国家間において戦争や外交交渉を通して人為的に確定された境界である。このことは、17世紀に中国に清朝が成立してからの経緯をみても、理解できる。明の滅亡後、その遺臣たちが各地で清朝とたちむかい、その復活に努めた。その一人、鄭成功は、1661年、城塞を築き台湾南部に進出していた [2] を破り、ここを根拠地として抵抗を続けた。しかしながら、三藩の乱を平定した清は1683年、氏一族を降し、台湾をその版図に編入した。ここに清の支配体制の基盤が確立したのである。その一方で、北方においては、15世紀末キプチャク＝ハン国の支配から脱したモスクワ大公国が諸公国を征服、統一を進めた。 [3] はコサックの首長イェルマークに命じて、シベリア進出に着手した。このシベリア経営はロマノフ朝となってからも継続された。17世紀半ばには黒竜江を下り、アルバジン城を築いて中国東北地方侵略への足がかりとした。一方、清の [4] は強硬策をとり、アルバジン城を激しく攻撃し、ロシア軍に対して退去を要求した。その結果1689年、 [5] との間に、ネルチンスク条約を結んだ。また、 [7] は大軍を率いてジュンガル軍と闘い、外モンゴルと青海をその支配下におき、さらに [8] を服属させた。他方ロシアは商業を通して外モンゴルに影響力を拡大した。これに対して [9] は1727年キャプタ条約を結び、アルグン川よりアルタイ山脈に至るモンゴル方面の国境を画定し、北京との通商、交易場の設置などを取り決めた。そして [10] はジュンガル部を滅ぼし、東トルキスタンの回部を服属させ、ここは [11] と命名された。こうして対外発展を遂げた清朝は、直轄支配を行う中国内地・東北地方(満州)・台湾のほか、モンゴル・

青海・・を藩部として理藩院に統括した。しかしながら、19世紀半ばには、清は西欧列強の侵略と国内の反乱に苦しんだ。これに乗じてロシアのは、清と条約を締結し、黒竜江を新たな国境線と定めた。また、ロシアはアロー戦争に際し、清と英・仏との間を仲介し講和条約を成立させた。その代償にロシアと清との間に1860年北京条約が結ばれ、ロシアはウスリー川以東のを獲得した。その直後、ロシアは同地に港を建設し、極東、太平洋方面の拠点とした。

また、ロシアは日清戦争直後の下関条約に対してドイツ・フランスとともに異議を唱えた。そのため、日本は遼東半島を清に返還した。ロシアは見返りに清より東清鉄道の敷設権を獲得し、1898年には清に・の租借を認めさせた。

17世紀から18世紀にかけて清朝は領土を拡大し、パックス・シニカの時代を現出させたが、帝国主義の時代には、西欧列強や日本などにより、国境は変更され、その支配する領土は縮小していったのである。

問1 下線1の人物に関連し、正しいものを一つ選びなさい。

- ア 明の滅亡後も明朝再興に努め、父鄭芝竜とともに台湾に拠点を築いた。
- イ 沖縄で生まれたこともあり、琉球王国より多大の援助を受けた。
- ウ 清朝は遷界令を出し、鄭氏の台湾と交流した。
- エ 呉三桂らの三藩の乱を支援した。
- オ 日本では近松門左衛門の人形浄瑠璃『国性(姓)爺合戦』を通じて、知られている。 []

問2 に入る最も適切な語句を一つ選びなさい。

- ア オランダ イ スペイン ウ ポルトガル エ イギリス オ 日本 []

問3 , に入る人物について適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|-----------|-------------|-----|
| ア | 3-イヴァン3世 | 5-ピョートル1世 | |
| イ | 3-イヴァン3世 | 5-アレクサンダー1世 | |
| ウ | 3-イヴァン4世 | 5-ピョートル1世 | |
| エ | 3-イヴァン4世 | 5-アレクサンダー1世 | |
| オ | 3-ピョートル1世 | 5-アレクサンダー1世 | [] |

問4 下線6の条約の説明として、誤っているものを一つ選びなさい。

- ア イエズス会士も通訳として条約会議に参加した。
- イ アルグン川と外興安嶺(スタノヴォイ山脈)を境とする国境画定が行われた。
- ウ 通商交易を禁止した。 エ 越境者の処理を取り決めた。
- オ 清が外国と対等の立場で結んだ最初の条約である。 []

問5 , , , には、清朝皇帝の名前が入る。適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|--------|
| ア | 4-康熙帝 | 7-康熙帝 | 9-康熙帝 | 10-雍正帝 |
| イ | 4-康熙帝 | 7-康熙帝 | 9-雍正帝 | 10-乾隆帝 |
| ウ | 4-康熙帝 | 7-雍正帝 | 9-乾隆帝 | 10-乾隆帝 |
| エ | 4-雍正帝 | 7-雍正帝 | 9-乾隆帝 | 10-乾隆帝 |
| オ | 4-雍正帝 | 7-乾隆帝 | 9-乾隆帝 | 10-乾隆帝 |
- []

問6 , にはそれぞれ地域の名称が入る。適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- | | | |
|---|--------|---------|
| ア | 8-チベット | 11-新疆 |
| イ | 8-新疆 | 11-チベット |
| ウ | 8-チャハル | 11-新疆 |
| エ | 8-チベット | 11-チャハル |
| オ | 8-新疆 | 11-チャハル |
- []

問2 下線Bの清の軍事組織の名称を一つ選べ。

ア 衛所 イ 八旗 ウ 府兵 エ 猛安 []

問3 下線Cの皇帝名を一つ選べ。

ア 孝文帝 イ 崇禎帝 ウ 正統帝 エ 万曆帝 []

問4 下線Dの呉三桂が封ぜられた地はどこか。地域名を漢字で記入しなさい。 []

問5 下線Eに関連して、この税制の施行以前に行われていた明代に始まる税制を一つ選べ。

ア 一条鞭法 イ 戸調制 ウ 算賦制 エ 両税法 []

問6 下線Fに関連して、雍正帝の時代に完成した1万巻に及ぶ中国史上最大の類書の名を、漢字で記入しなさい。

[]

問7 下線Gに関連する記述として誤りを含むものを一つ選べ。

- ア 条約締結時のロシア皇帝はピョートル1世であった。
- イ 外興安嶺とアルグン川が両国の国境とされた。
- ウ ウスリー川以東については両国の共同管理とされた。
- エ 不法越境者は本国官憲に引き渡されることとされた。 []

問8 下線Hの反乱をおこした勢力として妥当なものを一つ選べ。

ア 東学党 イ 東林派 ウ 白蓮教徒 エ 緑営 []

問9 下線Iに関連する記述として誤りを含むものを一つ選べ。

- ア 清は厦門・寧波など5港の開港と、香港のイギリスへの割譲を承諾した。
- イ 公行の廃止の結果、首都北京における外国公使の駐在が決定された。
- ウ 翌年の虎門寨追加条約で、清はイギリスに対して最恵国待遇を認めた。
- エ 類似する不平等条約として、清・米間の望厦条約、清・仏間の黄埔条約が結ばれた。 []

問10 下線Jの前後の出来事に関する記述として誤りを含むものを一つ選べ。

- ア 中国同盟会の結成とともに四大綱領が掲げられた。
- イ 章炳麟は再結成された光復会の会長になった。
- ウ 黄興は華興会を結成して中国同盟会には参加しなかった。
- エ 革命以前には多くの清国留学生が日本に送られた。 []

【8】早稲田大学 政治経済

中国史に関する史料①～④を読んで、下記A、Bに答えよ。

- ① 朕は人民の塗炭の苦しみをあわれみ、義兵を興して暴政を打ち倒したので、天下の軍民は朕を尊んで皇帝の位につけ、国を大明と号し、元号を洪武と建てた。一昨年、元の都を攻め取り、四方を順次平定した。占城・安南・bの諸国はみなすでに朝貢した。……朕は、前代の帝王にならって天下を治めるにあたり、ただ中外の人民がみなそれぞれの場所で安楽に暮らすことを望んでいる。おまえたちが遠方においてまだ朕の意図を知らないのではないかと気がかりなので、使者を遣わしてわが言葉を伝え、周知させる。
- ② 彼らはあなた方に、密貿易を捨て去るよう警告を与えました。もしあなた方がそうしないことがわかれば、彼らはあなた方を、その恥ずべき極悪な取り引きに固執する頑迷さのゆえに、彼らの海岸から放逐する権利を有するのであります。……私には、この戦争がどれほど続くのか……判断する能力はありませんが、私に言えるのは、その原因においてこれ以上に不正な戦争、その経緯においてこれ以上にわが国を永遠の不名誉で覆うであろう戦争は、知りもしないし、読んだこともないということであります。
- ③ 東南の海沿いの辺境は万余里にわたって広がり、各国は通商・布教のために往来し、……表向きは友好を唱えながら陰では併呑の計略を練っております。ある国が騒動を起こせば、他の諸国も扇動します。まことに数千年来いまだかつてなかった難局であります。……fの各城は、乾隆年間にはじめて版図に帰して以来、その最初の困難はとりあえず言わない

としても、平時でさえ毎年三百万両あまりの軍事費がかかります。いたずらに数千里の荒地を占拠して、穴のあいた器に果てしなく水を注ぐようなことは、もはや意味がありません。

- ④ 現在、衝突地点はすでに の入り口である盧溝橋に達しており、盧溝橋が圧迫され占拠されれば、われわれの五百年の古都、北方の政治・文化の中心であり軍事的要地である が、第二の瀋陽となってしまう。……従って、盧溝橋事件の推移は、中国の国家全体に関わる問題であり、……万一真に避けきれない最後の関頭に至ったならば、われわれはもちろん 犠牲を払って抗戦 するのみである。……われわれはもとより一個の弱国ではあるが、わが民族の生命を保持しないわけにはいかず、祖先がわれわれに委ねた歴史上の責任に背くことはできない。

A 問い1～8に対する最も適切な答えを、それぞれイ～ニから一つ選び、マークせよ。

- 1 下線部 a はここではベトナムのある王朝を指すが、この王朝の時代に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ モンゴル軍の侵入を撃退した。 ロ 明の侵攻を受け、一時直轄支配下におかれた。

ハ 『大越史記』という歴史書が編纂された。

ニ 字喃と呼ばれる独自の文字が使われるようになった。 []

- 2 空欄 b に当てはまる国名はどれか。

イ 高麗 ロ 朝鮮 ハ 日本 ニ 琉球 []

- 3 下線部 c にいう密貿易で、中国に大量に運び込まれた商品の主な産地はどれか。

イ フィリピン ロ ジャワ ハ マレー半島 ニ インド []

- 4 下線部 d の戦争後に結ばれた講和条約で取り決められた内容として、誤っているものはどれか。

イ 上海、寧波などの開港 ロ 外国公使の北京常駐

ハ 香港の割譲 ニ 公行の廃止 []

- 5 下線部 e はキリスト教の布教を指すが、清が開港場以外での布教を認めた条約はどれか。

イ 1844年の望厦条約 ロ 1844年の黄埔条約

ハ 1858年の天津条約 ニ 1885年の天津条約 []

- 6 空欄 f に当てはまる地名はどれか。

イ 満州 ロ 蒙古 ハ 新疆 ニ 西藏 []

- 7 空欄 g に当てはまる地名はどれか。

イ 北平 ロ 洛陽 ハ 西安 ニ 開封 []

- 8 中国は結局下線部 h の抗戦に踏み切るが、この戦争中の出来事として誤っているものはどれか。

イ 国民政府は日本軍の攻撃を避けて重慶に遷都した。

ロ ソ連はアメリカ、イギリスとならんで中国に軍事援助を与えた。

ハ 日本は河北に冀東防共自治政府を樹立した。

ニ 日本は南京に汪兆銘を首班とする親日政権を樹立した。 []

B 問い1～4に対する答えとして適切な人名を記せ。

- 1 ①は、ある皇帝が発した詔勅の一部である。この皇帝は誰か。本名で記せ。 []

- 2 ②は、後に自由党党首として4回にわたって首相をつとめた人物の議会演説の一部である。この人物は誰か。 []

- 3 ③は、その後清の代表として下関条約に調印した人物の上奏文の一部である。この人物は誰か。 []

- 4 ④は、その後1943年に中国の代表としてカイロ会談に参加した人物の談話の一部である。この人物は誰か。 []